

【資料5】

大阪府市のプロジェクト一覧

(P1～P22 2018年度事業 期末評価)
(P23～P38 2019年度事業 中間評価)



資料5 大阪都市魅力創造戦略2020 プロジェクト一覧

目指すべき都市像	施策の方向性	施策名	重点	No.
1. 世界に誇れる自慢の都市				
① 世界第一級の文化・観光拠点形成・発信				
	(1)	夢洲でのIRを含む国際観光拠点形成	○	1
	(2)	水と光のまちづくりの推進 水辺の魅力空間づくり	○	2
		舟運活性化	○	3
		シンボルイベントの実施	○	4
		水辺のランドマークの創出	○	5
		淀川の魅力推進	○	6
		大阪光のまちづくり2020構想の推進	○	7
	(3)	万博記念公園の魅力創出	○	8
	(4)	百舌鳥・古市古墳群の魅力創出	○	9
	(5)	ストーリー性をもたせた大阪魅力の再編集・発信	○	10
	(6)	大阪城・森之宮・大手前地区の魅力向上		
		歴史拠点の創出	○	11
		世界的観光拠点化	○	12
	(7)	中之島地区の魅力向上 新しい美術館の整備	○	13
		大阪市中央公会堂100周年を契機とした魅力発信		14
	(8)	御堂筋地区の魅力向上 御堂筋の空間再編	○	15
		御堂筋活性化事業		16
		クオリティの高いにぎわい空間や官民協働によるブランドの創出		17
	(9)	天王寺・阿倍野地区の魅力向上 天王寺・阿倍野地区の魅力発信・集客促進	○	18
		天王寺公園・動物園の魅力向上	○	19
		大阪市立美術館の魅力向上		20
	(10)	築港・ベイエリア地区の魅力向上 クルーズ客船の母港化	○	21
	(11)	大阪駅周辺地区の魅力向上	○	22
	(12)	なんば駅周辺道路空間再整備	○	23
	(13)	鶴見緑地の再生・魅力向上事業	○	24
	② 大阪ならではの魅力創出・発信			
	(1)	国内外の人々を惹きつけるキラコンテツの創出	○	25
	(2)	大阪・光の饗宴の魅力向上	○	26
	(3)	御堂筋活性化事業		16
	(4)	大阪マラソンの魅力向上	○	27
	(5)	スポーツツーリズムの推進	○	28
	③ 大阪の文化を満喫できる魅力創出・発信			
	(1)	大阪の食の魅力の創出・発信 民間との連携による食の魅力発信	○	29
	(2)	天満・天神橋地域の魅力発信		30
				31
	④ 魅力的な景観演出			
	(1)	観光魅力向上のための歴史・文化的まちなみ創出事業		32
	(2)	恒常的なまちなみ魅力向上支援事業補助金		33
2. 安全で安心して楽しめる24時間おもてなし都市				
① 観光客受入環境の充実				
	(1)	Wi-Fi設置の拡充	○	34
	(2)	公共交通機関等と連携した受入環境の整備	○	35
	(3)	観光公衆トイレの整備促進	○	36
	(4)	宿泊施設における「おもてなし」環境の整備事業	○	37
	(5)	歩行者案内標識整備		38
	(6)	「トラベルサービスセンター大阪」の運営	○	39
	(7)	観光案内所の運営		40
	(8)	観光客への情報提供機能の充実	○	41
	(9)	観光案内板等の整備促進	○	42
	(10)	観光案内板等の掲載情報の更新等		43
	(11)	観光ボランティアの育成	○	44
	(12)	観光ボランティアガイドとの連携		45
	(13)	なんば駅周辺道路空間再整備	○	23
	(14)	多言語対応の強化	○	46
	(15)	観光バス乗降場環境整備		47
	② 旅行者の安全・安心の確保			
	(1)	外国人旅行者の災害時における安全確保	○	48
	③ 旅行者ニーズに配慮した多様なサービスの提供			
	(1)	文化・観光・商業施設等の開館・営業時間の延長	○	49
	(2)	イベント・公演等の開演時間の繰り下げ	○	50
	(3)	大阪・光の饗宴の魅力向上	○	26
	(4)	ランドマークのライトアップの時間延長・創出	○	51
3. 多様な人材が集う観光・MICE都市				
① MICE誘致の推進				
	(1)	MICE誘致の推進	○	52
		2019年G20大阪サミット開催に向けた取組みの推進	○	53
	(2)	夢洲でのIRを含む国際観光拠点形成	○	1
	② 観光マーケティング・リサーチの強化			
	(1)	大阪観光局運営事業（大阪版DMO推進事業）		54
	③ 観光振興を支える人材等の育成			
	(1)	大阪観光局運営事業（大阪版DMO推進事業）		54
	(2)	観光ボランティアの育成	○	44
	(3)	都市魅力をみんなで支えるネットワークづくり	○	55
	(4)	大阪市版TID (Tourism Improvement District)	○	56
4. 多様な楽しみ方ができる周遊・滞在都市				
① 効果的なプロモーションの強化				
	(1)	国内外への戦略的なプロモーションの展開		57
	(2)	各種プロモーションツールを活用した大阪の情報発信の強化		58
	(3)	大阪ミュージアムの推進		59
	(4)	大阪都市景観建築賞（大阪まちなみ賞）		60
	(5)	フィルムガウンシル事業の充実		61
	② 周遊性を高める利便性の向上			
	(1)	観光バス駐車場の確保・充実		62
	(2)	魅力資源の結びつけによる府内各地の周遊性向上事業		63
	③ 大阪に滞在したくなる仕掛けづくり			
	(1)	ストーリー性をもたせた大阪魅力の再編集・発信	○	10

資料5 大阪都市魅力創造戦略2020 プロジェクト一覧

目指すべき都市像	施策の方向性	施策名	重点	No.
5.大阪が誇る文化力を活用した都市				
	①上方伝統芸能を活用した魅力発信	(1) 世界に発信する「大阪文化の祭典」	○	64
	②都市の魅力向上と新たな文化の創造	(1) アートスポットの魅力創出・発信 (2) 大阪市中央公会堂100周年を契機とした魅力発信 (3) 新しい美術館の整備 (4) 留学生への大阪文化の魅力発信 (5) 美術館・博物館の魅力向上	○ ○ ○	65 14 13 66 67
	③文化プログラムの推進	(1) 文化魅力の情報発信 (2) 大阪らしい芸術文化の魅力の創出 (3) アーツカウンシルの機能強化	○ ○	68 69 70
6.あらゆる人々が文化を享受できる都市				
	①芸術文化を創造し、支える人材の育成・支援の充実	(1) 若手アーティストらの発表機会の提供		71
	②将来の社会の担い手となる青少年の育成	(1) 芸術文化を将来へ継承させる青少年の育成		72
	③芸術文化拠点の充実と府民意識の醸成等	(1) 都市魅力をみんなで支えるネットワークづくり	○	55
7.アジアをリードする国際・プロスポーツ都市				
	①国際的なスポーツイベントの開催	(1) ラグビーワールドカップ2019の大阪開催 (2) 国際的なスポーツイベントなどの誘致 (3) オリ・パラ等事前キャンプ誘致の推進 (4) ホスタウンへの登録 (5) オリ・パラ開催に向けた事業の展開 (6) 関西ワールドマスターズゲームズ開催に向けた事業の展開	○ ○ ○ ○ ○ ○	73 74 75 76 77 78
	②スポーツ都市大阪の魅力発信	(1) 大阪マラソンの魅力向上 (2) スポーツツーリズムの推進 (3) プロスポーツとの連携事業 (4) スポーツ情報ネットワークシステム推進事業	○ ○ ○ ○	27 28 79 80
	③ラグビーワールドカップ、オリ・パラ、関西ワールドマスターズゲームズの開催を契機としたレガシーの形成	(1) オリンピック・パラリンピックムーブメント教育の推進	○	81
8.健康と生きがいを創出するスポーツに親しめる都市				
	①スポーツを「する」機会、「ささえる」力の拡充	(1) 関西ワールドマスターズゲームズ開催に向けた事業の展開 (2) トップアスリート等との連携事業 (3) オリンピック・パラリンピックムーブメント教育の推進 (4) スポーツボランティア養成及び派遣事業	○ ○ ○	78 82 81 83
	②スポーツを通じた健康増進	(1) 府民スポーツ・レクリエーションフェスティバル		84
9.世界で活躍できるグローバル人材育成都市				
	①グローバル人材育成	(1) グローバル人材育成事業 (2) 英語イノベーション事業 (3) 公設民営学校（国際バカロレア等）の設置		85 86 87
	②外国人留学生の受入と定着支援	(1) 留学生の住まい確保に向けた公的賃貸住宅事業者と大学連携事業 (2) 外国人留学生との連携拡大及び起業支援	○	88 89
	③企業における高度外国人材の積極的受入・活用	(1) 企業における高度外国人材の積極的受入・活用や留学生の就職支援	○	90
10.出会いが新しい価値を生む多様性都市				
	①国際都市にふさわしい安全安心の取組みの推進	(1) 外国人相談事業の充実 (2) 災害時多言語支援センター設置・運営訓練 (3) 府内大学連携型災害時多言語支援人材確保事業 (4) 在住外国人に対する情報発信の充実		91 92 93 94
	②地域のグローバル化	(1) 観光案内板等の整備促進 (2) ホスタウンへの登録 (3) 多文化共生施策の推進	○ ○	42 76 95
	③国際競争力を有するビジネス拠点としての大阪の魅力向上	(1) MICE誘致の推進 2019年G20大阪サミット開催に向けた取組みの推進 (2) グローブレイノベーション創出支援事業 (3) 大阪トップランナー育成事業 (4) 水・環境分野における大阪関西企業の海外展開支援 (5) ビジネスパートナー都市交流事業 (6) 外国人留学生の起業支援 (6) 外国企業誘致推進事業	○ ○ ○ ○ ○ ○	52 53 96 97 98 99 89 100
	④大都市大阪の活力を統合した都市外交の推進	(1) トップセールスによる戦略的プロモーション (2) JICA（国際協力機構）との連携事業		101 102

大阪都市魅力創造戦略2020 プロジェクト一覧（2019年度新規事業）

目指すべき都市像	施策の方向性	施策名	重点	No.
1.世界に誇れる自慢の都市				
	①世界第一級の文化・観光拠点形成・発信	(1) 2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)の成功とそれを通じた大阪の発展		新規
2.安全で安心して楽しめる24時間おもてなし都市				
	①観光客受入環境の充実	(1) 観光トイレ整備事業 (2) 「トラベルサービスセンター新大阪（仮称）」の運営 (3) ウェルカム大阪おもてなし事業		新規 新規 新規
3.多様な人材が集う観光・MICE都市				
	③観光振興を支える人材等の育成	(1) ウェルカム大阪おもてなし事業		再掲
4.多様な楽しみ方ができる周遊・滞在都市				
	②周遊性を高める利便性の向上	(1) 魅力資源の結びつけによる府内各地の周遊性向上事業		新規
	③大阪に滞在したくなる仕掛けづくり	(1) 魅力資源の結びつけによる府内各地の周遊性向上事業		再掲
6.あらゆる人々が文化を享受できる都市				
	②将来の社会の担い手となる青少年の育成	(1) 「こども本の森 中之島」の開館準備・運営事業		新規

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

整理 番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト 概要	アウトカム	成果指標		中間評価		2018 (決算額は見込み額)		
					目標	実績	次年度方針案	期末評価	大阪府	大阪市	
									予算事業名・予決額	予算事業名・予決額	
1	夢洲での I R を含む国際観光拠点形成	大阪府、大阪府、民間事業者	MICE機能や国際的なエンターテインメント機能を備えた統合型リゾート（I R）の誘致など、民間の創意・工夫や意見を取り入れながら、国際観光拠点の形成をめざす。	夢洲での I R を含む国際観光拠点形成	I R 整備法の成立を踏まえ、大阪 I R 基本構想をとりまとめ I R 整備法の内容やスケジュール等に合わせた、事業者公募に向けた準備を実施	2019年2月に大阪IR基本構想(案)を取りまとめた。アドバイザーも活用しつつ、事業性の検討・分析や開発条件、事業条件など具体的な事業設計を行い、事業者公募に向けた準備を実施した。	3月に契約したアドバイザーも活用しながら、事業者公募に向けた準備を進めるとともに、国の動向等を踏まえ、IR推進会議を開催し、大阪 I R 基本構想(案)の検討を進めるなど、概ね予定どおり進んでいる。	事業の拡大・継続	IR整備法や国の動向、IR推進会議での議論などを踏まえ、2019年2月に大阪IR基本構想(案)を取りまとめるとともに、アドバイザーも活用しつつ、事業性の検討・分析や開発条件、事業条件など具体的な事業設計を行い、事業者公募に向けた準備を実施した。	I R 事業化推進事業 (予算：84,469千円、決算：76,920千円)	I R を含む国際観光拠点の形成に向けた土地推進事業 (予算：45,794千円、決算：40,998千円)
2	水と光のまちづくりの推進 > 水辺の魅力空間づくり	大阪府、大阪府、経済団体、大阪観光局、民間事業者	・ 舟運をはじめ水辺も楽しめる観光メニューが集結するターミナルの整備 ・ 水辺魅力の向上や、舟運活性化に資する空間・景観整備	水都大阪の更なる「成長」へ向けた取組を着実に推進	舟運利用者数：125万人	舟運利用者数：123万人 (見込み)	・ 大阪城港に新たな公共船着場を整備するための測量、土質調査、詳細設計の実施に向けて、関係機関と検討を進めている。 ・ 本町橋周辺の拠点整備工場の発注手続き中であり、おおむね計画どおり事業進捗している。	事業の拡大・継続	・ 大阪城港の新たな公共船着場の整備については、測量調査及び実施設計を実施して、来年度の整備着手に向けて、おおむね計画どおりに進め、当初の目標は達成した。 ・ 本町橋周辺の拠点整備工場の契約を行い、工事を実施中である。関係機関との協議により一部工事の遅れが発生しているものの、おおむね計画どおり事業進捗した。	水辺にぎわい空間づくり事業 (予算：29,500千円、決算：27,074千円)	水辺の魅力向上（東横堀川 本町橋周辺の拠点整備） (予算：131,000千円、決算：71,287千円)
3	水と光のまちづくりの推進 > 舟運活性化	大阪府、大阪府、大阪観光局、民間事業者	舟運の共同運航体制の構築や係留環境の充実などによる旅行者ニーズに対応した観光メニューとしてのクルーズ商品の多様化促進	水都大阪の更なる「成長」へ向けた取組を着実に推進	舟運利用者数：125万人	舟運利用者数：123万人 (見込み)	魅力ある舟運の創出に向け、民間のアイデアやノウハウを活用するための「舟運創造推進事業」や、水辺のイベントと連携したクルーズ開発支援により、観光メニューとしてのクルーズ商品化に向けた事業を行っている。	事業の拡大・継続	水の回廊を中心とした水辺拠点などをつなぐクルーズの開発や、観光メニューとしてのクルーズ商品化に向けた旅行者やホテル事業者等を対象にファミトリップを実施することで、魅力ある舟運の創出を図り、水都大阪の魅力と認知度を向上させ、水都大阪の更なる「成長」へ向けた取組を着実に推進した。	水都大阪コンソーシアム事業 (予算：35,500千円、決算：34,601千円)	水と光のまちづくり推進事業 (予算：35,500千円、決算：34,601千円)
4	水と光のまちづくりの推進 > シンボルイベントの実施	大阪府、大阪府、経済団体、大阪観光局、民間事業者	オリバライヤーに水辺を舞台にしたシンボルイベントを開催し、水都大阪の魅力国内外へ発信、ブランディングと集客力を強化	水都大阪の魅力国内外へ発信、ブランディングと集客力を強化	舟運利用者数：125万人	舟運利用者数：123万人 (見込み)	「水都大阪フェス2018」の開催を通じて、効果的なイベントのあり方について、関係者の共通認識を深めると共に、シンボルイベントについてオール大阪での機運醸成が図られるように努めている。	事業の拡大・継続	「水都大阪フェス2018」の開催を通じて、効果的なイベントのあり方について、関係者の共通認識を深め、シンボルイベントについてオール大阪での機運醸成が図り、水都大阪の魅力国内外へ発信し、ブランディングと集客力を強化した。	予算事業なし	予算事業なし
5	水と光のまちづくりの推進 > 水辺のランドマークの創出	大阪府、大阪府、経済団体、大阪観光局、民間事業者	水の回廊ならではのランドマークやコンテンツを創出し、回廊全体の集客力アップや、クルーズをはじめとした観光メニューにおける新たな付加価値による魅力の向上	水の回廊全体の集客力アップや、クルーズをはじめとした観光メニューにおける新たな付加価値による魅力の向上	舟運利用者数：125万人	舟運利用者数：123万人 (見込み)	舟運活性化、イベント開催などの実施を通じ、水の回廊ならではのランドマークやコンテンツ創出について、関係者の共通認識を深めている。また、民間主導によるランドマーク創出に向け、行政と民間を繋ぐコーディネートを行っている。	事業の拡大・継続	舟運活性化、イベント開催などの実施を通じ、水の回廊ならではのランドマークやコンテンツ創出について、関係者の共通認識を深めるとともに、ランドマーク創出に向けては、水辺で写真を撮りたくなるきっかけづくりとなるツールを制作するなど、水都大阪の象徴となる風景（キー・スケープ）の発掘につながる取組を進めることで、観光メニューにおける新たな付加価値による魅力の向上に努めた。	予算事業なし	予算事業なし
6	水と光のまちづくりの推進 > 淀川の魅力推進	大阪府、市町村、経済団体、民間事業者	淀川舟運の活性化に向けた沿川地域の魅力づくり	淀川沿川などにおいて、広域連携型のまちづくりの推進に向けた取組を進める。	淀川沿川広域連携型まちづくり戦略の8つの取組を推進する。このうち、魅力ある景観形成については、淀川の魅力ある景観づくりのための方針、景観資源を活用するための実施方策のとりまとめを行う。また、将来の広域エリアマネジメント組織化に向け、勉強会を開始する。	淀川沿川広域連携型まちづくり戦略の8つの取組を推進。このうち、サイクルルートの活用については、平成30年8月よりお風呂呂道（オフロード）事業として開始している。また、魅力ある景観形成については、有識者や舟運事業者で構成する検討会を設立し、検討を開始するとともに、府民目線で景観資源を発掘するため、景観コンテストを実施している。（平成30年7月～9月）	景観発掘コンテストでは、159点の応募があり、淀川の魅力ある景観を発掘できた。また、検討会では応募作品を検討に活用し、その内容を踏まえ、「淀川の魅力ある景観づくりに向けて」を策定することができた。	事業のスクラップ	淀川沿川の景観形成事業（予算：809千円、決算：313千円）	—	—

大阪市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価		2018 (決算額は見込み額)			
					目標	実績	次年度方針案	期末評価	大阪府	大阪市		
									予算事業名・予決額	予算事業名・予決額		
7	大阪光のまちづくり2020構想の推進	経済団体、民間事業者、大阪府、大阪市	「水と光のまちづくり推進会議」のもと、公民連携による圧倒的な光景観の形成により一層の魅力と賑わいに満ちた「水と光の首都大阪」の実現に取組む「光のまちづくり推進委員会」が策定した「大阪光のまちづくり2020構想」の情報共有を図り、大阪における光のまちづくりを推進	「水と光の首都・大阪」の実現	「大阪光のまちづくり2020構想」アクションプランの第3フェーズ（2017～2019年）の推進	2019年1月15日開催の「水と光のまちづくり推進会議」において、光のまちづくり推進委員会の活動として、同アクションプランの第3フェーズに関する活動状況を報告した。	4月13日開催の「光のまちづくり推進委員会」において、2018年度の活動内容について承認され、概ね予定どおり進捗している。	事業の拡大・継続	ガイドライン部会において、既存施設の技術的なメンテナンス方針について検討、プロモーション部会において、視点場フォトコンテストを実施し、2019年4月8日開催の「光のまちづくり推進委員会」においても同アクションプランの活動について報告が承認された。	予算事業なし	予算事業なし	
8	万博記念公園の魅力創出	大阪府	2020年に迎える大阪万博50周年に向けた取組みを進める。万博記念公園駅南側の事業者誘致に向けた取組みを進め、新たな魅力づくりを行う。	公園の魅力・観光価値を高め、来訪者が増加。	自然文化園入園者数：300万人（2020年度）	自然文化園入園者数：239万人（2018年度）	2020年に迎える50周年に向けた取組みを引き続き進める。駅南側の事業者誘致に向けた取組みを引き続き進める。	事業の拡大・継続	大阪万博50周年に向けては、EXPO'70パビリオン別館の設置や特別展覧会の開催について検討を進めた。また万博記念公園駅周辺地区の活用方針の策定に向けた検討を進めた。	万博記憶展企画運営事業（予算：95,972千円、決算：0円） 万博記念公園駅前地区事業者誘致業務（予算：5,098千円、決算：2,124千円）	-	
9	百舌鳥・古市古墳群の魅力創出	大阪府、堺市、羽曳野市、藤井寺市	2010年に世界遺産暫定一覧表に記載された「百舌鳥・古市古墳群」の世界文化遺産登録の早期実現に向けた取組みを進める。	2019年度の世界文化遺産登録	2018年1月に、世界文化遺産としてユネスコに推薦された「百舌鳥・古市古墳群」について、イコモス審査の対応など、2019年の世界文化遺産登録の実現に向けた取組みを進める	イコモス審査への対応、PRイベントの開催など登録に向けた取組みを実施。	2018年9月頃のイコモス現地調査に向けて、2回目のリハーサルを行い、国内外の専門家のご意見を参考にしながら、準備を進めてきた。	事業の拡大・継続	現地調査において、関係機関と連携し、調査員に資産の価値や保全状況を説明するなど、イコモスによる審査に対応した。また、世界遺産としての価値や魅力を発信するため、シンポジウムや民間事業者と連携したPRイベント等を実施した。	百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進事業（予算：24,582千円、決算：21,104千円）	-	
10	ストーリー性をもたせた大阪魅力の再編集・発信	大阪府、市町村、民間事業者	大阪の魅力スポットやそれらを巡るルートにストーリー性を持たせて再編集し、地域における観光資源の磨き上げや受入環境の整備等を支援する事業を実施。	国内外からの集客・周遊性の向上をめざした環境整備	①平成29年度構築したストーリー：補助事業者が掲げる目標数値を達成した事業の割合70%以上 ②新たに構築するストーリー数：2本以上	①平成29年度構築したストーリー：補助事業者が掲げる目標数値を達成した事業の割合27% ②新たに構築するストーリー数：1本	補助事業の決定及び進捗管理については、概ね当初の予定どおりに進んでいる。	事業の拡大・継続	補助事業者が掲げる目標数値を達成した事業の割合が27%であり、また、新たに構築したストーリー数は1ストーリーとなり、当初目標は達成できなかった。 今後は、ストーリーを効果的に発信するなどの取組みを行い、観光誘客につなげていくことが必要。	大阪ストーリープロジェクト事業（予算：44,926千円、決算見込：30,603千円）	-	
11	大阪城・森之宮・大手前地区の魅力向上 > 歴史拠点の創出	大阪市（経済戦略局、建設局）	・豊臣期に築かれた初代大坂城の石垣を掘り起こし、公開する施設を整備 ・特別史跡大坂城跡保存管理計画を推進し、文化財を整備・活用 ・難波宮跡公園のハード・ソフト両面からの魅力向上 等	まちの魅力向上	【大阪城公園関連】豊臣石垣公開施設の建築工事を着工する。 【難波宮跡公園関連】年度内に「史跡等保存活用計画」を作成する。	【大阪城公園関連】豊臣石垣公開施設の建築工事に着工した。 【難波宮跡公園関連】年度内に「史跡等保存活用計画」を諮り、了解を得た。	【大阪城公園関連】 ・豊臣石垣公開施設の整備に向け、施設整備費積算業務及び展示の実施設計を予定通り、建築工事に着工した。 【難波宮跡公園関連】 ・「史跡等保存活用計画（案）」を踏まえ、関係部局との連携を図りながら、「難波宮跡公園整備計画」の取りまとめを行う。	事業の拡大・継続			経済戦略局大阪城観光拠点化事業（予算：16,618千円、決算：13,984千円） 建設局 難波宮跡公園整備事業（予算：305,574千円、決算：201,279千円）	-
12	大阪城・森之宮・大手前地区の魅力向上 > 世界的観光拠点化	大阪市	・2015年度に導入した大阪城公園PMO事業を推進し、民間活力を活用した公園の新たな魅力を創出	大阪城公園の魅力向上	各施設の利用者（件）数：天守閣262万人、野球場900件、西の丸庭園35万人、豊松庵120件、音楽堂100件 満足度調査：85%	各施設の利用者（件）数：天守閣255万人、野球場269件、西の丸庭園24万人、豊松庵118件、音楽堂98件 満足度調査：84%	計画通り進んでいる。	事業の拡大・継続	・新規施設整備を計画どおり実施した。 ・利用者（件）数、満足度ともに、成果指標をおおむね達成した。		大阪城エリア観光拠点化事業（予算：115千円、決算：34千円）	-

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価		2018 (決算額は見込み額)		
					目標	実績	次年度方針案	期末評価	大阪府	大阪市	
							予算事業名・予決額	予算事業名・予決額			
13	中之島地区の魅力向上 > 新しい美術館の整備	大阪市	大阪府が所蔵する第一級のコレクションを活用して、市立美術館や東洋陶磁美術館とは異なる新たな魅力にあふれる「大阪中之島美術館」を、2021年度の開館をめざして整備する。 また、「大阪中之島美術館」の整備に取り組むことにより、中之島地区の魅力向上に貢献していく。	中之島地区の魅力向上に貢献し、来訪者が増加	開館後の年間入場者数約60万人	-	・2021年度の開館に向け、設計業務を進めるとともに、運営型PFI実施方針（案）の検討やコレクションの魅力向上をすすめており、おおむね計画どおり事業進捗している。	事業の拡大・継続	・2021年度の開館に向け、建設工事に着手するとともに、運営型PFI実施方針（案）の検討やコレクションの魅力向上を実施し、計画どおり事業進捗している。	-	新しい美術館の整備事業（予算：576,748千円、決算：541,683千円）
14	中之島地区の魅力向上 > 大阪市中央公会堂100周年を契機とした魅力発信	大阪市	2018年に開館100周年を迎える国指定重要文化財・大阪市中央公会堂の魅力を広げ伝える行事を実施することで、引き続き大阪の誇る資産として魅力を発信していく。	中央公会堂開館100周年の機運醸成による中之島地区の魅力向上	連携事業数 7件 開館100周年記念メイン事業参加者数 3000人	連携事業数 14件 開館100周年記念メイン事業参加者数 6300人	メイン事業の広報開始に向けて委託事業者の決定等、概ね計画通り進捗している。指定管理者と連携して年間を通じたPRを実施し機運醸成につながっている。	事業のスクラップ	11月に実施したメイン事業では幅広い世代の新規来訪者があり、公会堂のPRにつながった。また、年間を通じた各種連携事業との相乗効果で平成30年度施設稼働率は過去最高の77.6%を達成し、中之島地区のにぎわいづくりに貢献した。	-	大阪市中央公会堂開館100周年記念事業（予算：11,000千円、決算：10,932千円）
15	御堂筋地区の魅力向上 > 御堂筋の空間再編	大阪市、民間事業者	側道を活用した御堂筋の歩行者空間化に向けた道路空間再編を行う。	御堂筋における歩行者の安全性向上	整備後の御堂筋を通行することに満足している歩行者の割合（歩行者の安全性向上）：2013年度 45%→2021年度 55%	千日前通～道頓堀川周辺区間における側道閉鎖社会実験を実施でき、歩行者の安全性向上に向けた整備手法の検証ができた。	側道閉鎖社会実験の実施に向け、関係機関と調整中であり、概ね予定通り進捗できている。	事業の拡大・継続	御堂筋における歩行者の安全性向上に向けた側道閉鎖社会実験を実施した結果、「歩道内で歩行者と自転車とが混在している状況」を改善するための整備手法について、検証できた。検証結果などを踏まえ、側道歩行者空間化に向けた整備に取り組んでいく。	-	御堂筋の道路空間再編（予算：155,000千円、決算：165,224千円） 御堂筋の活性化（予算：10,000千円、決算：12,370千円）
16	御堂筋地区の魅力向上 > 御堂筋活性化事業	大阪府、大阪市、国土交通省近畿地方整備局、経済団体、大阪観光局	大阪のシンボリストリートである御堂筋を歩行者に開放し非日常的なイベントを実施。御堂筋・大阪の魅力国内外に発信する。	御堂筋を国内外に発信できる集客装置として活用して、国内外からの話題を集め、御堂筋・大阪の魅力を発信する。	・テレビ・新聞・雑誌の掲載回数 90回以上 うち首都圏メディアでの掲載取上げ回数 30回以上 ・Web掲載回数 600回以上	・テレビ・新聞・雑誌の掲載回数 84回 うち首都圏メディアでの掲載取上げ回数 34回 ・Web掲載回数 824回	11月4日の開催に向け、警察、消防局、関係機関等と協議を行っており、概ね計画通り事業進捗している。	事業の拡大・継続	飲食・出展ブース、ケータリングカー等が楽しめる「にぎわい出展エリア」を展開。イベント開催前から話題となり、来場者数は40万人となった。当日の様子はテレビ、新聞、インターネット等で大きく取り上げられ、大きな反響を得た。	御堂筋開放事業（予算：18,000千円、決算：17,925千円）	御堂筋活性化事業（予算：18,000千円、決算：17,983千円）
17	御堂筋地区の魅力向上 > クオリティの高いにぎわい空間や官民協働によるブランドの創出	大阪市、民間事業者	御堂筋地区計画に沿って、きめ細かな建築デザイン、低層部へにぎわい用途等を誘導するとともに、御堂筋側道歩行者空間化による新たな利活用に向けた支援、彫刻ストリートの保全・修景等エリアマネジメントの推進に取り組む。 また、市内の御堂筋・梅田・中之島地区を中心とするエリアマネジメント団体の交流や情報交換を目的とする会議を開催し、大阪都心部のエリアマネジメント活動の推進を図ることを目的としたガイドラインの策定に向けた検討を行う。	・上質なにぎわい空間の創出と、芸術性の高い通りの実現 ・ガイドラインに基づき民間事業者等の取組の促進	・沿道美化活動の継続（一斉清掃年1回以上） ・エリアマネジメント団体による壁面後退部分等を活用したにぎわい創出の取組み ・大阪エリアマネジメント活性化会議の開催（2回）	・沿道美化活動を2回実施（春、秋）した。 ・壁面後退部分において、民間団体が主催する既存のマルシェを発展させた「御堂筋天国」プロジェクトの開催支援など、賑わいの創出に向けた取り組みを行った。 ・大阪エリアマネジメント活性化会議において、エリアマネジメント活動のさらなる活性化に向け、ガイドラインの検討を進めた。	・エリアマネジメント団体と連携して彫刻、歩道の美化活動と、彫刻を彩るべく御堂筋コンテナガーデンへの花植活動を実施した。	事業の拡大・継続	・エリアマネジメント団体と連携して彫刻、歩道の美化活動と、彫刻を彩るべく御堂筋コンテナガーデンへの花植活動を実施した。 ・大阪エリアマネジメント活性化会議を開催し、各団体間で活動事業等の情報共有が図られた。	-	御堂筋沿道開発事務（予算：1,315千円、決算：925千円） 御堂筋の景観整備（彫刻ストリート）（予算：3,757千円、決算：2,717千円） エリアマネジメント活動支援事業関係事務（予算：2,613千円、決算：2,139千円）

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価		2018 (決算額は見込み額)		
					目標	実績	次年度方針案	期末評価	大阪府	大阪市	
									予算事業名・予決額	予算事業名・予決額	
18	天王寺・阿倍野地区の魅力向上 > 天王寺・阿倍野地区の魅力発信・集客促進	大阪市	天王寺公園・動物園を核として、周辺観光施設等と連携しながら、地区全体の魅力発信・集客促進に取り組む	天王寺・阿倍野地区の魅力向上	インバウンド向けフリーペーパーの活用など、地区の魅力を発信し、回遊性の向上を図る。	・インバウンド向けフリーペーパーを活用し、地区内の回遊性・集客を促す情報を掲載するよう調整した。	現時点では、概ね戦略上のスケジュールどおり事業進捗が図られている。	事業の拡大・継続	魅力発信・集客促進に向けて戦略上のスケジュールどおり事業進捗が図られている。	-	予算事業なし
19	天王寺・阿倍野地区の魅力向上 > 天王寺公園・動物園の魅力向上	大阪市	天王寺・阿倍野地区において、地区の核となる天王寺公園・動物園の官民連携等による魅力向上・活性化、ひいては天王寺・阿倍野地区全体の集客力・ブランド力の向上を図る。	天王寺公園・動物園の魅力向上、来園者数の増加	・公園来園者数：2012年度129万人（実績）を2017年度に260万人にする ※ゲートエリア開業に向けて2018年度中に見直し予定。 ・動物園来園者数：2012年度124万人（実績）を2019年度に175万人にする	2018年度 公園来園者数440万人、動物園来園者数168万人	ゲートエリアでの新たな官民連携の取組みや動物園での改革・改善の実行など、地区の核としておむね計画どおり事業進捗が図られている。	事業の拡大・継続	公園および動物園来園者数について、増加しており、概ね計画通り事業進捗が図られている。	-	【経済戦略局】天王寺公園・動物園の魅力向上事業（予算：171千円、決算：70千円） 【建設局】天王寺公園・動物園の魅力向上事業（公園費予算：5,876千円、決算：2,849千円、動物園費予算：402,533千円、決算：326,372千円、道路費予算：9,500千円、決算：3,790千円）
20	大阪市立美術館の魅力向上	大阪市	・市立美術館は世界的レベルの所蔵作品を誇り、建物は登録有形文化財に指定された日本を代表する美術館で、天王寺・阿倍野地区の観光集客拠点である。80周年を迎え、その役割を十分に果たすために必要な機能強化やサービス向上にむけた大規模改修を実施するにあたり、基本計画の策定や最適な事業手法を検討する。また、大規模改修までに計画的な所蔵作品の修復を進め、鑑賞機会を増加させるとともに、観光集客拠点としての、より一層の魅力向上を図る。	・大規模改修に関する基本計画の策定 ・リニューアル後の展覧会の柱となる美術品の充実（補修）	・大規模改修に関する基本計画の策定 ・リニューアル後の展覧会の柱となる美術品の充実（補修）	・大規模改修に関する基本計画案（改修の方向性）の作成 ・リニューアル後の展覧会の柱となる美術品の充実（補修3件）	現代の美術館として必要な機能強化やサービス向上等を内容とした大規模改修計画の策定のため、事業手法調査を行いつつ、計画的な所蔵作品の修復を進め、鑑賞機会の増加や展示品の充実に取り組んでいる。	事業の拡大・継続	事業手法調査の結果を受け、大規模改修の方向性を引き続き検討し、次年度に基本計画を完成させることとしている。計画的な所蔵作品の修復を進め、鑑賞機会の増加や展示品の充実に取り組んでいる。	-	大阪市立美術館の魅力向上事業（予算：32,128千円、決算：31,327千円）
21	築港・ベイエリア地区の魅力向上 > クルーズ客船の母港化	大阪市、大阪観光局	・クルーズ客船の母港化により内外集客力を強化 ・新たなウォーターフロントのまちづくりに挑戦し、集客観光拠点化を図り、世界にアピール	クルーズ客船の母港化に向け、観光客増につながる大阪港への寄港回数の増加	2018年寄港数：50隻以上	2018年寄港数：45隻	概ね予定どおり進んでいる。	事業の拡大・継続	入港隻数は台風などの影響により前年実績50隻に対して10%減の45隻となったが、乗下船客数は、全国的に旅客数が減少している中、大阪港においては、前年の約6.8万人に比して24%増の約8.4万人となった。	-	クルーズ客船の誘致・受入事業（予算：25,595千円、決算：18,119千円）

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価		2018 (決算額は見込み額)		
					目標	実績	次年度方針案	期末評価	大阪府	大阪市	
					予算事業名・予決額	予算事業名・予決額					
22	大阪駅周辺地区の魅力向上	大阪府、大阪府、民間事業者	うめきた2期まちづくりの推進・世界の人々を惹きつける魅力を備えた「みどり」と、世界をリードする「イノベーション」の融合拠点形成に向けた取組の実施	うめきた地区の魅力向上、にぎわい創出 うめきた2期まちづくりの機運醸成	「うめきた2期みどり」とイノベーションの融合拠点形成推進協議会」によるイノベーションなど、イノベーションの融合拠点形成に向けた取組の実施。 うめきた2期区域暫定利用にかかる事業：12事業、参加者数：前年度以上 基盤整備事業の着実な推進	経済界等とともに、「うめきた2期みどり」とイノベーションの融合拠点形成推進協議会」によるイノベーションイベント等を実施。 暫定利用事業として12事業を実施し、約42.8万人が参加・来場。(平成29年度：22万人) 基盤整備について、新駅設置事業及び東海道線支線地下化事業、土地区画整理事業を着実に推進。	UR都市機構により昨年12月から実施されていた、うめきた2期区域の開発事業者募集において、本年7月に開発事業者が決定された。また、暫定利用事業も継続して実施しており、まちづくりの機運醸成、にぎわい創出が図られている。基盤整備事業についても順調に進捗しているところ。	事業の拡大・継続	本年10月から開発事業者とともにイノベーションイベントなどイノベーションの融合拠点形成に向けた取組を実施したほか、暫定利用事業やプロモーション活動等を通じて、うめきた地区の賑わい創出や2期まちづくりの機運醸成を図ることができた。また、基盤整備についても、円滑な事業進捗が図られている。	うめきたまちづくり推進事業 (予算：5,000千円、決算5,000千円) ※参考 その他うめきた2期区域基盤整備事業費(432百万円)	うめきた2期「みどり」と「イノベーション」の融合拠点形成推進事業 (予算：5,000千円、決算：5,000千円) ※参考 その他うめきた2期区域基盤整備事業費(8,715百万円 上記、大阪府事業費を含む全体事業費)
23	なんば駅周辺道路空間再整備	民間事業者、経済団体、大阪市、大阪観光局、大阪府	なんば駅周辺の道路空間を、車中心の空間から人中心の空間へと再編し、地元組織等のエリアマネジメント活動により、世界を惹きつける観光拠点として高質で居心地の良い空間の創出を図る。	大阪のおもてなし玄関口として、世界をひきつける観光拠点を整備し、居心地の良い空間を生み出すとともに回遊性を高める。	なんば駅周辺道路空間の再編に係る基本設計を実施する。	なんば駅周辺道路空間の再編に係る基本設計を実施した。	2017年度に作成した実施計画に基づき、地元協議会・関係機関と設計内容について協議中であり、おおむね計画どおり事業進捗している。	事業の拡大・継続	地元協議会・関係機関と協議を行い、基本設計を完了。引き続き、空間再編の実現に向けて地元協議会・関係機関と連携した取組を進めていく。	なんば駅周辺における空間再編推進事業 (予算：47,000千円、決算：24,916千円)	
24	鶴見緑地の再生・魅力向上事業	大阪市、民間事業者	管理運営事業者の更新時期でかつ、「国際花と緑の博覧会開催後30周年」となる2020年にむけ、民間事業者の参入を促進し、鶴見緑地の再生・魅力向上を図る	鶴見緑地の再生・魅力向上	・「鶴見緑地再生・魅力向上計画」を策定する ・新たな管理運営事業者の公募条件を整理する	・「鶴見緑地再生・魅力向上計画」を策定した。 ・新たな管理運営事業者の公募条件を整理し、公募を開始した。	・有識者委員会の意見を踏まえながら、「鶴見緑地再生・魅力向上計画」の策定に向け、検討を進めている。	事業の拡大・継続	・平成31年3月に「鶴見緑地再生・魅力向上計画」を策定するとともに、新たな管理運営事業者の公募条件を整理し、公募を開始した。		鶴見緑地の再生・魅力向上事業 (予算：26,871千円、決算：15,415千円)
25	国内外の人々を惹きつけるキーワードの創出	大阪府	大阪のメインストリートである御堂筋を集客装置として活用して、非日常的なオンラインコンテンツを通じて大阪の魅力を国内外に発信し、多くの方に大阪を訪問していただくための起爆剤となるイベントを実施。	御堂筋を国内外に発信できる集客装置として活用して、国内外からの話題を集め、御堂筋・大阪の魅力を発信する。	・テレビ・新聞・雑誌の掲載回数 90回以上 うち首都圏メディアでの掲載取上げ回数 30回以上 ・Web掲載回数 600回以上	・テレビ・新聞・雑誌の掲載回数 84回 うち首都圏メディアでの掲載取上げ回数 34回 ・Web掲載回数 824回	11月4日の開催に向け、警察、消防局、関係機関等と協議を行っており、概ね計画通り事業進捗している。	事業の拡大・継続	トップアーティストによる音楽ライブやリアルな恐竜を御堂筋に登場させるパフォーマンスなど、これまでにはない企画と多彩なキャストによる1日限りの豪華共演「御堂筋ランウェイ」を開催。イベント開催前から話題となり、来場者数は40万人となった。当日の様子はテレビ、新聞、インターネット等で大きく取り上げられ、大きな反響を得た。	国内外からの誘客促進事業 (予算：60,000千円、決算：60,000千円)	
26	大阪・光の饗宴の魅力向上	大阪府、大阪市、経済団体、大阪観光局、民間事業者	「御堂筋イルミネーション」と「OSAKA光のルネサンス」をコアプログラムとし、地域の活性化に取り組む団体等が大阪府内各エリアで展開する光のプログラムをエリアプログラムとして、一体的にプロモーション展開することにより、大阪の冬を代表する観光コンテンツとして、官民の連携・協働により都市魅力の創造・発信や都市ブランドの向上や国内外からの多くの観光誘客を図り、大阪の活力向上につなげる。	御堂筋イルミネーションについて、イチョウ並木を中心にインパクトあるイルミネーションを施した「大阪・光の饗宴2018」を実施し、国内外からの更なる誘客につなげる。	大阪・光の饗宴全体の来場者数：1,400万人以上 大阪・光の饗宴として連携実施する民間等の団体数：20団体	大阪・光の饗宴全体の来場者数：1,709万人以上 (前年度比約342万人増) 大阪・光の饗宴として連携実施する民間等の団体数：19団体	11月4日から開始する「大阪・光の饗宴」に向け、警察等関係機関と協議を行っており、概ね計画通り事業進捗している。	事業の拡大・継続	コアプログラムである「御堂筋イルミネーション」では、御堂筋を光の川に見立て「流れる光」を演出し、北御堂で参加型プロジェクトマッピングを実施。「OSAKA光のルネサンス」では、開館100周年を迎える大阪市中央公会堂とのコラボレーションによる「百年の輝き」をテーマとしたウォールタペストリーを中心に光のプログラムを充実させた。エリアプログラムでは、大阪市以外のエリアからの参加が昨年の6団体から10団体に拡大。これらの取組により大阪・光の饗宴全体の来場者数、連携実施する民間団体ともに目標をほぼ達成する成果を得られた。	ナイトカルチャー魅力創出事業(大阪・光の饗宴事業) (予算：238,878千円、決算：237,362千円)	大阪・光の饗宴事業 (予算：179,939千円、決算：168,305千円)

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

整理 番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト 概要	アウトカム	成果指標		中間評価		2018 (決算額は見込み額)	
					目標	実績	次年度方針案	期末評価	大阪府	大阪市
							事業の拡大・継続		予算事業名・予決額	予算事業名・予決額
27	大阪マラソンの魅力向上	大阪府、大阪市、民間事業者	世界トップレベルの市民マラソンを目指すためのさらなる魅力づくりを目指すとともに、大会の国際化を推進	大阪マラソンの魅力向上を図り、海外ランナーのエントリー数を増加	・海外ランナーエントリー数：前年度並み ・平成31年2月 大阪マラソン組織委員会において、新コース発表	・海外ランナーエントリー数：15,005人 ・平成31年2月 大阪マラソン組織委員会において、新コース決定	大阪マラソン公式ホームページでの多言語ページ（英語・ハンガル・中国語（繁体字・簡体字））の作成など、海外ランナーの誘客増加につながる取り組みを行った結果、国外エントリー数は前年度より1,043人増加し、過去最高の15,005人となった。	大阪マラソン公式ホームページでの多言語ページ（英語・ハンガル・中国語（繁体字・簡体字））の作成など、海外ランナーの誘客増加につながる取り組みを行った結果、国外エントリー数は前年度より1,043人増加し、過去最高の15,005人となった。	大阪府 大阪マラソン開催費 (予算：115,000千円、決算：115,000千円)	大阪市 ・大阪マラソン開催事業（予算：90,000千円、決算：90,000千円） ・大阪マラソン魅力向上事業（予算：25,000千円、決算：25,000千円）
28	スポーツチームの推進	大阪府、大阪市、大阪観光局、民間事業者	ランドマークなど大阪のブランド力を活用したスポーツイベントを誘致・開催。 また、プロスポーツチームと連携した都市魅力の発信、観光振興につながる取組を実施	・観光集客を通じて地域を活性化すく府・市 ・スポーツを活かした都市魅力創出、誘客促進く市	・大阪にゆかりのあるプロスポーツチームの年間主催試合での観客者合計数320万人く府・市 ・国際競技大会・イベント等の誘致・開催：2件以上く市	・大阪にゆかりのあるプロスポーツチームの年間主催試合での観客者合計数271万人く府・市 ・国際競技大会・イベント等の誘致・開催：6件く市	・プロスポーツチームと連携したイベントの実施や、様々な機会を通じて小学校等へのチラシやポスター等を配布。く府 ・国際競技大会等を計画どおり開催するとともに、プロスポーツチームと連携し主催試合の招待や舞洲プロジェクト事業としてスポーツ教室を実施するなど、都市魅力の創出及び観光振興に寄与している。引き続き、スポーツ都市大阪の魅力を発信するため、事業を実施していく。く市	・プロスポーツチームと連携したイベントや、様々な機会を通じてポスター等の配布等を行ったもの、観客者合計数について目標数値は達成できなかった。スポーツを大阪の都市魅力として発信できる機会をさらに増やし、目標数値達成に向け取り組んでいく。く府 ・国際競技大会等を計画どおり開催し、目標を上回る実績を残すことができた。また、プロスポーツ3チームと大阪市の4者が議論を行い、4者協働による付加価値の高い事業を実施することができた。く市	予算事業なし	スポーツ競技大会の開催（予算：19,200千円、決算17,000千円） 舞洲スポーツ振興事業（予算：21,000千円、決算20,996千円）
29	大阪の食の魅力の創出・発信	大阪観光局、民間事業者、経済団体、大阪府	府内の飲食店が利用できる多言語メニュー作成支援システムを構築し、多言語メニュー設置店を増やすことで外国人旅行者が安心かつ快適に飲食店を利用できる環境を整える。	・外国人旅行者の利便性向上	・府内の飲食店のシステム登録数：2,500件（府内の飲食店の5%以上）	・府内の飲食店のシステム登録数：1,307件	件数増加に向けた普及啓発を実施中（8月末時点登録件数 318）	広報啓発に加え、年度途中から利用者登録の促進の取組みを強化した結果、飲食店のシステム登録数は1,307件となった。	大阪の「食」でおもてなし受入環境整備事業費 (予算：11,200千円、決算：9,905千円)	-
30	民間との連携による食の魅力発信	大阪市、民間事業者	民間事業者等との連携により、大阪の食の魅力を活用した新たな大阪ならではの観光コンテンツを開発する。	観光魅力の向上	・株式会社ぐるなびとの包括連携協定に基づく協働事業の実施 ・食を活かした着地型観光コンテンツの実施	「インバウンド対策&健康・ヘルシーメニューセミナー」、市内小中学校における食育教室を実施。また、食を活かした着地型観光コンテンツのモデル事業として「あじわい大阪」を実施。	株式会社ぐるなびとの包括連携協定に基づく協働事業を実施。食を活かした着地型観光コンテンツの実施準備が進捗している。	株式会社ぐるなびとの包括連携協定に基づく協働事業や、食を活かした着地型観光コンテンツの実施により、大阪の食の魅力を発信できた。	-	食を活用した観光魅力開発事業（予算：2,609千円、決算：2,247千円）
31	天満・天神橋地域の魅力発信	大阪市	大阪天満宮・大阪くらしの今昔館・天満天神繁昌亭・天神橋筋商店街など、地域の都市魅力資源を活かし、天満・天神橋地域の魅力を広く発信する。	観光客の誘致強化	大阪くらしの今昔館入館者数：500千人	大阪くらしの今昔館入館者数：621千人	・天満・天神橋地域の特性を活かした様々なイベントを実施するとともに、大阪くらしの今昔館では、インバウンドの受入環境を整備するなど、観光客の誘致強化に向けておもむね順調に進んでいる。	マスメディアや来館者によるSNS等を通して、今昔館や周辺地域の魅力情報が国内外に向けて広く発信された。また、地域特性を生かした様々なイベント開催や、大阪の歴史文化をよりわかりやすく体感するための受け入れ環境の充実などにより、観光客の誘致強化を図ることができた。	-	住まい情報センター事業のうち今昔館分経費（予算：61,258千円）（決算：33,650千円）

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価		期末評価	2018 (決算額は見込み額)	
					目標	実績	次年度方針案	大阪府		大阪市	
										予算事業名・予決額	予算事業名・予決額
32	観光魅力向上のための歴史・文化的まちなみ創出事業	大阪市	船場地区において、歴史的・文化的な建築資源周辺の無電柱化や周辺景観と調和した道路整備を実施するとともに、回遊性向上の取組み等を実施する。	観光魅力の向上	・芝川ビル周辺、大阪倶楽部周辺の2箇所の周辺景観と調和した道路整備及び道修町通の1箇所の無電柱化 ・民間団体によるイベント等、周遊性を促す事業の実施を支援	・芝川ビル周辺、大阪倶楽部周辺、道修町通の3箇所の工事を実施 ・民間団体によるイベント等、周遊性を促す事業の実施を支援した。	・芝川ビル周辺、大阪倶楽部周辺の2箇所の道路整備を実施 ・道修町通の無電柱化工事を実施 ・有識者会議を実施するため関係機関と調整中	事業の拡大・継続	・2箇所の道路整備を進めるとともに、地元のみちづくり協議会と協働し、道修町通の無電柱化を実施した。 ・関係機関と調整のうえ、有識者会議を実施し、回遊性の向上に向けた取組み等について議論した。	—	観光魅力向上のための歴史・文化的まちなみ創出事業 (予算：435,163千円) 【参考】経済戦略局 (予算：163千円、決算：67千円) 建設局 (予算：435,000千円、前年度からの繰越額：183,431千円)
33	恒常的なまちの魅力向上支援事業補助金	大阪府	大阪ミュージアムの取組みの一端として、住民参加によるまちの魅力向上とホスピタリティの向上に資することを目的に、地域が主体となった恒常的なまちの魅力向上及び景観形成の取組みを支援する。	住民参加によるまちの魅力向上・景観形成	補助事業実施団体数：2団体以上	補助事業実施団体数：2団体	概ね当初の計画通りに進んでいる。	事業の拡大・継続	補助事業実施団体には、成果指標（数値目標）を設定しており、おおむね目標は達成できている。また、補助対象物は、補助事業のほか当該団体等において実施される都市魅力向上の取り組みなどにも幅広く活用されている。	—	大阪ミュージアム推進事業（うち まちの魅力づくり支援） (予算：3,649千円) 決算見込額 3,622千円
34	Wi-Fi設置の拡充	大阪府、大阪市、大阪観光局、民間事業者、市町村	大阪観光局において、Osaka Free Wi-Fiの整備を促進する。 また、府においては、大阪観光局が設置を促進しているOsaka Free Wi-Fiについて、府内で外国人旅行者をはじめ、多数の旅行者を呼び込む意欲のある地域について、エリアを限定して集中的に整備を実施するため、補助金を交付する。	・まちの魅力向上 ・観光客の利便性・回遊性の向上	2019年3月終了時 認証数：2,400万認証	2019年3月末の認証数：2,737万認証	府の補助事業については、Osaka Free Wi-Fiの整備に係る補助申請に対し、補助金の交付決定を行うなど、概ね予定どおり進捗している。	事業の拡大・継続	Osaka Free Wi-Fiの拠点数は、2018年3月末から378拠点増加し、観光客の利便性の向上につながった。 府の補助事業については、大規模集客施設におけるWi-Fi拠点整備など、9市町の18事業に対して補助を実施した。	—	Osaka Free Wi-Fi設置促進事業（予算：46,000千円、決算：44,169千円） 大阪観光局事業（予算：320,000千円、決算：320,000千円）の一部
35	公共交通機関等と連携した受入環境の整備	大阪府、民間事業者	乗継利便性の向上を図るため、乗継駅における案内モニターや経路床面における表示等、旅行者の利便性向上に向けた環境整備を促進。	外国人利用者の利便性が向上し、来訪者が増加	目標補助実施箇所数 3 駅	補助実施箇所数 4 駅	鉄道事業者により、乗継利便性向上を図る案内モニターや床面案内表示等を整備中。	事業の拡大・継続	鉄道乗継駅4駅において、多言語による案内モニターや経路床面案内表示が完了し、国内外の観光客に対して、より一層の利便性向上が図られた。 引き続き、乗継利用の多い駅や観光客の利用が見込まれる駅に活用されるよう、これまでの取組事例等、鉄道事業者間で情報共有できるような場の設置を検討していく。	—	公共交通機関等と連携した受入環境整備事業（予算：24,300千円、決算：24,300千円）
36	観光公衆トイレの整備促進	大阪府、市町村	市町村が実施する観光公衆トイレの設置及び洋式化のための改修に係る経費について補助金を交付する。	・まちの魅力向上	・来阪外国人旅行者数 1,181万人 ・延べ宿泊者数：3,392万人	・来阪外国人旅行者数：1,142万人 ・延べ宿泊者数：3,990万人	市町村が実施する観光公衆トイレの設置及び洋式化のための改修に係る補助申請に対し、補助金の交付決定を行うなど、概ね予定どおり進捗している。	事業の拡大・継続	観光公衆トイレの設置及び洋式化のための改修をはじめ、10市町村の18事業に対して補助を実施した。	—	市町村観光振興支援事業 (予算：31,151千円、決算：28,266千円)

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価		期末評価	2018 (決算額は見込み額)	
					目標	実績	次年度方針案	大阪府		大阪市	
								予算事業名・予決額		予算事業名・予決額	
37	宿泊施設における「おもてなし」環境の整備事業	大阪府、民間事業者	府内の宿泊施設を対象に、施設内の案内表示等の多言語化やトイレの洋式化など、宿泊客の利便性や満足度の向上に繋がる取組に対し支援を行うとともに、特区民泊施設については、認定促進につなげるため、消防設備の整備等についても支援を行う。	・宿泊客の利便性や満足度の向上	・来阪外国人旅行者数 1,181万人 ・延べ宿泊者数：3,392万人	・来阪外国人旅行者数： 1,142万人 ・延べ宿泊者数：3,990万人	現在、交付決定審査中であるが、概ね予定どおり。	事業の拡大・継続	宿泊施設13施設、特区民泊47施設に対して補助を実施した。	宿泊施設のおもてなし環境整備促進補助金 (予算：40,000千円、決算：32,806千円)	-
38	歩行者案内標識整備	大阪市	鉄道駅から主要集客施設までのルート上に歩行者案内標識を整備することを基本とし、特に魅力向上を図る地域（重点エリア）においては、各地域の特性を踏まえたサイン計画を策定し、都市魅力の発展へとつなげる。	来街者の回遊性・利便性の向上	歩行者案内標識の整備	・歩行者案内標識整備の詳細設計を実施 ・天王寺・阿倍野地区における歩行者案内標識整備を実施	事業計画に基づく整備を今年度より行うために、各関係先と調整中。 次年度以降の整備予定箇所について、整備計画の検討および各関係先との調整を実施中。	事業の拡大・継続	・重点エリアのうち天王寺・阿倍野地区の一部における案内サイン整備について、平成31年3月に完了した。 ・一般エリアにおける整備に向けて関係先との協議を進めるも、契約不調により未実施。	-	交通安全施設等整備（歩行者案内標識） (予算：40,000千円、決算：33,200千円)
39	「トラベルサービスセンター大阪」の運営	大阪府、大阪観光局、民間事業者	来阪旅行者の多様化するニーズに応えるため、民間が実施するサービスと連携し、観光案内のみならず旅行時のトラブルにも対応するなど、旅行者の利便性向上と安心・安全をワンストップで提供する「トラベルサービスセンター大阪（愛称：おもてなしステーション）」をJR大阪駅構内において運営。	・観光客の利便性や満足度の向上、府内各地への誘客 ・リピーターの確保	・「トラベルサービスセンター大阪」の円滑な運営	来所人数：2017年：313,675人 2018年：268,674人	大きく相談件数が伸びた平成29年度並みの来所状況であり、引き続き観光客の利便性向上に資することとなっている。	事業の拡大・継続	多くの方に利用され、観光案内にとどまらず様々な相談に対応することで、観光客の利便性や満足度の向上に資することとなった	トラベルサービスセンター大阪運営事業 (予算：35,202千円、決算：34,072千円)	-
40	観光案内所の運営	大阪府・大阪市・大阪観光局・民間事業者・市町村	大阪観光局において、観光案内所（大阪観光案内所・難波観光案内所）の運営を行うとともに、府域の観光案内所のネットワーク化に向けた検討を行う。	観光案内機能の充実	大阪観光案内所及び難波観光案内所の機能充実による来所件数の増加	来所件数（大阪及び難波観光案内所の合計） 2017年：1,128,690件 2018年：926,959件	大阪観光案内所については、「トラベルサービスセンター大阪」として移転拡張を行い、運営している。 難波観光案内所については、難波駅周辺の空間開発に合わせた方向性を検討中。	事業の拡大・継続	2017年3月に大阪観光案内所の移転拡張、営業時間の延長により来所者が増加し、観光客の利便性の向上につながっている。 引き続き、難波案内所のスペース確保を含めたあり方の検討が必要である。	大阪観光局運営事業（予算：180,000千円、決算：180,000千円）の一部 大阪観光局運営事業（大阪版DMO） (予算：140,000千円、決算：140,000千円) トラベルサービスセンター大阪運営費負担金 (予算：35,202千円、決算：35,202千円)	大阪観光局事業（予算：320,000千円）の一部
41	観光客への情報提供機能の充実	大阪府	日本人旅行者を含む多くの来阪旅行者に、自国語若しくは使用言語による観光マップを見ていただくことで、大阪の「おもてなし」精神を伝えるとともに、大阪府内全域をスムーズかつ安心して移動してもらうため、多言語マップを作成・配布する。	・観光客の利便性や満足度の向上、府内各地への誘客 ・リピーターの確保	多言語マップの配布	4言語5種類（日、英、中（繁・簡）、韓）の多言語マップを改訂し、配布を開始した。	大阪観光局事業として、府内の案内所への配布などにより、観光客の利便性向上に寄与している。	事業の拡大・継続	大阪観光局事業として、府内の案内所への配布などにより、観光客の利便性向上に寄与した。	-	-

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価		2018 (決算額は見込み額)		
					目標	実績	次年度方針案	期末評価	大阪府	大阪市	
									予算事業名・予決額	予算事業名・予決額	
42	観光案内板等の整備促進	大阪府、大阪市、大阪観光局、市町村、民間事業者	市町村が実施する多言語による観光案内板の設置・改修に係る経費について補助金を交付する。また、大阪・梅田駅周辺において、鉄道事業者、地下街管理者、道路管理者等とともに、共通ルールに基づくサイン整備を行うことにより、来阪者、特に急増する外国人旅行者の周遊性・利便性向上を図る。	・まちの魅力向上 ・観光客の周遊性・回遊性の向上	・来阪外国人旅行者数 1,181 万人 ・延べ宿泊者数： 3,392 万人	・来阪外国人旅行者数： 1,142 万人 ・延べ宿泊者数： 3,990 万人	市町村が実施する多言語による観光案内板の設置改修に係る補助申請に対し、補助金の交付決定を行うなど、概ね予定どおり進捗している。	事業の拡大・継続	府においては、多言語による観光案内板の設置改修をはじめ、 10 市町村の 18 事業に対して補助を実施した。 また、多くの観光客が往来する大阪駅・梅田駅周辺エリアにおいて、鉄道事業者や地下街事業者とともに共通ルールを策定し、これに基づく案内サインの整備について、府市で協調した補助事業により支援を実施した(3事業者)。	市町村観光振興支援事業 (予算： 31,151 千円、決算： 28,266 千円) 大阪駅・梅田駅周辺案内表示整備事業費補助金(予算： 20,288 千円、決算： 7,503 千円)	大阪駅・梅田駅周辺案内表示整備事業費補助金(予算： 20,288 千円、決算： 7,503 千円)
43	観光案内板等の掲載情報の更新等	大阪市	外国人観光客にとって需要のある場所に設置した観光案内板を、より分かりやすく、利便性の高いものへと更新し、観光情報の提供や周辺案内の充実を図る。	観光客の回遊性・利便性の向上	観光案内表示板の地図等掲載情報を適宜更新	観光案内表示板の地図等掲載情報を適宜更新した。	現在設置している 22 箇所の盤面更新について、年度末の完了に向けて作業を行う。	事業の拡大・継続	観光案内表示板の地図等掲載情報を確認し、必要な箇所の更新を実施した。 観光案内表示板の機能強化・充実に向けて、次年度にかかる観光案内表示板の調査・検討の実施準備を行った。	-	観光案内表示板の整備事業 (予算： 3,037 千円、決算： 0 千円)
44	観光ボランティアの育成	大阪府、民間事業者	市町村が実施する観光ボランティアの育成事業(研修等)に係る経費について補助金を交付する。	・まちの魅力向上	・来阪外国人旅行者数 1,181 万人 ・延べ宿泊者数： 3,392 万人	・来阪外国人旅行者数： 1,142 万人 ・延べ宿泊者数： 3,990 万人	市町村が実施する観光ボランティアの育成に係る補助申請を市町村に対し呼びかけを行っている。	事業の拡大・継続	10 市町村の 18 事業に対して補助を実施したが、観光ボランティアの育成を行った市町村はなかった。	市町村観光振興支援事業 (予算： 31,151 千円、決算： 28,266 千円)	-
45	観光ボランティアガイドとの連携	大阪市	大阪観光局及び大阪観光ボランティアガイド協会との連携により、大阪城公園内での観光案内を行い、大阪のホスピタリティの醸成を図る。	ガイド利用の促進	大阪城内外ガイド利用人数 前年度比同数以上 (2017年度： 184,158 人)	2018 年度： 182,429 人	ボランティアガイドを 30 人増員し、通常ガイド・イベントガイドの継続実施のほか、9月にまち歩きガイドを予定している。	事業の拡大・継続	大阪府北部地震や台風 21 号といった自然災害の影響により、対前年度比 99.1% と通年では目標に及ばなかったが、災害の影響を受けなかった月の伸びは好調であり、ほぼ同等の人数を確保できた。	-	大阪城エリア観光拠点化事業 (大阪城公園内特設案内所における観光案内業務の分担金) (予算： 2,200 千円、決算： 2,200 千円)
46	多言語対応の強化	大阪府、民間事業者、大阪観光局	府内の宿泊施設等を対象に、施設内の案内表示等の多言語化などの取組みを支援するとともに、府内の飲食店が利用できる多言語メニュー作成支援システムを構築し、多言語メニュー設置店を増やすことで外国人旅行者が安心かつ快適に飲食店を利用できる環境を整える。	・外国人旅行者の利便性や満足度の向上	・来阪外国人旅行者数 1,181 万人 ・延べ宿泊者数： 3,392 万人 ・府内の飲食店のシステム登録数： 2,500 件(府内の飲食店の5%以上)	・来阪外国人旅行者数： 1,142 万人 ・延べ宿泊者数： 3,990 万人 ・府内の飲食店のシステム登録数： 1,307 件	宿泊施設に対する補助制度については、現在、交付決定審査中であるが、概ね予定どおり。 多言語メニューシステムについては、件数増加に向けた普及啓発を実施中(8 月末時点登録件数 318)	事業の拡大・継続	・宿泊施設補助については、宿泊施設 13 施設、特区民泊 47 施設に対して補助を実施した。 ・広報啓発に加え、年度途中から利用者登録の促進の取組みを強化した結果、飲食店のシステム登録数は 1,307 件となった。	宿泊施設のおもてなし環境整備促進補助金 (予算： 40,000 千円、決算： 32,806 千円) 大阪の「食」でおもてなし受入環境整備事業費 (予算： 11,200 千円、決算： 9,905 千円)	-
47	観光バス乗降場環境整備	大阪市	観光バスを利用して中央区ミナミエリアを訪れる国内外からの観光客が、ミナミエリアを円滑に周遊できるよう、日本橋観光バス乗降スペース付近に観光案内表示を設置し、案内を充実させる。 また、観光客の滞留スペースや安全・安心を確保するため、日本橋において歩道拡幅を行う。	観光客の利便性・安全性の向上	案内板の掲載情報の更新等。 日本橋歩道拡幅工事を 2018 年 8 月末までに完了する。	2018 年 9 月に歩道拡幅工事完了。	日本橋歩道拡幅工事について、計画通り、 2018 年 8 月末に工事完了予定。	事業のスクラップ	2018 年 9 月に歩道拡幅工事が完了した。また、完了後に実施したビデオ調査の結果、車道を通る歩行者の減少やバス利用者等に起因する滞留の減少など、一定の効果が確認できた。	-	外国人等観光客受入環境整備事業 ・建設局：日本橋歩道拡幅工事費(予算： 0 千円、前年度からの繰越額： 28,064 千円、決算： 28,064 千円)

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価		2018 (決算額は見込み額)			
					目標	実績	次年度方針案	期末評価	大阪府		大阪市	
									予算事業名・予決額	予算事業名・予決額	予算事業名・予決額	予算事業名・予決額
48	外国人旅行者の災害時における安全確保	大阪府・市町村・民間事業者	外国人旅行者が災害発生時に必要な情報入手できる環境の整備及び行政、観光施設・宿泊施設等、関係者の役割分担によるサポート体制の構築	災害情報を入力しやすい仕組みづくりとともに、災害時の円滑な支援体制を構築し、外国人旅行者が安心して旅行できる環境づくりをめざす	・府内観光案内所等で緊急時お役立ち情報ポータルサイトの広報カードを配布 ・市町村及び観光関連事業者に対して、「府内観光関連事業者向け 災害時における外国人旅行者 支援フロー（案）」及び「外国人旅行者の安全確保・帰国支援に関するガイドライン」の周知啓発を実施	広報カードを府内の観光案内所等で継続して配布することで周知促進を図るとともに、「ガイドライン」について、大阪北部地震を踏まえ、災害情報等の入手や伝達に関する手法の充実を図るなどの改訂を行い、公表	昨年度策定した「府内観光関連事業者向け 災害時における外国人旅行者 支援フロー（案）」及び「外国人旅行者の安全確保・帰国支援に関するガイドライン」の周知啓発を図るため、府内で市町村や観光関連事業者を対象とした説明会を開催する予定。また、情報発信機能を強化するため、ポータルサイトの見直しを図るとともに、広報カード等を活用し、周知啓発の取組みを一層推進する。	事業の拡大・継続	・大阪府北部地震や台風21号の際に、大阪観光局や大阪府国際交流財団をはじめとする各関係機関と連携し、交通機関の状況等、外国人旅行者に対する各種情報発信や相談対応を実施した。 ・ポータルサイトの周知促進を図るとともに、ガイドラインの改訂を行った。 ・大阪府ホームページについて、12言語に翻訳できる機能を導入するとともに、災害時にはトップページを切り替え、災害関連に特化した情報を提供できるよう見直しを行った。	外国人旅行者安全確保事業 (予算：914千円、決算：851千円)	-	
49	文化・観光、商業施設等の開館・営業時間の延長	大阪府・民間事業者	国内外からの観光客の要望の多いナイトカルチャーを発掘・創出するため、主にインバウンドの観光客を対象とした夜間公演等のナイトカルチャー事業に取り組み事業者に対し、事業の立ち上げ等に必要経費を補助する。	夜間公演等の充実支援等を通じて、国内外からの旅行者の要望の多いナイトカルチャーを発掘・創出する。	夜間公演等の事業の立ち上げや継続に向けた取組みにに対し、補助を実施	「ナイトカルチャー発掘・創出事業補助金」：10事業者に対し交付決定	概ね当初の計画通りに進んでいる。	事業の拡大・継続	夜間公演等に積極的に取り組み事業者に対し、事業の立ち上げ等に必要経費を支援することで、国内外からの旅行者の要望の多いナイトカルチャーの発掘・創出を促進した。	ナイトカルチャー発掘・創出事業 (予算：38,060千円) 決算見込 33,253千円	-	
50	イベント・公演等の開演時間の繰り下げ	民間事業者	国内外からの観光客の要望の多いナイトカルチャーを発掘・創出するため、主にインバウンドの観光客を対象とした夜間公演等のナイトカルチャー事業に取り組み事業者に対し、事業の立ち上げ等に必要経費を補助する。	夜間公演等の充実支援等を通じて、国内外からの旅行者の要望の多いナイトカルチャーを発掘・創出する。	夜間公演等の事業の立ち上げや継続に向けた取組みにに対し、補助を実施	「ナイトカルチャー発掘・創出事業補助金」：10事業者に対し交付決定	概ね当初の計画通りに進んでいる。	事業の拡大・継続	夜間公演等に積極的に取り組み事業者に対し、事業の立ち上げ等に必要経費を支援することで、国内外からの旅行者の要望の多いナイトカルチャーの発掘・創出を促進した。	ナイトカルチャー発掘・創出事業 (予算：38,060千円) 決算見込 33,253千円	-	
51	ランドマークのライトアップの時間延長・創出	大阪府、民間事業者	ランドマークのライトアップの時間延長・創出による夜間のまち歩きやナイトクルージングの魅力向上のため、ランドマークのライトアップの現状把握に努め、民主導の取組みを推進する。	ランドマークのライトアップの時間延長・創出による夜間のまち歩きやナイトクルージングの魅力向上	ランドマークのライトアップの時間延長・創出	「大阪駅周辺」「中之島」「御堂筋」エリアについてエリアマネジメント団体との意見交換を実施。また、光の専門家の視点も取り入れながら現状について調査を実施。	4月13日開催の「光のまちづくり推進委員会」において、2018年度の活動内容について承認され、概ね予定どおり進捗している。	事業の拡大・継続	2019年4月8日開催の「光のまちづくり推進委員会」において、エリア別光のまちづくりガイドラインの作成状況の報告があり承認された。	予算事業なし	予算事業なし	
52	MICE誘致の推進	大阪府・大阪市・大阪観光局・経済団体・民間事業者	官民が一体となって、ターゲット等を明確にした方針に基づき戦略的にMICE誘致を展開するとともに、大阪におけるMICE受入体制の充実を図る。	誘客促進	MICE推進委員会の開催とともに、MICE誘致推進に向けた関係機関によるネットワーク強化	IEEE VR 2019 (2019.3) 世界野球ソフトボール連盟総会 (2019.11) などの開催決定	ソフターに関する国際会議の大阪への誘致の成功のほか、大阪への戦略的なMICE誘致の推進に取り組むため、府・市・経済団体と連携して「大阪MICE推進委員会」開催において、調整中。また、グローバルMICE都市・都市力強化対策本部（事務局：観光庁）へ参加（6月）し、国、他都市の取組状況など情報収集を行った。	事業の拡大・継続	府・市・経済団体と連携し大阪MICE推進委員会を開催（12月）。大阪に集積する産業分野を活かしたビジネスやイノベーションの機会を創出するMICE誘致に向けて、ターゲットリストの作成やクラスターの連携強化策等について協議を行った。また、グローバルMICE都市・都市力強化対策本部（事務局：観光庁）への参加（6月、11月）など、国、他都市の取組状況など情報収集を行い、戦略的なMICE誘致につなげた。	大阪観光局運営事業 (予算：180,000千円、決算：180,000千円) 大阪観光局運営事業（大阪版DMO） (予算：140,000千円、決算：140,000千円)の一部	大阪観光局事業（予算：320,000千円、決算：320,000千円）の一部	

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価		2018 (決算額は見込み額)		
					目標	実績	次年度方針案	期末評価	大阪府	大阪市	
									予算事業名・予決額	予算事業名・予決額	
53	2019年G20大阪サミット開催に向けた取組みの推進	大阪府・大阪市・経済団体	G20大阪サミットの成功に向けて、万全の警備のもと安全・安心な会議環境を確保するとともに、最高のおもてなしにより、大阪・関西の強みや魅力を世界に発信する。	<ul style="list-style-type: none"> ・G20大阪サミットへの理解・協力機運の盛り上げ。 ～平成30年8月：知ってもらおう(周知) ～平成31年1月：ともめざす(理解促進) ～令和元年6月：もてなす(参画) ・国や関係機関等と連携した防災・危機管理、保健医療対策等、安全・安心なサミット開催に向けた万全な準備 ・大阪・関西の食材の提供等を活用した各国代表団等への最高のおもてなしの実現 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスター、チラシ、ホームページや市町村・関西広域連合構成府県市・経済団体などの協力による広報活動。 ・サミット開催時の対応を見据えた訓練の実施等、個別検討課題プロジェクトチームによる体制構築と取組支援。 ・サミット関係者等の宿泊・客室確保の円滑な実施のための宿泊予約センターの設置・運営。 ・市町村、関西広域連合、経済界の協力のもと、大阪・関西の魅力ある食材・訪問場所等の国への提案等。 ・多言語ホームページや海外メディアプレスツアー等を通じた大阪・関西の世界への発信。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各種広報活動の展開(府政だよりや関係機関との連携やポスター、リーフレット、各種PRグッズによる広報・周知 他) ○住民・事業者等への周知(地元住民・事業者団体等への理解促進・協力要請 他) ○市町村・関西広域連合・国関係機関との連携(関係行政機関との連携体制の構築 他) ○会議の開催支援(外国公的機関等への視察対応 他) ○宿泊予約センターの設置・運営 ○大阪・関西の魅力PR(協議会ホームページにおける「大阪・関西の魅力発信」 他) 	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年G20大阪サミット宿泊予約センターの設置や、G20大阪サミット開催1年前キックオフフォーラムを開催するなど、サミット開催成功に向けた取組みを推進している。 	事業の拡大・継続	各種広報活動の展開を図るとともに、住民・事業者への周知を行った。また、大阪・関西の多彩な魅力や強みを世界中に発信するため、在京外国人記者を対象にプレスツアーを開催するなど、G20大阪サミットの開催に向けた取組みを推進している。	2019年G20サミット推進事業費 (予算：228,567千円、決算：94,997千円)	2019年G20大阪サミット開催支援事業費 (予算：82,688千円、決算：50,614千円)
54	大阪観光局運営事業(大阪版DMO推進事業)	公益財団法人大阪観光局(大阪版DMO)	大阪観光局において、観光のプロ組織による観光振興事業を展開し、新たな観光関連産業の振興や地域の活性化、交流を通じたにぎわいづくりに取り組むとともに、大阪観光局を「大阪版DMO」とし、戦略的なマーケティング、情報ネットワークや観光案内機能のワンストップ化、効果的なプロモーションや地域と連携したMICE誘致などの事業に取り組み、大阪への来訪者・宿泊者数を増加させ経済効果の向上を図る。	誘客促進	大阪版DMO戦略の本格実施	大阪版DMO戦略の本格実施	国地方創生交付金を活用し、閑空アンケート調査を継続して行うとともに、観光関連ビッグデータやWebマーケティングデータの活用、DMO事業戦略に沿ったプロモーションなどを行った。	事業の拡大・継続	国の地方創生推進交付金を活用し、マーケティング強化や観光案内所の運営、ナイトツーリズム振興をはじめとした戦略的なプロモーション活動を行うなど観光客の誘致を引き続き実施した。また、大阪版DMO戦略に基づく事業体制確立に向け、外部委託による事業の中間評価を実施し、事業等の見直しを行った。	大阪観光局運営事業 (予算：180,000千円、決算：180,000千円) 大阪観光局運営事業(大阪版DMO) (予算：140,000千円、決算：140,000千円)の一部	大阪観光局事業(予算：320,000千円、決算：320,000千円)
55	都市魅力をみんなで支えるネットワークづくり	大阪府、経済団体、民間事業者	文化及び都市魅力創造をみんなで支える仕組みとして、行政、経済界、在阪メディア及び文化・都市魅力創造関係団体が連携し、観光、文化、スポーツ、国際化など様々な都市魅力活動を支えるネットワークづくりの取り組みを行う。	都市魅力活動を支えるネットワークづくり	府城市町村及び関係団体との情報共有・意見交換の場として、おおさか都市魅力・観光ネットワーク会議総会を開催する。	府城市町村及び関係団体との情報共有・意見交換の場として、おおさか都市魅力・観光ネットワーク会議総会を開催した(平成30年度開催実績1回)	府城市町村及び関係団体との情報共有・意見交換の場として、おおさか都市魅力・観光ネットワーク会議総会を開催した(平成30年度開催実績1回(H29.8未現在))。	事業の拡大・継続	府城市町村及び関係団体との情報共有・意見交換の場として、おおさか都市魅力・観光ネットワーク会議総会を開催した(平成30年度開催実績1回)。	-	-

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価		2018 (決算額は見込み額)		
					目標	実績	次年度方針案	期末評価	大阪府		
									予算事業名・予決額	大阪府	大阪市
56	大阪市版TID (Tourism Improvement District) モデル創出事業	大阪市	地域が自らの資金を原資として観光地域まちづくりに取り組む仕組みである「大阪市版TID (Tourism Improvement District)」の構築に向け、モデル創出に向けた事前調査を実施することにより、翌年度以降のモデル事業実施につなげ、将来的に、地域内の滞在者数・宿泊者数の増加及びそれに伴う地域内経済の活性化をめざす。	地域内の滞在者数・宿泊者数の増加及びそれに伴う地域内経済の活性化	モデル実施計画の策定	モデル実施計画を策定	・大阪・光の饗宴における大阪市版TIDモデル事業実施計画策定業務委託を発注し検討調査するとともに、引き続き大阪市版TID制度検討会を開催するなど制度構築に向け詳細検討を進めている。おおむね計画通りに進捗している。	事業の拡大・継続	・「大阪市版TID制度検討会」を3回開催し、有識者等の意見を受けて、スキーム案の検討・作成を行うとともに、次年度におけるモデル実施計画を策定した。	-	大阪市版TID (Tourism Improvement District) モデル創出事業 (予算：8,000千円、決算：7,065千円)
57	国内外への戦略的なプロモーションの展開	大阪府・大阪市・大阪観光局	大阪観光局において、マーケティングに基づき、観光客や市場ごとのターゲットに応じた効果的なプロモーション活動を展開し、国内外からの誘客の促進を図る。	誘客促進	来阪外国人旅行者数：1,181万人 (2018年)	来阪外国人旅行者数：1,142万人 (2018年)【速報値】	DMO事業戦略に基づき、ターゲット国に対して、現地旅行博への参加やSNSを活用した観光プロモーションを実施。 また、市場別プロモーション以外にも、クルーズの誘致活動や、ムスリム観光客への受入推進やプロモーションのためのPRツールの制作、ナイトツーリズム振興のための夜の観光体験プログラムを紹介するPRツールの制作など、テーマや特定市場に向けたプロモーションを実施した。	事業の拡大・継続	海外プロモーションについては、ターゲット市場へのマーケティング・リサーチを実施、それぞれの市場の旅行情報・形態・トレンドセッター等を把握し、戦略的なプロモーション活動を行った。 国内プロモーションについては、国内市場からの誘客強化として、京都・大阪・神戸観光推進協議会(三都協議会)やJ R西日本と連携したプロモーション等を実施した。また、新施設等と連携して観光展への共同出展やファミトレップ等を行った。	大阪観光局運営事業 (予算：180,000千円、決算：180,000千円) 大阪観光局運営事業 (大阪版DMO) (予算：140,000千円、決算：140,000千円)の一部	大阪観光局事業 (予算：320,000千円、決算：320,000千円)の一部
58	各種プロモーションツールを活用した大阪の情報発信の強化	大阪府・大阪市・大阪観光局	大阪観光局において、インターネットやSNS、ガイドブックやマップなどの各種プロモーションツールを活用し、多言語による効果的な情報発信を展開する。	誘客促進	来阪外国人旅行者数：1,181万人 (2018年)	来阪外国人旅行者数：1,142万人 (2018年)【速報値】	7月より、「OSAKA-INFO」において人工知能AIチャットボットを用いた大阪周遊バスに関する案内を開始。	事業の拡大・継続	観光情報サイト「OSAKA INFO」のリニューアルや、SNSを活用した6言語による大阪の観光情報の発信を行うなど、引き続き効果的な情報発信に取り組んだ。 また、ガイドブックなどのプロモーションツールの電子化を行い、観光客の利便性の向上を図った。	大阪観光局運営事業 (予算：180,000千円、決算：180,000千円) 大阪観光局運営事業 (大阪版DMO) (予算：140,000千円、決算：140,000千円)の一部	大阪観光局事業 (予算：320,000千円、決算：320,000千円)の一部
59	大阪ミュージアムの推進	大阪府、市町村	大阪府全体を屋根のないミュージアムに見立て、魅力あるまちなみや自然、祭りやイベントなどを「展示品」や「館内催し」として登録し、その魅力を磨き・際立たせ、内外に発信し、府域への集客促進を図る。	①ホームページ等での情報発信、コンテンツの充実 ②府域での周遊・集客の促進 ③住民参加によるまちの魅力向上・景観形成 (No.33再掲)	①ホームページのアクセス件数：月2万件以上 ②参加者満足度：90%以上 (No.63再掲) ③補助事業実施団体数：2団体以上 (No.33再掲)	①ホームページのアクセス件数：月2万件以上 ②参加者満足度：91% ③補助事業実施団体数：2団体	概ね当初の計画通りに進んでいる。	事業の拡大・継続	①ホームページ等により地域のイベント等の情報発信をし、目標通りのアクセス数を確保できた。 ②テーマに沿って多言語で地域魅力を紹介する冊子を発行し (30,000部)、国内外の観光客に大阪に魅力を発信できた。併せて、Instagramを活用し府内の魅力スポットへの周遊を促進できた。(延べ投稿件数：2,752件 (4,912画像)、投稿に対する「いいね!!」数：218,796件) (No.63再掲) また、民間のイベントとの連携によるワーキングツアーでは満足度91%を達成した。 ③補助事業実施団体には、成果指標 (数値目標) を設定させており、おおむね目標は達成できている。また、補助対象物は、補助事業のほか当該団体等において実施される都市魅力向上の取り組みなどにも幅広く活用されている。(No.33再掲)	大阪ミュージアム推進事業 予算：24,990千円 ※No.33とNo.63を含む。決算見込額 21,939千円	-

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価		2018 (決算額は見込み額)		
					目標	実績	次年度方針案	期末評価	大阪府		
									予算事業名・予決額	大阪市 予算事業名・予決額	
60	大阪都市景観建築賞（大阪まちなみ賞）	大阪府、大阪市	<p><目的> 美しく、個性と風格のあるまちの景観づくりを進めていくために、府民、市民等から周辺景観の向上に質し、かつ、景観上優れた建物や建物を中心としたまちなみを募集し、表彰することで地域資源を生かした大阪の魅力発信及び府民の景観に対する意識向上を図る。（設計者による自薦応募も可）</p> <p><運営> 大阪府・大阪市・（公社）大阪府建築士会・（一社）大阪府建築士事務所協会・（公社）日本建築家協会近畿支部・（一社）日本建築協会の共催で行い、運営資金は建築関係団体及び屋外広告物業団体等による協賛による。</p>	<p>・景観に対する意識向上</p> <p>・美しく、個性と風格のあるまちの景観づくりの推進による都市の魅力向上</p>	<p>景観に対する意識向上を図るため、府民や市民による推薦応募を促進し、賞の周知を図る。</p>	<p>府民や市民による推薦物件から、景観上優れた建物や建物を中心としたまちなみを10件選定し、表彰した。推薦者総数 136名、推薦物件数 82件、審査対象件数 55件、表彰作品 10件（受賞作品内訳）大阪府知事賞：豊中市立文化芸術センター、大阪市長賞：中之島フェスティバルタワー・ウエストのほか8件（審査員特別賞、緑化賞、建築サイン・アート賞、奨励賞）。</p>	<p>推薦募集に対して広く大阪府下の建物・まちなみに対する推薦があった。新築・大規模な建物だけでなく、リニューアルや小規模な建物などに対しても推薦があり、府民、市民の幅広い関心が感じられる。</p>	<p>事業の拡大・継続</p>	<p>周辺環境の向上に質し、かつ、景観上優れた建物や建物を中心とするまちなみを表彰することで、個性と風格のある都市景観の形成に寄与するとともに、府民・市民等の都市景観に対する意識の高揚を図ることができた。</p>	<p>予算事業なし</p>	<p>予算事業なし</p>
61	フィルムカウンシル事業の充実	大阪府、大阪市、経済団体、大阪観光局、民間事業者	<p>大阪観光局において、大阪への映画・ドラマ等のロケーションを誘致するとともに、ロケ地紹介やボランティアエキストラを募集する等、各種撮影支援を行う。</p>	<p>大阪の知名度向上</p>	<p>・ロケ誘致・支援数目標：147件</p> <p>・大阪FCのHP閲覧数(PV)：130,000人</p>	<p>・ロケ誘致・支援数：152件</p> <p>・大阪FCのHP閲覧数(PV)：134,000人</p>	<p>6月末支援作品数：30件、6月末HP閲覧数：44,052件</p> <p>『パンク侍・斬られて候』のロケ地におけるパネル展示、北大阪急行駅へのポスター貼付を実施。ロケーション誘致部会向けに勉強会を開催(5月)。</p>	<p>事業の拡大・継続</p>	<p>152件の映画・TV番組等のロケーション支援や府内で撮影を行った映画の公開に合わせたイベントを実施し、ロケ地としての大阪の魅力を発信した。引き続き、関係団体や自治体等で誘致部会を開催し、撮影支援に取り組むとともに、関係団体や自治体等の職員を対象とした撮影支援に関する勉強会等の実施も行っていく。</p>	<p>大阪観光局運営事業（予算：180,000千円、決算：180,000千円）</p> <p>大阪観光局運営事業（大阪版DMO）（予算：140,000千円、決算：140,000千円）の一部</p>	<p>大阪観光局事業（予算：320,000千円、決算：320,000千円）の一部</p>
62	観光バス駐車場の確保・充実	大阪市	<p>観光バスの利用が多いミナミエリアへアクセスしやすい場所に観光バス駐車場を設け、外国人観光客の急増に伴う受入環境の整備を図る。</p>	<p>外国人観光客の受入環境の整備</p>	<p>浪速区幸町において、民間事業者による観光バス駐車場運営を行い、10台分の駐車場を確保する。</p>	<p>大阪市において、交通局所管の幸町用地において、民間事業者による観光バス駐車場運営を行い、10台分の駐車場を確保した。（参考）大阪府において、市町村観光振興支援事業の補助対象を拡充し、観光バス駐車場の整備に対する支援を行った。（市町村観光振興支援事業（予算：80,000千円））</p>	<p>幸町用地について、民間事業者による駐車場運営を継続。</p>	<p>事業の拡大・継続</p>	<p>交通局所管の幸町用地について、当初契約の満了に伴い、公募により新たな民間事業者を選定し、平成29年10月以降も継続して駐車場運営を行ってきた。</p> <p>令和元年9月末において契約が満了することから、今後の観光バス駐車場需要の変動などを見極めつつ、迅速かつ的確に対応していく必要がある。（参考）大阪府においては、市町村観光振興支援事業により、1市における観光バス駐車場の整備に対する支援を行った。</p>	<p>—</p>	<p>外国人等観光客受入環境整備事業（予算：17,626千円、決算：17,626千円）</p>

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

整理 番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト 概要	アウトカム	成果指標		中間評価		2018 (決算額は見込み額)		
					目標	実績	次年度方針案	期末評価	大阪府	大阪市	
									予算事業名・予決額	予算事業名・予決額	
63	魅力資源の結び つけによる府内 各地の周遊性向 上事業	大阪府	大阪ミュージアム登録物を活用 して、地域魅力を府内外に発 信するとともに、府域への集客・ 周遊を促す事業を展開する「地 域魅力発信事業」を実施。	府域での集客・ 周遊の促進	集客事業の参加者数： 3,000人以上	集客事業の参加者数： 2,752 投稿（ 4,912 画 像）	国内外からの観光客を対象とする企画・内容を 求めるなど、今年度から新たな展開に取り組んで いる。	事業の拡大・継 続	テーマに沿って多言語で地域魅力を紹介する冊 子を発行し（ 30,000部 ）、国内外の観光客に 大阪の魅力を発信できた。併せて、Instagram を活用し府内の魅力スポットへの周遊を促進でき た。（延べ投稿件数： 2,752 件（ 4,912 画 像）、投稿に対する「いいね！」数： 218,796 件）	大阪ミュージアム推進 事業（うち 地域魅力 の発信） （予算： 7,141 千 円）決算見込額 7,127 千円	-
64	世界に発信する 「大阪文化の祭 典」	大阪府、大阪 市、経済団体 等	大阪の都市魅力を創造し、 文化を核とした大阪発展のムー ブメントを起こすため、平成 29 年度に初開催。府内のホー ル・劇場や公園に、上方伝統 芸能、上方演芸等の国内外の コンテンツを一堂に集め、合わせ て実施することで、文化を楽しむ 機会を創出するとともに、府内 全域に多くの観光客を呼び込 む。 大阪が持つ多彩で豊かな文 化の魅力を積極的に発信する ほか、国内外から注目されるコ ンテンツを呼び込むなど、国際エ ンターテインメント都市の実現を 目指すと同時に、大阪の都市格 の向上を図り、 2025 年大阪万 博の成功につなげていく。	大阪の魅力を 発信、誘客促 進	伝統芸能、演劇、音楽など、 府内外のコンテンツを一 堂に集め、万博記念公園 をはじめ、府内全域で各種 公演等を集中的に実施す る。	主催プログラム： 7 件・ 28 公演、共催プログラム： 11 件・ 18 公演 報道実績： 823 件（新 聞、テレビ、WEB(海外含 む)、SNS等) 参加者数： 438,213 名	事業実施に向け、選定事業者と準備を進める とともに、在阪放送局 9 社とも連携した取り組み を進めている。	事業の拡大・継 続	過去2回の実績を踏まえ、来年度に向け、更なる 内容の充実に向けた取組みを進めていく。	大阪文化フェスティバル 事業費 （最終予算： 130,956 千円・ 決算： 130,890 千 円）	-
65	アートのスポットの 魅力創出・発信	大阪府	公共の空間や施設内におい て、都市魅力を向上させ、観光 集客につながるようなアート 作品を設置することにより、大 阪に新たな名所（アートのス ポット）の創出を目指す。	大阪の魅力を 発信、誘客促 進	設置作品（1点）の選定	作品設置に向けた検討の 推進	作品選定手法等について調整を進めている。	事業の拡大・継 続	作品選定手法や万博記念公園を含めた設置場 所等事業スキーム全体について、引き続き調整を 進めていくこととなった。	予算事業なし	-
66	留学生への大阪 文化の魅力発信	大阪府	留学生や海外からの旅行者 に大阪文化の魅力を伝えてい くためのプログラムを企画し、提供 する。	留学生や海外 からの旅行者の 大阪文化に対 する理解の促進	留学生や海外からの旅行 客が大阪・日本の文化を鑑 賞・体験できる、魅力的な プログラムの展開	関西国際空港国際線到 着口付近に特設ステージを 設置。ストリートライブ式で 外国人の方にはわかりやすい 形で公演を実施。延べ 5,000 人に観覧いただ いた。	「大阪文化芸術フェス 2018 」での実施に向けて 調整中。	事業の拡大・継 続	テレビや新聞にも掲載され、非常に好評だったこと から、引き続き、留学生や海外からの旅行者に大 阪の魅力を伝えていくためのプログラムが提供でき るよう、取り組みを進めていく。	大阪文化フェスティバル 事業費の中で実施 （最終予算： 130,956 千円 ・決算： 130,890 千円）	-

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価		期末評価	2018 (決算額は見込み額)	
					目標	実績	次年度方針案	大阪府		大阪市	
										予算事業名・予決額	予算事業名・予決額
67	美術館・博物館の魅力向上《一部再掲》	大阪市	市立美術館、東洋陶磁美術館、歴史博物館、自然史博物館、科学館において、博物館の魅力向上に向けた展示環境の改善など、計画的な施設の改修整備の取り組みを進める。 市立美術館他4館において、『大阪市ミュージアムビジョン』に掲げる、①大阪の知を拓く、②大阪を元気にする、③学びと活動の拠点へを目標に、「都市のコアとしてのミュージアム」を実現することを通じて、都市魅力の向上と新たな文化・人材の創出に貢献する。 (No.20「大阪市立美術館の魅力向上」を含む) あわせて、ビジョンの実現に最適な経営形態として地方独立行政法人設立(2019年4月予定)をめざし、その制度設計を行う。	・ミュージアムビジョンに定める戦略やアクションプランの実現による博物館魅力の向上。 ・2019年度からの、対象施設の地方独立行政法人による運営の確実な実現。	・所蔵作品の計画的な修復や展示環境の改善・魅力的な展示の実現を行う。 ・ビジョンの「戦略的な広報を展開する」ため、国内外に情報を発信。 ・アクションプランの地方独立行政法人中期待目標への反映。	・所蔵作品の修復(3件)やコレクションの寄付收受により、展示品を充実させた。 ・ビジョンに定めるアクションプランについても、概ね中期目標案に反映したうえで、2018年12月に市会で議決。	・計画的な所蔵作品の修復を進め、鑑賞機会の増加や展示品の充実に取り組んでいる。《再掲》 ・2019年4月1日の地方独立行政法人設立に向け、おおむね計画どおり事業進捗している。	事業の拡大・継続	・所蔵作品の計画的な修復や、コレクションの寄付收受等により、展示品の充実に取り組んだ。 ・当初からの計画どおり、2019年4月1日に地方独立行政法人大阪市博物館機構を設立した。	-	・博物館施設の地方独立行政法人化(予算:169,079千円 決算:145,196千円) ・博物館施設指定管理代行料等(大阪城天守閣にかかる事務費等を除く) (予算:1,576,936千円 決算:1,576,568千円) ・大阪市立美術館の魅力向上(予算:32,128千円 決算:31,327千円)
68	文化魅力の情報発信	大阪府、大阪市、経済団体等	「大阪ならではの」リーディング事業の実施等を通じて、大阪文化の魅力を発信していく。	大阪の文化魅力を発信	伝統芸能、演劇、音楽など、府内外のコンテンツを一堂に集め、万博記念公園をはじめ、府内全域で各種公演等を集中的に実施する。	主催プログラム:7件・28公演、共催プログラム:11件・18公演 報道実績:823件(新聞、テレビ、WEB(海外含む)、SNS等) 参加者数:438,213名	「大阪文化芸術フェス2018」において、大阪文化の魅力が発信できるよう調整を進めている。	事業の拡大・継続	「大阪文化芸術フェス2018」において、大阪文化の魅力を発信した。	大阪文化フェスティバル事業費の中で実施(最終予算:130,956千円 決算:130,890千円)	-
69	大阪らしい芸術文化の魅力の創出	大阪市	国が主導する文化プログラムの動きを踏まえた取組みとして、大阪の文化資源である伝統芸能を観光資源として活用するためのコンテンツ創造、並びに地域の魅力を発信する事業を実施する。	大阪文化の活性化をめざすとともに、大阪市内へのビジター増による大阪の経済の成長を促す	モデル公演への来場者数450人/年	モデル公演への来場者数743人/年	今年度は、H29実施の国内ビジター向けモデルプログラムのブラッシュアップに加え外国人向けモデルプログラムの試行実施(3回)及び有識者会議の開催を行うこととなり、概ね事業進捗は図られている。	事業の拡大・継続	国内及び海外ビジター向けモデルプログラムを3回実施し、モニターや有識者会議での意見を踏まえながら将来的な観光コンテンツ化に向けてベースとなる公演の選定、課題抽出を行い、今年度の計画は予定どおり進めた。	-	伝統芸能を活用した大阪の魅力開発促進事業(予算:8,792千円 決算:6,637千円)
70	アーツカウンシルの機能強化	大阪府、大阪市	大阪の文化力の向上につなげるため、アーツカウンシルの運営体制強化を図り、府市文化事業を評価・審査するとともに、企画や調査機能を高め、アーティスト等へのサポート、府内での文化プログラムの推進や効果検証等に取り組む。	大阪文化にふさわしい文化施策の推進	大阪府市に対する新たな施策の企画の提案等に向けた調査・検討の実施	大阪府市の文化施策や今後の展開に向けた企画提案のための調査や意見交換会を実施した。	府市の文化事業や補助事業の審査・評価等を随時実施している。	事業の拡大・継続	府市文化課所管事業40事業(府16事業・市24事業)を中心に現地調査を実施し、評価と提案内容を取りまとめた。また、府市補助金事業の採択審査260件(府65件・市195件)を実施。採択事業の現地視察(延182回)及びヒアリングを実施した。	大阪アーツカウンシル運営等事業(予算:11,593千円・決算:10,203千円)	大阪アーツカウンシル等による文化行政の推進(予算:6,999千円・決算:6,251千円)

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価		2018 (決算額は見込み額)		
					目標	実績	次年度方針案	期末評価	大阪府	大阪市	
									予算事業名・予決額	予算事業名・予決額	
71	若手アーティストらの発表機会の提供	大阪府	芸術文化の担い手を発掘育成するため、若手プロデューサー等のネットワークの構築や、作品発表の機会の拡大を目指す。	芸術文化の担い手の育成・支援	芸術文化の担い手を発掘育成するための新たな方策の検討。	「大阪文化芸術フェス2018」において、アート作品展「ART stream 2018」を開催した。	芸術文化の担い手を発掘育成するための新たな方策について、既存事業の再構築等も含めた検討を進めている。	事業の拡大・継続	大丸心斎橋劇場&イベントホールにおいて、9月28・29日の2日間にわたり開催。関西一円で活動しているアーティスト・クリエイターに作品発表の場を提供。3,000人の方に来場いただいた。本展「大阪文化芸術フェス実行委員会賞」受賞者には、江之子島文化芸術創造センターにおける個展会場の提供を行い、芸術文化の担い手支援につなげることができた。	大阪文化フェスティバル事業費の中で実施 (最終予算: 130,956千円・決算: 130,890千円)	-
72	芸術文化を将来へ継承させる青少年の育成	大阪市	大阪市における各区の特性に応じた質の高い芸術文化メニューを青少年対象に実施することを通じて、中長期的に芸術文化にかかる青少年育成が定着することをめざす。	芸術文化を将来へ継承発展させる青少年の育成	各区の特性や文化資源を活用した特色ある事業を実施できたとする区長の割合: 60%以上	各区の特性や文化資源を活用した特色ある事業を実施できたとする区長の割合: 94%	計画どおり事業が進捗している。今年度実施していない区に対しては、次年度に参画しやすくするため、随時の相談や情報提供を行っている。	事業の拡大・継続	17区が主体的に各区の特色を活かした芸術文化分野の事業を企画し、実施することができた。区と局とが連携して事業を進めることにより、芸術文化事業の経験の少ない区でも事業を実施することができ、専門的な知識やノウハウを蓄積することができた。	-	区と連携した芸術文化青少年育成事業 (予算: 25,500千円、決算: 24,380千円)
73	ラグビーワールドカップ2019の大阪開催	大阪府、市町村	ラグビーワールドカップ2019大会準備推進組織を設置し、大会運営に係る関係機関との協議・調整や大会に向けた機運醸成を図るための取組みを展開	2019年9月のラグビーワールドカップに向けた開催機運の醸成を図る	トップリーグの試合会場でのPRプロモーション活動: 30回 ラグビーワールドカップの花園ラグビー場開催に対する府民認知度: 75%以上	・ラグビートップリーグの試合会場でのPRプロモーション活動 (32回) ・スポーツ等その他イベントでのPRプロモーション活動 (80件) ・府民のラグビーワールドカップ開催の認知度: 72.0%	大会1年前となる2018年度については、5月に大会開催500日前に合わせた大会開催PRプロモーションを行った。9月の1年前、10月26日の花園ラグビー場での日本代表戦に向けて、大会開催のPRプロモーションを展開するとともに、府域全体で、ポスター展開、マスコミを通じた情報提供、SNSによる情報発信を実施中。	事業の拡大・継続	大会1年前となる2018年度については、5月に大会開催500日前に合わせた大会開催PRプロモーションを始め、9月の1年前、10月26日の花園ラグビー場での日本代表戦などの機会に合わせたPRプロモーションを実施できた。また、府域全体で、ポスター展開、マスコミを通じた情報提供、SNSによる情報発信を実施できた。	ラグビーワールドカップ2019開催準備事業 (予算: 201,360千円) ※全国自治体協賛宝くじ収益金に係る組織委員会拠出金 (133,330千円) を含む	-
74	国際的なスポーツイベントなどの誘致	大阪府、大阪市、市町村、民間事業者	大阪のスポーツ都市としてのブランド力を高めるため、注目度の高い国際的なスポーツイベントや合宿を誘致	大阪のスポーツ都市としてのブランド力の向上<府・市>	・合宿誘致活動: 20件<府> ・国際競技大会・イベント等の誘致・開催: 2件以上<市>	・合宿誘致活動: 5件<府> ・国際競技大会・イベント等の誘致・開催: 6件<市>	・オリ・パラ等事前キャンプ誘致を希望する市町村の活動を適宜支援している。<府> ・国際競技大会やイベント等を計画どおり開催し、大阪のスポーツ都市としてのブランド力向上に寄与している。<市>	事業の拡大・継続	・オリ・パラ等事前キャンプ誘致を希望する市町村の活動を適宜支援した。<府> ・国際競技大会等を計画どおり開催し、目標を上回る実績を残すことにより、大阪のスポーツ都市としてのブランド力向上に寄与することができた。<市>	オリ・パラ等事前キャンプ誘致事業 (予算: 200千円、決算: 104千円)	スポーツ競技大会の開催 (予算: 19,200千円、決算: 17,000千円)
75	オリ・パラ等事前キャンプ誘致の推進	大阪府、大阪市、市町村	市町村と連携した事前キャンプの誘致やホストタウン登録を推進するため、競技施設等の情報を掲載した広報媒体を作成するとともに、府内競技団体や総領事館等へPRプロモーションを実施する。	・事前キャンプ誘致の実現<府、市> ・ホストタウン登録の追加<府>	・合宿誘致活動: 20件<府> ・ホストタウン登録に係る市町村の取組の支援件数: 20件<府> ・既登録市町村間の情報交換の場の設定<府> ・今年度新たに事前キャンプ地として決定した国はなかった。<市>	・オリ・パラ等事前キャンプ誘致を希望する市町村の活動を適宜に支援している。<府> ・市町村に対してホストタウンに関する情報を提供したり、国との連絡調整を図った結果、新規登録2件が実現した。<府> ・イギリス (パラ水泳) オーストリア (水泳) チームから問合せがあったが、事前キャンプ地として決定には至らなかった。<市>	・ホストタウン登録に係る市町村の取組の支援件数は20件となり、目標件数は達成した。<府> ・イギリス (パラ水泳) オーストリア (水泳) ロシア (水泳) チーム等から問合せがあり、年度末時点では、事前キャンプ地として決定には至らなかったが、ロシア等とは誘致実現に向け、交渉・調整を継続する。<市>	事業の拡大・継続		オリ・パラ等事前キャンプ誘致事業 (予算: 200千円、決算: 104千円)	予算事業なし
76	ホストタウンへの登録	大阪市、市町村	大阪府において、スポーツ立国、グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等に資する観点から、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に参加する国・地域のホストタウンとして、国に登録し、相互交流を図る。	スポーツによる地域活性化	ホストタウン登録国とスポーツ分野のみならず、文化や国際交流を行い、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催効果を開催後も継承し、交流事業の継続などガサシーを創出する	大阪府をホストタウンとして登録したオーストラリアとの交流会を平成31年2月に開催した。	昨年度に引き続き、平成31年2月に開催予定のオーストラリアとの交流会に向けた、関係部署や団体との事前調整を進めている。	事業の拡大・継続	平成31年2月に開催したオーストラリアとの交流会では、市内の小学生67名、中学生97名及び高校生20名が参加し、オーストラリアについて事前学習した成果や、少林寺拳法の演舞など日本の文化を紹介し、ホストタウンとしてオーストラリアとの交流を深めることが出来た。	-	ホストタウン関係交流事業 (予算: 1,000千円、決算: 558千円)

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価		2018 (決算額は見込み額)		
					目標	実績	次年度方針案	期末評価	大阪府 予算事業名・予決額	大阪市 予算事業名・予決額	
77	オリ・パラ開催に向けた事業の展開	大阪市	オリンピックを大阪から輩出するため、トップアスリートを育成する団体の支援や、障がいのある人もない人も誰もが楽しめる大規模なスポーツイベントの開催などによる機運の醸成を図る。	東京オリンピック・パラリンピックに向けた機運の醸成	大阪から東京オリンピック代表選手を輩出、機運醸成イベントの開催	3競技団体を通じて選手の強化育成、地元パラリンピック競技チーム3チームに対する年間を通じて会場の確保、大規模スポーツイベントにおける機運醸成イベントを2回実施	本市スポーツ競技力向上のため、競技大会の開催や人材育成に資する団体等への支援を実施するとともに、昨年度に引き続き、トップアスリートの育成のため、3競技団体を通じて選手の強化育成のため、補助事業を実施。また、パラリンピック競技チームを支援する施策も実施。機運醸成イベントも実施。	事業の拡大・継続	昨年度に引き続き、トップアスリート育成のため、3競技団体に対し選手の強化育成を図る補助事業を実施した。各競技種目において大阪から日本代表クラスの選手が育成されるなど、順調に進捗している。また、地元パラリンピック競技チームに対して練習会場確保を行うなどの支援を行ったほか、大規模スポーツイベントにおける機運醸成イベントを実施し、東京オリンピック・パラリンピックに向けた機運の醸成に寄与した。	-	競技力向上事業（予算：19,456千円、決算：16,752千円）
78	関西ワールドマスターズゲームズ開催に向けた事業の展開	大阪市	大規模なスポーツ大会の開催時に合わせて、一般参加型のスポーツイベント開催による機運の醸成を図るとともに、ワールドマスターズゲームズ2021関西の閉会式開催に向けて取り組む。	ワールドマスターズゲームズ2021関西の開催に伴う機運醸成を図る	閉会式開催に向け、基本計画を策定する。	閉会式開催に向け、閉会式基本方針を策定。	関西マスターズスポーツフェスティバルを開催し機運を醸成するとともに、大阪市実行委員会を設立するなど、閉会式開催に向けた準備を進めている。	事業の拡大・継続	5月に大阪市実行委員会を設立したうえで、閉会式基本方針を策定した。	-	市長杯各種大会の開催（予算：29千円、決算：29千円） ワールドマスターズゲームズ2021関西（予算：5,475千円、決算：5,475千円） 閉会式実行委員会に係る本市分担金（予算：2,000千円、決算：1,699千円）
79	プロスポーツとの連携事業	大阪府、大阪市、大阪観光局、民間事業者	大阪を拠点に活動するプロスポーツチームと連携して、スポーツの振興や産業創出に向け取り組むとともに、都市魅力の発信、観光振興につなげる。	・プロスポーツ観戦を目的とした観光客の誘客促進<府・市> ・プロスポーツチームとの連携によるスポーツ振興及び都市魅力向上<市>	・大阪にゆかりのあるプロスポーツチームの年間主催試合での観客者合計数320万人<府> ・プロスポーツチームが舞洲において管理している施設の集客数68万人<市>	・大阪にゆかりのあるプロスポーツチームの年間主催試合での観客者合計数271万人<府> ・プロスポーツチームが舞洲において管理している施設の集客数64万人<市>	・プロスポーツチームと連携したイベントの実施、ポスター等の配布を行うなど、様々な機会を通じて、大阪の都市魅力を発信している。<府> ・プロスポーツチームと連携し主催試合の招待や舞洲プロジェクトとして情報発信やスポーツ体験教室などを実施し、都市魅力の創出及び観光振興に寄与している。<市>	事業の拡大・継続	・目標の観客者数には達しなかったものの、プロスポーツチームと連携したイベントの実施、ポスター等の配布を行うなど、様々な機会を通じて、大阪の都市魅力を発信することができた。<府> 6月の大阪北部地震及び9月の台風被害の影響等により施設利用のキャンセルが相当数発生したことにより、施設の集客数は目標を下回ったものの、プロスポーツチームと連携し主催試合の招待や、舞洲プロジェクトとして情報発信やスポーツ体験教室などを実施し、都市魅力の創出及び観光振興に寄与することができた。<市>	予算事業なし	舞洲スポーツ振興事業（予算：21,000千円、決算：20,996千円）
80	スポーツ情報ネットワークシステム推進事業	大阪府	府民の様々なスポーツニーズに対応するため、スポーツイベント情報、スポーツ施設利用情報、スポーツ団体情報、ボランティア情報等、スポーツに関する様々な情報を提供	スポーツに親しむ府民が増える	アクセス件数：290,000件	アクセス件数：331,284件	・アクセス件数は、目標の4割弱となっており、目標達成に向け鋭意努力する。 ・掲載情報は、随時更新している。	事業の拡大・継続	・アクセス件数は、目標を達成した。 ・掲載情報は、随時更新している。	-	スポーツ情報ネットワークシステム推進事業（予算：2,358千円、決算：2,358千円）
81	オリンピック・パラリンピックムーブメント教育の推進	大阪府、大阪市、市町村	オリンピックやパラリンピックなどのトップアスリートを学校に派遣し、オリ・パラ等の開催に向けた機運醸成やスポーツマンシップの普及	オリンピック・パラリンピックムーブメント教育の推進を通じた機運醸成<府・市>	・派遣回数：10回程度学校以外にも地域のスポーツイベント等にも派遣予定。<府> ・トップアスリート等による「夢授業」およびオリパラ教育を281校（小中学校及び高等学校）で実施予定。<市>	・派遣回数：8回学校以外にも地域のスポーツイベント等にも派遣<府> ・トップアスリート等による「夢授業」およびオリパラ教育を271校（小中学校及び高等学校）で実施。<市>	・「オリンピック・パラリンピック派遣事業」について、事業スキームの検討、派遣講師との調整、派遣先市町村との調整、派遣先とのプログラムの調整等、円滑に事業を実施している。<府> ・オリパラ教育を踏まえたトップアスリート等による「夢授業」を実施しており、計画どおり進捗している。<市>	事業の拡大・継続	・オリンピック・パラリンピックを小学校等11か所（延べ9人）に派遣した。<府> ・アンケート結果から、98%の児童がオリンピック・パラリンピックに興味を持ったという回答があった。<府> ・オリパラ教育を踏まえたトップアスリート等による「夢授業」をほぼ計画どおり実施することができ、市内の小・中学生及び高校生に対してオリパラの機運醸成を高めることにつながった。<市>	オリンピック・パラリンピック小学校派遣事業（予算：920千円、決算：513千円）	トップアスリート交流事業（予算：6,391千円、決算：6,472千円）

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価	次年度方針案	期末評価	2018 (決算額は見込み額)	
					目標	実績				大阪府	大阪市
										予算事業名・予決額	予算事業名・予決額
82	トップアスリート等との連携事業	大阪府、市町村	トップアスリートとの直接的な触れ合いを通じて、子どもたちの運動やスポーツに対する興味・関心を向上	学校の授業以外にスポーツをする児童が増える	協力チーム数：12チーム、派遣校数：150校、参加児童数：12,000名	協力チーム数：13チーム、派遣校数：137校、参加児童数：11,685名	・派遣校数及び参加児童数については、共に目標の3割弱に留まっており、引き続き、協力チームに派遣校数の拡大を要請するとともに、小学校に複数学年での受講を働きかける。	事業の拡大・継続	・協力チームは増えたものの、派遣校数及び参加児童数については共に目標には達しなかった。 ・目標数値は達成できなかったもの(参加児童数で97%)、いずれの派遣先小学校でも高い評価を得ている。	予算事業なし	-
83	スポーツボランティア養成及び派遣事業	大阪府	関係団体との連携により、スポーツボランティアを養成し、要請に応じて各種スポーツ大会に派遣する。	スポーツを「ささえる」機運が醸成される	大阪府登録スポーツボランティアの派遣(35事業、840名)	大阪府登録スポーツボランティアの派遣(34事業、729名)	・派遣事業数・参加人数は目標の3割強(参加人数も約3割)に留まっている。 ・研修を通じてボランティアの資質向上を図った。	事業の拡大・継続	・32事業のうち、大阪府視覚障害者福祉協会が主催した7つのスポーツ協会では、もずやんVSクラブが唯一のボランティア協力団体であり、大会運営上非常にありがたいと、感謝をいただいている。 ・雨天等により派遣事業数が減少したことから参加者数が減少	スポーツボランティア養成及び派遣事業(予算：685千円、決算：199千円)	-
84	府民スポーツ・レクリエーション事業	大阪府	広く府民にスポーツ・レクリエーション活動を紹介し、実践する場を提供することにより、スポーツへの参加意欲を喚起する。	成人の運動実施率の向上、健康の保持増進	府民スポーツ・レクリエーション事業への参加者(発表交流会、スポーツ体験会、体力測定会)：15,000名	体力測定会：15回、参加人数：2,298名 小学生を対象にしたスポーツ体験会：377名 生涯現役スポーツ賞：71名、団体：13名 発表交流会：約6,700名	・体力測定会 208名(計2回) ・キッズスポーツ体験会 377名(計2回)	事業の拡大・継続	目標としていた参加者数を達成した。次年度も引き続き成人の運動実施率の向上等に向け、事業を実施していく。 府民スポーツ・レクリエーション事業への参加者(発表交流会、スポーツ体験会、体力測定会)：約16,000名	府民スポーツ・レクリエーション事業(予算：6,152千円、決算：5,306千円)	-
85	グローバル人材育成事業	大阪府	・高校生等海外進学支援事業(おおさかグローバル塾)により若者の海外進学を支援する。 ・実践的英語体験活動推進事業(グローバル体験プログラム)を通じて外国人に対する英語でのコミュニケーション感覚・能力の必要性に気付かせ、海外に興味を持つ若者の裾野を広げる。	グローバルな視野をもった若者の育成	・おおさかグローバル塾修了者の海外進学レベルの英語力の習得：90%以上 ・グローバル体験プログラム参加者のうち英語の習得意欲が高まった割合：95%以上、海外に関する関心が高まった割合：95%以上	・おおさかグローバル塾修了者の海外進学レベルの英語力の習得：45% ・グローバル体験プログラム参加者のうち英語の習得意欲が高まった割合：94%以上、海外に関する関心が高まった割合：96%以上	・おおさかグローバル塾については、現時点で約半数が海外進学レベルの英語力を身につけており、引き続き英語力の向上を図る。 ・グローバル体験プログラムについては、概ね参加者に好評を得ており、今後、アンケートの検証を実施する。	事業の拡大・継続	・おおさかグローバル塾は40名全員が修了。高校3年生の修了生5名のうち2名が海外進学予定。2019年度より、英語力の中間測定を行うなど、海外進学レベルの英語力の習得率の向上を図る。 ・グローバル体験プログラムについては、募集定員を超える2,326名(うち、中学3年生346名)の参加があり、参加者からのアンケート結果からも高評価を得ている。	高校生等海外進学支援事業(予算：33,499千円、決算：32,505千円) 実践的英語体験活動推進事業(予算：7,885千円、決算：7,790千円)	-
86	英語イノベーション事業	大阪府	大阪府立小中学校において、英語教育の強化を図ることにより、自分の考えや意見を英語で伝えることができるコミュニケーション能力を育み、グローバル社会において活躍し貢献できる人材を育成する。	・英語でのコミュニケーション能力育成 ・グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成	中学校卒業段階で英検3級程度以上の英語力を有する生徒の割合：50%以上	中学校卒業段階で英検3級程度以上の英語力を有する生徒の割合：52.8%	・小学校低学年からの英語教育を全289校で実施している。 ・小学校英語授業力向上研修を141校(8月末現在)で実施している。今年度内には全ての小学校で研修を実施する予定である。	事業の拡大・継続	・小学校低学年からの英語教育については全小学校で実施している。 ・小学校英語授業力向上研修は全289校で実施した。 ・外部判定試験による英語力調査(2018年11月上旬実施)の結果、中学校卒業段階での英語力は目標値を上回った。 ・しかし、ネイティブスピーカーを活用した授業は、小学校3・4年…8.2時間程度(7時間)、小学校5・6年…26.1時間程度(20時間)、中学校全学年…11.6時間程度(15時間)となり、中学校において目標に届かず、各校への指導とともに活用時間数を再検討する必要がある。【()内は目標時間数】	-	英語イノベーション事業(予算：654,172千円、決算：594,012千円)

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価		2018 (決算額は見込み額)		
					目標	実績	次年度方針案	期末評価	大阪府	大阪市	
									予算事業名・予決額	予算事業名・予決額	
87	公設民営学校（国際バカロレア等）の設置	大阪市	国家戦略特区を活用した公設民営学校として、国際バカロレア認定コースを持つ中高一貫教育校を設置する。	国際社会でリーダーシップを発揮して活躍し、大阪の経済成長を牽引する人材の育成	入学者選抜において、中学校は定員の5.0倍以上、高等学校は定員の1.2倍以上の志願者数をめざす	入学者選抜において、中学校は定員の6.34倍、高等学校は定員の1.08倍	・2019年4月の開校に向け、指定管理法人とともに開校準備を進めるとともに、入学希望者数の増加のため、学校説明会の開催などを行っており、おおむね計画どおり事業進捗している。	事業の拡大・継続	・2019年4月開校に向けて、学校説明会を開催したところ、多数の参加希望があった。開校後も引き続き、受験希望者数の増加に繋がる取組を実施していく必要がある。	－	公設民営学校（国際バカロレア等）の設置 （予算：1,108,403千円、決算：1,052,567千円）
88	留学生の住まい確保に向けた公的賃貸住宅事業者と大学連携事業	大阪府、民間事業者	留学生受入を実施・予定している大学や大学コンソーシアムと、公的賃貸住宅事業者の間で、公的賃貸住宅をまとめて、賃貸借契約し、大学側が留学生に住宅を提供。これにより住居確保が困難な留学生に対して、安定した住環境の提供が可能となる。	・住環境整備により来訪留学生の利便性の向上	・賃貸借契約等を締結する大学法人1法人（契約戸数1戸以上）	・大阪市立大学と公社において連携協定を締結	・公社賃貸住宅に関して、1大学と調整開始。 ・大学法人だけでなく代行サービス業者（大学生協等）と賃貸契約ができるよう住宅供給公社法施行規則が現在改正中であるため、改正後、大学生協等に対しては制度の活用を推奨する。	事業の拡大・継続	・大阪市立大学の留学生の安全、安心な住環境の確保と地域の貢献に資することを目的に連携協定を締結した。今後、留学生の居住を進めると共に地域コミュニティの活性化を図る。 ・府内の複数大学及び代行サービス業者へ訪問等を行い、制度について周知した。	予算事業なし	－
89	外国人留学生との連携拡大及び起業支援	大阪市	国際的な視点・能力をもつ留学生に、大阪市等が企画する協働・交流プログラム（ボランティアプログラム）に参加してもらい、地域の国際化・活性化を図るとともに、留学生の地域への愛着を醸成する。 また、起業のきっかけとなるよう支援セミナーを開催し、国際人材の定着を促進する。	地域の国際化、国際人材の定着	・交流プログラム 開催数 2件 参加者総数 50名 参加者アンケート満足度 80% ・協働プログラム 開催数 22件 参加者アンケート満足度 80% ・起業支援セミナー 開催数 2件 参加者総数 70名 参加者アンケート満足度 80%	・交流プログラム 開催数 2件 参加者総数 35名 参加者アンケート満足度 79% ・協働プログラム 開催数 22件 参加者アンケート満足度 94% ・起業支援セミナー 開催数 2件 参加者総数 15名 参加者アンケート満足度 80%	協働プログラムについて、年間目標開催件数22件に対して8月末時点で5件と、開催ペースの遅れは感じられるものの、9月以降の開催件数については順調に確保できている。 交流プログラム及び起業支援セミナーについて、各2件の開催に向けて現在調整中である。	事業の拡大・継続	各プログラム・セミナーの開催件数については目標を達成、アンケート満足度については概ね目標を達成しているが、参加者数については目標値を下回る結果となった。 今後も参加者数増加を図るため、アンケート等からニーズを反映した、各プログラム・セミナーの実施時期や内容の改善、さらなる事業周知の強化が必要である。	－	外国人留学生との連携拡大及び起業支援 （予算：2,928千円、決算：1,220千円）
90	企業における高度外国人材の積極的受入・活用や留学生の就職支援	大阪府、民間事業者	留学生が卒業後に大阪で就職し、高度外国人材として企業のグローバル化や競争力強化につながる活躍ができるよう、大学や経済団体等との連携により、企業の受入促進や留学生の就職支援を実施する。	外国人高度専門人材の受入れ拡大	留学生向け就職対策講座・企業見学会：8回	留学生向け就職対策講座・企業見学会：8回	・留学生向け就職対策講座・企業見学会、計8回のうち6～8月に6回実施し、概ね計画どおり進んでいる。9月に2回実施予定。	事業の拡大・継続	・留学生向け就職対策講座及び企業見学会を各8回実施した。 ・2019年度は、大学、経済団体等と連携を図り、留学生や企業ニーズを踏まえた事業を実施することとし、留学生の大阪への定着を図る。	外国人留学生就職支援事業（予算：1,971千円、決算：1,348千円）	－
91	外国人相談事業の充実	大阪市、大阪府	外国人が安心して快適に生活をおくり、大阪を住みやすい都市として認識し、定着を促すため、在住外国人を対象とした専門分野の相談会を実施する。	外国人住民の定着	【大阪市】来場者アンケート（満足度）：90%以上 相談件数：165件以上	【大阪府】外国人相談件数：1,526件 【大阪市】来場者アンケート（満足度）：91% 相談件数：119件	【大阪府】計画どおり事業進捗している。 【大阪市】電話相談時間を昨年度より延長したことにより11件の実績となり昨年度より増える結果となったが相談件数は伸び悩む結果となった。次年度に向け原因を分析し、その結果次第では再構築も検討する。	事業の拡大・継続	【大阪府】OFIXに委託し外国人相談事業を実施した。 入管法改正に伴う国の交付金を活用し、2019年3月にOFIXが実施する外国人ワンストップ相談窓口の整備を図り、2019年度から、対応言語や相談時間の拡充を図ることとした。 【大阪市】昨年度より導入した遠隔地に住んでいる外国人でも相談できる電話相談については、前回よりも7件増加し計11件の相談があったことから、事業認知度については拡大していると思われる。大阪北部地震の影響もあり相談者（来場者）数が目標を下回ったが、満足度は上回った。	外国人行政サービス体制推進委託料（予算：2,581千円、決算：2,581千円）	一日インフォメーションサービス（大阪国際交流センター事業交付金の一部） （予算：200千円、決算：200千円）

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価		2018 (決算額は見込み額)		
					目標	実績	次年度方針案	期末評価	大阪府	大阪市	
											予算事業名・予決額
92	災害時多言語支援センター設置・運営訓練	大阪府、大阪府	災害時に多言語で外国人向けに相談や情報発信を行う多言語支援センターを設置することとし、設置・運営に関する訓練を実施する。また、市町村などの災害時多言語支援体制の充実を図ることにより、外国人が安心して過ごせる社会を実現する。	外国人が安心して生活できる社会を実現し、都市魅力の向上を図る	【大阪府】OFIX災害時通訳・翻訳ボランティア新規登録者数：30名、市町村における災害時多言語ボランティア確保事業：5市町村 【大阪市】災害時通訳・翻訳ボランティア研修会の実施件数1回以上、防災訓練の実施件数2回以上市関係局会議の開催回数3回以上	【大阪府】OFIX災害時通訳・翻訳ボランティア新規登録者数：33名、市町村における災害時多言語ボランティア確保事業：4市 【大阪市】研修会2回、防災訓練2回、市関係局会議2回	【大阪府】6月18日の地震発生により、災害時多言語支援センターを初めて設置し、外国人への多言語での情報発信や24時間相談対応を実施。外国人への迅速で適切な情報提供について検証が必要。 【大阪市】おおむね計画どおり進捗しており、防災訓練・研修会については、1～3月の実施に向けて取り組んでいる。また、関係局会議は年内に2回実施予定である。	事業の拡大・継続	【大阪府】OFIX災害時通訳・翻訳ボランティアの新規登録者数は目標を上回る33名の登録があった。今後とも市町村と連携し新規登録者の増加を図る。また、2018年の地震や台風等の災害を踏まえ、外国人旅行者の視点に立って、災害時に必要とする情報を「迅速」「的確」かつ「分かりやすく」提供する仕組みを構築するなど、外国人への災害時多言語支援の強化を図る。 【大阪市】概ね計画通り訓練等を開催することができ、災害時ボランティア及び訓練参加者のアンケートから防災意識向上が確認できた。大阪北部地震発生時には、想定していた対処法等では対応できない事例があったことから、災害多言語支援センター運営に係る体制強化に向けマニュアル等の見直しが必要である。	市町村災害時多言語ボランティア確保支援事業 (予算額：500千円、決算：332千円)	災害時外国人支援ネットワーク整備（大阪国際交流センター事業交付金の一部） (予算：947千円、決算：838千円)
93	府内大学連携型災害時多言語支援人材確保事業	大阪府	災害時に多言語支援に従事できる語学ボランティア人材を確保するため、府内大学との協定締結を進め、ボランティアの登録と研修を実施する。	府内大学と災害時多言語支援に関する協定を締結	災害時多言語支援に関する協定を締結した大学数：1大学	府内1大学と協定を締結	引き続き協議を進める。	事業の拡大・継続	・大阪府、関西大学及びOFIXの3者で、災害時通訳・翻訳ボランティア獲得等に関する協定を締結した。	予算事業なし	-
94	在住外国人に対する情報発信の充実	大阪府	在関西総領事館に対し、防災関連施設の視察案内や取組紹介等による情報提供を行い、各総領事館を通じた在住外国人に対する防災情報の発信を推進する。	情報提供による総領事館等との連携強化	情報提供1回	情報提供1回	計画どおり進捗している。	事業の拡大・継続	総領事館実務担当者勉強会を開催し、在住外国人住民や外国人旅行者への効果的な情報発信やそれらの接点となる総領事館等との連携強化を図った。	-	関西領事団との連携 (予算：458千円、決算：126千円)
95	多文化共生施策の推進	大阪府	多言語等による情報提供・流通経路を充実し、外国籍住民に行政情報等が伝わるようにする。 また、区役所やNPO等との連携を図り、地域住民と外国籍住民の交流の場づくり等を行い、地域住民の多文化共生に関する理解促進や外国籍住民の地域参加のきっかけをつくる。	「大阪府は外国籍住民が地域社会の一員として、様々な相談や情報提供を受けられることができるなど、充実した生活が営めるまじと思える市民及び外国籍住民の割合が増えること。	・大阪市ホームページや区役所窓口における「やさしい日本語」や多言語での案内の充実。 ・多文化共生の場づくり・人づくり推進事業実施区における防災等生活に密着した学習会の実施に向けた区役所への支援等の実施。	・「やさしい日本語を使ったお知らせ」の関連ホームページを見やすい形式に変更した。 ・地域の識字・日本語交流教室へ講師を派遣し、外国籍住民と地域の住民との交流の促進を図った。 ・各区の実務担当者に対して、多文化共生にかかる研修を実施した。	・多言語等による情報発信及び窓口業務における手続き案内の多言語化について、計画通り進捗している。 ・識字・日本語交流教室での「やさしい日本語」による防災学習会の実施に向けて計画通り調整を進めている。	事業の拡大・継続	「やさしい日本語を使ったお知らせを集めたページ」等での情報発信や、多文化共生の場づくり・人づくり推進事業における住民の交流機会の拡大等により、外国籍住民への情報提供、地域住民の多文化共生に関する理解促進や外国籍住民の地域参加のきっかけづくりが進んだ。	-	多文化共生施策の推進 (予算：457千円、決算：162千円)
96	グローバルイノベーション創出支援事業	大阪府	うめきた先行開発区域の知的創造拠点「ナレッジキャピタル」内に開設した「大阪イノベーション」において、世界から人材・資金・情報を引き込み、人材発掘、起業家マインド醸成、国内外ネットワーク構築、プロジェクト創出支援、海外ワークショップ、国際会議等のイノベーション創出を支援する事業を実施する。	・拠点の趣旨に賛同し新たに活動に参画又はSNS等でつながる人数：50,000人 ・グローバル展開プロジェクト創出支援、海外ワークショップ、国際会議等のイノベーション創出を推進支援件数：50件	ピッチイベント開催回数：50回	ピッチイベント開催回数：56回	新たに海外のエンジニアコミュニティを大阪に誘致するなど、着実にプログラムを実施している。また、支援してきた起業家をロールモデルとしてWEBサイトに掲載する「起業家ライブラリ」を充実させるなど、情報発信の強化に取り組んでいる。	事業の拡大・継続	年間289本のプログラムを実施し、大企業や関係機関等との連携を通じてプロジェクトを生み出したほか、海外とのグローバル規模でのネットワークを構築することができた。これらの取組の結果、Forbes JAPAN誌において、「日本国内で注目すべきイノベーション5選」に選出されるなど支援拠点として存在感が向上している。今後についても、創出したプロジェクトをさらに成長・進化をさせる。	-	グローバルイノベーション創出支援事業 (予算：203,426千円、決算：195,794千円)

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価		2018 (決算額は見込み額)	
					目標	実績	次年度方針案	期末評価	大阪府 予算事業名・予決額	大阪市 予算事業名・予決額
97	大阪トプランナー育成事業	大阪市	医療・介護・健康分野において、新たな需要の創出が期待できる製品・サービスのプロジェクトに対して市が認定を行い、市場投入から販路拡大まで担当コーディネーターが伴走し、必要に応じたオーダーメイド型の継続的サポート（ハンスオン支援）を実施する。	認定プロジェクトにおける新たな売上の創出19億円（2017～2019年度）、プロジェクト認定を受けた企業のうち、新製品・サービスの事業化促進に効果があったと回答した割合：95%	プロジェクト新規認定件数：10件	プロジェクト新規認定件数：10件	今年度のプロジェクト新規認定に向け、1次審査、セミナー、ブラッシュアップディスカッション、2次審査を実施するなど、着実に事業を進めている。	事業の拡大・継続	各プロジェクトの課題や状況に応じたサポートの実施、新規事業創出のためのワークショップ・セミナー等の開催、展示会への出展により、新製品・サービスの事業化の促進を支援した。	大阪トプランナー育成事業（予算：70,792千円 決算：63,941千円）
98	水・環境分野における大阪関西企業の海外展開支援	大阪市	海外都市の多様な水・環境問題の解決に向けて、行政が持つ都市経営のノウハウ及び民間が持つ先進的な要素技術を活用しながら、大阪・関西企業の技術にかかると案件形成・事業化支援に向けた活動等により企業の海外展開を支援し、地域経済の活性化を図る。（大阪水・環境ソリューション「OWESA」による官民連携の取組）	官民連携による海外の水・環境問題への貢献と大阪・関西企業の海外展開を支援。	海外現地調査：3回、海外からの視察・見学受け入れ：1回、海外技術セミナー：3回	海外現地調査：12回、海外からの視察・見学受け入れ：7回、海外技術セミナー：6回	国・JICAなどの事業に参画し、官民連携による現地調査、本邦研修の実施などの取組みを進めており、引き続き大阪・関西企業の海外展開を支援していく。	事業の拡大・継続	国・JICAなどの事業に参画し、官民連携による現地調査、本邦研修の実施などの取組みを実施し、海外展開を支援することができた。	水・環境ソリューション機構への分担金（建設局 予算：3,500千円 決算額：3,500千円） 水道局 予算：3,500千円 決算額：3,500千円） 環境局 予算：3,500千円 決算額：3,500千円）
99	ビジネスパートナー都市交流事業	大阪市	大阪府がアジア太平洋地域の13の主要経済都市と締結しているビジネスパートナー都市（BPC）提携のネットワークを活用し、在阪中小企業に対する国際ビジネス活動の支援を行う。 また、年1回、BPC各都市が一堂に集まるラウンドテーブルを開催し、同期間に併せて現地での商談会を実施するとともに、海外見本市への出展支援、海外企業との国内商談会、セミナーを実施する。	海外見本市出展・商談会：4回、国内商談会・セミナー：4回（商談会）/1回（セミナー）	【海外見本市出展・商談会】支援対象企業数：12社以上、販売成約数：40件以上目標、支援企業のビジネスモチベーション高揚の割合：80%以上目標、支援企業の海外展開が企業経営に貢献した割合：70%以上目標 【国内商談会・セミナー】大阪での商談会：4回以上実施、大阪企業の参加数：各回10社以上、支援企業のビジネスモチベーション高揚の割合：80%以上目標、支援企業の海外展開が企業経営に貢献した割合：70%以上目標	【海外見本市出展・商談会】支援対象企業数：17社、販売成約数：65、支援企業のビジネスモチベーション高揚の割合：100%、支援企業の海外展開が企業経営に貢献した割合：100% 【国内商談会・セミナー】大阪での商談会：4回、大阪企業の参加数：計105件（20件、20件、29件、36件）、支援企業のビジネスモチベーション高揚の割合：97.7%、支援企業の海外展開が企業経営に貢献した割合：94.1%、セミナー：1回（参加者数115名、満足度96%）	海外見本市出展・商談会の開催、国内商談会・セミナーの開催により、ビジネスパートナー都市（BPC）提携のネットワークを活用し、在阪中小企業に対する国際ビジネス活動を支援するため、おおむね計画どおり事業進捗している。	事業の拡大・継続	ビジネスパートナー都市（BPC）提携のネットワークの活用により、海外見本市出展支援、海外商談会及び国内商談会・セミナーを実施し、市内中小企業に対する国際ビジネス活動を支援することができた。	ビジネスパートナー都市等交流事業（予算：61,744千円、決算：61,721千円）

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価		2018 (決算額は見込み額)		
					目標	実績	次年度方針案	期末評価	大阪府	大阪市	
									予算事業名・予決額	予算事業名・予決額	
100	外国企業誘致推進事業	大阪府、大阪市、大阪商工会議所	大阪府・大阪市・大阪商工会議所で平成13年度に立ち上げた「大阪外国企業誘致センター（O-BIC）」事業により、国内外でのプロモーション活動や立地サポート及び外国経済団体等とのネットワークを活用するなど、大阪への外国企業等の誘致活動を行う。	大阪への外国企業等の誘致促進	誘致件数：27件	誘致件数：42件（うちアジアからの進出が8割）	大阪外国企業誘致センター（O-BIC）において、国内外で積極的なプロモーション活動を展開しており、今年度の誘致件数も順調に推移している。	事業の拡大・継続	大阪外国企業誘致センター（O-BIC）において、プロモーション活動を展開、平成30年度の外資企業等の誘致件数は過去2番目に高い42件を達成し、誘致実績は目標を達成した。	大阪外国企業誘致センターの運営（予算：7,600千円、決算：7,580千円）	大阪外国企業誘致センターの運営（予算：7,600千円、決算：7,580千円）
101	トップセールスによる戦略的プロモーション	大阪府、大阪市、経済団体、大阪観光局	海外ネットワークの戦略的な活用、関係機関等との連携を通じ、知事・市長等が、国内外に向け大阪の魅力や強みを効果的に発信し、経済・観光等の分野における交流促進を図る。	・大阪への投資促進 ・大阪と海外企業交流の促進 ・市内各地に観光客を誘致	府内中小企業の技術・製品の海外販路開拓や、海外企業から府内中小企業への受注等のほか海外企業への進出・投資、府内中小企業との事業提携等を促進（府） 各都市の特徴に合わせ、プロモーションや商談会、セミナー等最も効果的な経済交流のあり方をめざし事業を展開し、姉妹都市と本市の交流促進に資するネットワークをさらに深化させる。（市）	シンガポール（H31.2.26）・タイ（H31.3.1）で商談会を開催；参加企業数：11社、商談件数（継続中）：95件（府） シカゴ市との姉妹都市連携強化（姉妹ストリート提携調印、イノベーション分野における交流促進、美術館運営に関する協力を合意等）、メルボルン市との姉妹都市連携強化（共同宣言、姉妹ストリート交流促進、病院連携協定締結等）	大阪企業と現地企業との現地での商談促進に向けて、政府関連機関、外国政府機関等への協力要請を行うとともに、代表団・企業団派遣の調整中。（府） 海外ネットワークの戦略的な活用、関係機関等との連携を通じ、外国政府機関・企業等に効果的に大阪の魅力や強みを発信している。今後、プロモーション活動やビジネス交流等の各種交流をより効果的なものとするために、国内外の関係機関・関係部署等との連携を強化していく。（市）	事業の拡大・継続	府代表団・企業団の派遣（現地商談会の実施）を通じ、府内中小企業のビジネス機会創出に取り組んだ。（府） 姉妹都市（シカゴ、メルボルン）への市長トッププロモーションを実施し、外国政府機関・企業等に大阪の魅力やビジネスポテンシャルを発信し、連携強化に取り組んだ。（市）	海外トッププロモーション事業（予算：5,533千円、決算：4,346千円）	姉妹都市ネットワークを活用した経済交流の推進（予算：13,815千円、決算：9,151千円）
102	JICA（国際協力事業団）との連携事業	大阪市	JICAと連携し、都市上下水道維持管理、都市廃棄物、大気汚染対策、救急救助等の分野で研修コースを設置し、開発途上国・地域から研修員を招聘するとともに、技術協力としてこれらの国・地域への職員派遣を実施する。 また、受入れた人材を本市の国際化に対するアドバイザー及び海外における情報発信・海外の最新情報の収集拠点として位置づけ、ネットワークを形成する。	JICAと連携した開発途上国・地域との人材交流促進	・発展途上国・地域からの研修員の招聘人数：65人 ・研究員の大阪国際交流協力員の参加率：80%	・発展途上国・地域からの研修員の招聘人数：64人 ・研究員の大阪国際交流協力員の参加率：98%	都市上下水道維持管理等の開発途上国・地域の課題に応じて、大阪市の最新事例等の研修を実施することにより、都市間交流を推進し、「大阪国際交流協力員」を活用することにより、海外における本市の情報発信等につなげている。	事業の拡大・継続	都市上下水道維持管理等の開発途上国・地域の課題に応じて、大阪市の最新事例等の研修を実施することにより、都市間交流を推進し、「大阪国際交流協力員」を活用することにより、海外における本市の情報発信等につなげられた。	-	-

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

				年度		2019							
整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価		期末評価	大阪府		大阪市	
					目標	実績	次年度方針案	予算事業名・予算額		予算事業名・予算額			
1	夢洲でのIRを含む国際観光拠点形成	大阪府、大阪府、民間事業者	MICE機能や国際的なエンターテインメント機能を備えた統合型リゾート（IR）の誘致など、民間の創意・工夫や意見を取り入れながら、国際観光拠点の形成をめざす。	夢洲でのIRを含む国際観光拠点形成	国の基本方針等を踏まえ、大阪におけるIR区域の整備の実施に関する方針（実施方針）を策定する。 RFCや国の基本方針等を踏まえながら、事業者公募など区域認定申請に向けての準備を進める。	基本方針策定時期等、国のスケジュールが明らかでない中ではあるが、IR整備法に基づく事業者公募に先立ち、この4月から、RFCを実施するなど、IRの早期実現に向けて、着実に準備を進めている。	事業の拡大・継続	-	IR事業化推進事業（予算：330,277千円）	IRを含む国際観光拠点の形成に向けた立地推進事業（予算：163,181千円）			
2	水と光のまちづくりの推進 > 水辺の魅力空間づくり	大阪府、大阪市、経済団体、大阪観光局、民間事業者	・ 舟運をはじめ水辺も楽しめる観光メニューが集結するターミナルの整備 ・ 水辺魅力の向上や、舟運活性化に資する空間・景観整備	水都大阪の更なる「成長」へ向けた取組みを着実に推進	舟運利用者数：125万人	・大阪城港に新たな公共船着場を整備するための詳細設計、水の回廊内に係留施設を整備するための基本計画について、入札により事業者を決定し、契約を締結するなど、おおむね計画どおり事業進捗している。 ・本町橋周辺の拠点整備の工事実施に向けて関係先との調整及び水質向上に資する設備の設置に向け調整を進めており、おおむね計画どおり事業進捗している。	事業の拡大・継続	-	水辺にぎわい空間づくり事業（予算：155,000千円）	水辺の魅力向上（東横堀川等の水辺空間利用の促進）（予算：98,000千円）			
3	水と光のまちづくりの推進 > 舟運活性化	大阪府、大阪市、経済団体、大阪観光局、民間事業者	舟運の共同運航体制の構築や係留環境の充実などによる旅行者ニーズに対応した観光メニューとしてのクルーズ商品の多様化促進	水都大阪の更なる「成長」へ向けた取組みを着実に推進	舟運利用者数：125万人	魅力ある舟運の創出に向け、民間のアイデアやノウハウを活用し、水辺のイベントとの連携をはじめ、舟運事業者や拠点事業者等とのネットワークにより、より多くの方々がクルーズ船に乗っていただく機会を増やすための「舟運創造・活性化推進事業」を行うなど、おおむね計画どおり事業進捗している。	事業の拡大・継続	-	水都大阪コンソーシアム事業（予算：35,500千円）	水と光のまちづくり推進事業（予算：35,500千円）			
4	水と光のまちづくりの推進 > シンポライトの実施	大阪府、大阪市、経済団体、大阪観光局、民間事業者	オリジナルヤーに水辺を舞台にしたシンポライトを開催し、水都大阪の魅力国内外へ発信、ブランディングと集客力を強化	水都大阪の魅力国内外へ発信、ブランディングと集客力を強化	舟運利用者数：125万人	「水都大阪フェス2019」の開催を通じて、効果的なイベントのあり方について、関係者の共通認識を深めるとともに、シンポライトについてオール大阪で機運醸成を図っていることから、おおむね計画どおり事業進捗している。	事業の拡大・継続	-	予算事業なし	予算事業なし			
5	水と光のまちづくりの推進 > 水辺のランドマークの創出	大阪府、大阪市、経済団体、大阪観光局、民間事業者	水の回廊ならではのランドマークやコンテンツを創出し、回廊全体の集客力アップや、クルーズをはじめとした観光メニューにおける新たな付加価値による魅力の向上	水の回廊全体の集客力アップや、クルーズをはじめとした観光メニューにおける新たな付加価値による魅力の向上	舟運利用者数：125万人	舟運活性化、イベント開催などの実施を通じ、水の回廊ならではのランドマークやコンテンツ創出について、関係者の共通認識を深めている。また、府内の大学の協力を得ながらランドマーク創出に向けた取組みを進めるなど、行政と民間を繋ぐコーディネートを行っており、おおむね計画どおり事業進捗している。	事業の拡大・継続	-	予算事業なし	予算事業なし			
6	2018年度終了事業												
7	大阪光のまちづくり2020構想の推進	経済団体、民間事業者、大阪府、大阪市	「水と光のまちづくり推進会議」のもと、公民連携による圧倒的な光景観の形成により一層の魅力と賑わいに満ちた「水と光の首都大阪」の実現に取組む「光のまちづくり推進委員会」が策定した「大阪光のまちづくり2020構想」の情報共有を図り、大阪における光のまちづくりを推進	「水と光の首都大阪」の実現	「大阪光のまちづくり2020構想」アクションプランの第3フェーズ（2017～2019年）の推進	4月8日開催の「光のまちづくり推進委員会」において、2019年度の活動内容について承認され、概ね予定どおり進捗している。	事業の拡大・継続	-	予算事業なし	予算事業なし			
8	万博記念公園の魅力創出	大阪府	2020年に迎える大阪万博50周年を記念した事業を進める。万博記念公園駅前周辺地区の活性化に向け、事業者誘致の具体化を図る。	公園の魅力・観光価値を高め、来訪者が増加。	自然文化園入園者数：300万人（2020年）	特別展覧会の事業者と協議を進めている。またオープニングイベントの実施や駅前周辺地区の活性化に向けた取組みを引き続き進めている。	事業の拡大・継続	-	大阪万博50周年記念1970年大阪万博記憶展企画運営業務委託（予算：46,151千円） 大阪万博50周年記念事業委託（予算：20,000千円） 万博記念公園駅前周辺地区事業者誘致業務（予算：10,476千円）				

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

年度	2019
----	------

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価		期末評価	大阪府		大阪市	
					目標	実績	次年度方針案	予算事業名・予算額		予算事業名・予算額			
9	百舌鳥・古市古墳群の魅力創出	大阪府、堺市、羽曳野市、藤井寺市	2010年に世界遺産暫定一覧表に記載された「百舌鳥・古市古墳群」の世界文化遺産登録の早期実現に向けた取組みを進める。 また、登録が実現した際の来訪者の増加に対応するため、資産の保存管理に配慮しつつ、来訪者が世界遺産としての価値や魅力を実感できるような取組みを進める。	2019年度の世界文化遺産登録	-	「百舌鳥・古市古墳群」について2019年の世界文化遺産登録の実現に向けた取組みを進める ・資産の保存管理に配慮しつつ、来訪者が世界遺産としての価値や魅力を実感できるような取組みを進める。	-	本年7月に開催された第43回世界遺産委員会において、百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録が決定した。	事業内容の見直し・精査	-	百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進事業 (予算：23,613千円)	-	-
10	ストーリー性をもたせた大阪魅力の再編集・発信	大阪府、市町村、民間事業者	大阪の魅力スポットやそれらを巡るルートにストーリー性を持たせて再編集し、地域における観光資源の磨き上げや受入環境の整備等を支援する事業を実施。	国内外からの集客・周遊性の向上をめざした環境整備	-	①構築したストーリー：補助事業者が掲げる目標数値を達成した事業の割合70%以上 ②新たに構築するストーリー数：2本以上	-	補助金の公募を8月中旬で行う予定だが、当初予定より遅れている。	事業の拡大・継続	-	大阪ストーリープロジェクト事業 (予算：42,634千円)	-	-
11	大阪城・森之宮・大手前地区の魅力向上 > 歴史拠点の創出	大阪市（経済戦略局、建設局）	・豊臣期に築かれた初代大阪城の石垣を掘り起こし、公開する施設を整備 ・特別史跡大坂城跡保存管理計画を推進し、文化財を整備・活用 ・難波宮跡公園のハード・ソフト両面からの魅力向上等	まちの魅力向上	-	【大阪城公園関連】豊臣石垣公開施設の建築工事を計画に沿って着実に進める。 【難波宮跡公園関連】上半期に「難波宮跡公園整備計画」の作成を行い、下半期には事業者募集に係る準備作業を実施する。	-	【大阪城公園関連】 ・豊臣石垣公開施設の建築工事を計画通り進めている。 【難波宮跡公園関連】 「難波宮跡公園整備計画」の策定に向け、有識者委員会に諮るための作業を進めている。	事業の拡大・継続	-	-	経済戦略局大阪城観光拠点化事業（予算：42,114千円） 建設局 難波宮跡公園整備事業（予算：141,373千円）	-
12	大阪城・森之宮・大手前地区の魅力向上 > 世界的観光拠点化	大阪市	・2015年度に導入した大阪城公園PMO事業を推進し、民間活力を活用した公園の新たな魅力を創出	大阪城公園の魅力向上	-	各施設の利用者（件）数：天守閣255万人、野球場900件、西の丸庭園40万人、豊松庵120件、音楽堂100件 満足度調査：85%	-	計画通り進んでいる。	事業の拡大・継続	-	-	大阪城エリア観光拠点化事業（予算：115千円）	-
13	中之島地区の魅力向上 > 新しい美術館の整備	大阪市	大阪市が所蔵する第一級のコレクションを活用して、市立美術館や東洋陶磁美術館とは異なる新たな魅力にあふれる「大阪中之島美術館」を、2021年度の開館をめざして整備する。 また、「大阪中之島美術館」の整備に取り組むことにより、中之島地区の魅力向上に貢献していく。	中之島地区の魅力向上に貢献し、来訪者が増加	-	開館後の年間入場者数 約60万人	-	・2021年度の開館に向け、建設工事を進めるとともに、運営型PFI事業の実施方針、募集要項等の公表を行い、おおむね計画どおり事業進捗している。	事業の拡大・継続	-	-	大阪中之島美術館の整備事業（予算：497,781千円）	-
14	2018年度終了事業												
15	御堂筋地区の魅力向上 > 御堂筋の空間再編	大阪市、民間事業者	側道を利活用した御堂筋の歩行者空間化に向けた道路空間再編を行う。	御堂筋における歩行者の安全性向上	-	整備後の御堂筋を通行することに満足している歩行者の割合（歩行者の安全性向上）：2013年度45%→2021年度 55%	-	側道歩行者空間化に向け、関係機関と調整中であり、概ね予定通り進捗できている。	事業の拡大・継続	-	-	御堂筋の道路空間再編（予算：293,000千円） 御堂筋の活性化（予算：23,000千円）	-
16	御堂筋地区の魅力向上 > 御堂筋活性化事業	大阪府、大阪市、国土交通省近畿地方整備局、経済団体、大阪観光局	大阪のシンボリストリートである御堂筋を歩行者に開放し非日常的なイベントを実施。御堂筋・大阪の魅力を国内外に発信する。	御堂筋を国内外に発信できる集客装置として活用して、国内外からの話題を集め、御堂筋・大阪の魅力発信する。	-	・テレビ・新聞・雑誌の掲載回数 90回以上 うち首都圏メディアでの掲載取上げ回数 30回以上 ・Web掲載回数 600回以上	-	11月4日の開催に向け、警察、消防局、関係機関等と協議を行っており、概ね計画通り事業進捗している。	事業の拡大・継続	-	御堂筋開放事業（予算：18,000千円）	御堂筋活性化事業（予算：18,000千円）	-

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

						年度		2019					
整理 番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト 概要	アウトカム	成果指標		中間評価		期末評価	大阪府		大阪市	
					目標	実績	次年度方針案	予算事業名・予算額		予算事業名・予算額			
17	御堂筋地区の魅力向上 > クオリティの高いにぎわい空間や官民協働によるブランドの創出	大阪市、民間事業者	御堂筋地区計画に沿って、きめ細かな建築デザイン、低層部へにぎわい用途等を誘導するとともに、御堂筋側道歩行者空間化による新たな利活用に向けた支援、彫刻ストロートの保全・修景等エリアマネジメントの推進に取組む。 また、市内の御堂筋・梅田・中之島地区を中心とするエリアマネジメント団体の交流や情報交換を目的とする会議を開催し、大阪都心部のエリアマネジメント活動の推進を図ることを目的としたガイドラインを策定する。	・上質なにぎわい空間の創出と、芸術性の高い通りの実現 ・ガイドラインに基づく民間事業者等の取組の促進	・沿道美化活動の継続（一斉清掃年1回以上） ・エリアマネジメント団体による壁面後退部分等を活用したにぎわい創出の取組み ・大阪エリアマネジメント活性化会議を開催し、大阪エリアマネジメント活性化ガイドラインを策定する。	－	・ガイドラインの構成について、各団体間の意識共有が図られた。 ・エリアマネジメント団体と連携して彫刻、歩道の美化活動と、彫刻を彩るべく御堂筋コンテナガーデンの花植活動を実施し、賑わいの創出が図られている。	事業の拡大・継続	－	－	御堂筋沿道開発事務（予算：1,296千円） 御堂筋の景観整備（彫刻ストリート）（予算：3,720千円） エリアマネジメント活動支援事業関係事務（予算：2,640千円）		
18	天王寺・阿倍野地区の魅力向上 > 天王寺・阿倍野地区の魅力発信・集客促進	大阪市	天王寺公園・動物園を核として、周辺観光施設等と連携しながら、地区全体の魅力発信・集客促進に取り組む	天王寺・阿倍野地区の魅力向上	インバウンド向けフリーペーパーの活用など、地区の魅力を発信し、回遊性の向上を図る。	－	計画通り事業進捗が図られている。	事業の拡大・継続	－	－	予算事業なし		
19	天王寺・阿倍野地区の魅力向上 > 天王寺公園・動物園の魅力向上	大阪市	天王寺・阿倍野地区において、地区の核となる天王寺公園・動物園の官民連携等による魅力向上・活性化、ひいては天王寺・阿倍野地区全体の集客力・ブランド力の向上を図る。	天王寺公園・動物園の魅力向上、来園者数の増加	・公園来園者数：2012年度129万人（実績）を2017年度に260万人にする ・動物園来園者数：2012年度124万人（実績）を2019年度に175万人にする	－	計画通り事業進捗が図られている。	事業の拡大・継続	－	－	【経済戦略局】天王寺公園・動物園の魅力向上事業（予算：70千円） 【建設局】天王寺公園・動物園の魅力向上事業（予算：公園40,384千円、動物園999,948千円）		
20	大阪市立美術館の魅力向上	大阪市	・市立美術館は世界的レベルの所蔵作品を誇り、建物は登録有形文化財に指定された日本を代表する美術館で、天王寺・阿倍野地区の観光集客拠点である。80周年を迎え、その役割を十分に果たすために必要な機能強化やサービス向上にむけた大規模改修を実施するにあたり、基本計画の策定や最適な事業手法を検討する。また、大規模改修までに計画的な所蔵作品の修復を進め、鑑賞機会を増加させるとともに、観光集客拠点としての、より一層の魅力向上を図る。	・大規模改修に関する基本計画の策定 ・リニューアル後の展覧会の柱となる美術品の充実（補修）	・大規模改修に関する基本計画の策定 ・リニューアル後の展覧会の柱となる美術品の充実（補修）	－	大規模改修計画の策定に向け、調査検討を実施するとともに、計画的な所蔵作品の修復をすすめており、おおむね計画どおり事業進捗している。	事業の拡大・継続	－	－	大阪市立美術館の魅力向上事業（予算：20,286千円）		
21	築港・ベイエリア地区の魅力向上 > クルーズ客船の母港化	大阪市、大阪観光局	・クルーズ客船の母港化により内外集客力を強化 ・新たなウォーターフロントのまちづくりに挑戦し、集客観光拠点化を図り、世界にアピール	クルーズ客船の母港化に向け、観光客増につながる大阪港への寄港回数の増加	2019年寄港数：50隻以上	－	概ね予定どおり進んでいる。	事業の拡大・継続	－	－	天保山客船ターミナル整備事業（予算：単年度51,000千円、債務負担行為942,026千円） 天保山客船ターミナル整備事業（予算：単年度153,000千円、債務負担行為3,507,000千円）		
22	大阪駅周辺地区の魅力向上	大阪市、大阪府、民間事業者	うめきた2期まちづくりの推進 ・世界の人々を惹きつける魅力を備えた「みどり」と、世界をリードする「イノベーション」の融合拠点形成に向けた取組みの実施	うめきた地区の魅力向上、にぎわい創出 うめきた2期まちづくりの機運醸成	「うめきた2期みどり」とイノベーションの融合拠点形成推進協議会」によるイノベーションイベントなど、イノベーションの融合拠点形成に向けた取組みの実施。基盤整備事業の着実な推進	－	まちづくりの目標である「みどり」と「イノベーション」の融合拠点の実現に向けて必要な機能の検討や、イノベーションイベントの開催準備などの取組みを予定通り実施している。基盤整備事業についても順調に進捗しているところである。	事業の拡大・継続	－	－	うめきた2期「みどり」と「イノベーション」の融合拠点形成推進事業（予算：5,000千円） ※参考 その他うめきた2期区域基盤整備事業費（790百万円） うめきたまちづくり推進事業（予算：5,000千円） ※参考 その他うめきた2期区域基盤整備事業費（12,308百万円 上記、大阪府事業費を含む全体事業費）		

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

							年度	2019					
整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価		期末評価	大阪府		大阪市	
					目標	実績		次年度方針案		予算事業名・予算額	予算事業名・予算額		
23	なんば駅周辺道路空間再整備	民間事業者、経済団体、大阪市、大阪観光局、大阪府	なんば駅周辺の道路空間を、車中心の空間から人中心の空間へと再編し、地元組織等のエリアマネジメント活動により、世界を惹きつける観光拠点として上質で居心地の良い空間の創出を図る。	大阪のおもてなし玄関口として、世界をひきつける観光拠点を整備し、居心地の良い空間を生み出すとともに回遊性を高める。	なんば駅周辺道路空間の再編に係る詳細設計を実施し、駅前広場等の空間再編を推進する。	-	地元協議会・関係機関と道路断面等について協議中であり、おおむね計画どおり事業進捗している。	事業の拡大・継続	-	-	-	なんば駅周辺における空間再編推進事業（予算：12,327千円）	-
24	鶴見緑地の再生・魅力向上事業	大阪府、民間事業者	管理運営事業者の更新時期でかつ、「国際花と緑の博覧会開催後30周年」となる2020年にむけ、民間事業者の参入を促進し、鶴見緑地の再生・魅力向上を図る	鶴見緑地の再生・魅力向上	・新たな管理運営事業者を決定する ・花博30周年記念事業について検討する	-	・管理運営事業者の公募については、工程どおりに進めている。 ・花博30周年記念事業については、局内で検討を進めている。	事業の拡大・継続	-	-	-	鶴見緑地の再生・魅力向上事業（予算：21,209千円）	-
25	国内外の人々を惹きつけるキーワードコンテンツの創出	大阪府	大阪のメインストリートである御堂筋を集客装置として活用し、非日常的なオンラインコンテンツを通じて大阪の魅力を国内外に発信し、多くの方に大阪を訪ねていただくための起爆剤となるイベントを実施。	御堂筋を国内外に発信できる集客装置として活用し、国内外からの話題を集め、御堂筋・大阪の魅力を発信する。	・テレビ・新聞・雑誌の掲載回数 90回以上 ・うち首都圏メディアでの掲載取上げ回数 30回以上 ・Web掲載回数 600回以上	-	11月4日の開催に向け、警察、消防局、関係機関等と協議を行っており、概ね計画通り事業進捗している。	事業の拡大・継続	-	-	国内外からの誘客促進事業（予算：90,000千円）	-	
26	大阪・光の饗宴の魅力向上	大阪府、大阪市、経済団体、大阪観光局、民間事業者	「御堂筋イルミネーション」と「OSAKA光のルネサンス」をコアプログラムとし、地域の活性化に取り組む団体等が大阪府内各エリアで展開する光のプログラムをエリアプログラムとして、一体的にプロモーション展開することにより、大阪の冬を代表する観光コンテンツとして、官民の連携・協働により都市魅力の創造・発信や都市ブランドの向上や国内外からの多くの観光誘客を図り、大阪の活力向上につなげる。	御堂筋イルミネーションについて、イチョウ並木を中心にインパクトあるイルミネーションを施した「大阪・光の饗宴2018」を実施し、国内外からの更なる誘客につなげる。	大阪・光の饗宴全体の来場者数：1,750万人以上 大阪・光の饗宴として連携実施する民間等の団体数：20団体	-	11月4日から開始する「大阪・光の饗宴」に向け、警察等関係機関と協議を行っており、概ね計画通り事業進捗している。	事業の拡大・継続	-	-	ナイトカルチャー魅力創出事業（大阪・光の饗宴事業）（予算：255,578千円）	大阪・光の饗宴事業（予算：174,848千円）	
27	大阪マラソンの魅力向上	大阪府、大阪市、民間事業者	世界トップレベルの市民マラソンを目指すためのさらなる魅力づくりを目指すとともに、大会の国際化を推進	大阪マラソンの魅力向上を図り、海外ランナーのエントリー数を増加	・海外ランナーエントリー数：前年度並み（15,000人）	-	大阪マラソン公式ホームページでの多言語ページ（英語・ハングル・中国語（繁体字・簡体字））の作成など、海外ランナーの誘客増加につながる取り組みを行った結果、国外エントリー数は前年度より77人増加し、過去最高の15,082人となった。	事業の拡大・継続	-	-	大阪マラソン開催事業（予算：90,000千円）	大阪マラソン開催事業（予算：90,000千円）	
28	スポーツツーリズムの推進	大阪府、大阪市、大阪観光局、民間事業者	ランドマークなど大阪のブランド力を活用したスポーツイベントを誘致・開催する。また、プロスポーツチームと連携した都市魅力の発信、観光振興につながる取組を推進	・観光集客を通じて地域を活性化する<府・市> ・大阪にゆかりのあるプロスポーツチームの年間主催試合での観客者合計数320万人<府・市> ・国際競技大会・イベント等の誘致・開催：2件以上<市>	・プロスポーツチームと連携したイベントの実施や、様々な機会を通じて小学校等へのチラシやポスター等を配布。<府> ・国際競技大会等と計画どおり開催するとともに、プロスポーツチームと連携し主催試合の招待や舞洲プロジェクト事業としてスポーツ教室を実施するなど、都市魅力の創出及び観光振興に寄与している。引き続き、スポーツ都市大阪の魅力を発信するため、事業を実施していく。<市>	-	・プロスポーツチームと連携したイベントの実施や、様々な機会を通じて小学校等へのチラシやポスター等を配布。<府> ・国際競技大会等と計画どおり開催するとともに、プロスポーツチームと連携し主催試合の招待や舞洲プロジェクト事業としてスポーツ教室を実施するなど、都市魅力の創出及び観光振興に寄与している。引き続き、スポーツ都市大阪の魅力を発信するため、事業を実施していく。<市>	事業の拡大・継続	-	-	予算事業なし	スポーツ競技大会の開催（予算：19,200千円） 舞洲スポーツ振興事業（予算：18,000千円）	
29	大阪の食の魅力の創出・発信	大阪観光局、民間事業者、経済団体、大阪府	府内の飲食店が利用できる多言語メニュー作成支援システムを構築し、多言語メニュー設置店を増やすことで外国人旅行者が安心かつ快適に飲食店を利用できる環境を整える。	・外国人旅行者の利便性向上	・府内の飲食店のシステム登録数：2,600件（平成30年度実績から倍増）	-	利用登録促進の取組を実施するとともに、旅行者向けサイトの機能強化に向けた改修を実施中	事業の拡大・継続	-	-	大阪の「食」でおもてなし受入環境整備事業費（予算：19,444千円）	-	
30	民間との連携による食の魅力発信	大阪府、民間事業者	民間事業者等との連携により、大阪の食の魅力を活用した新たな大阪ならではの観光コンテンツを開発する。	観光魅力の向上	・株式会社ぐるなびとの包括連携協定に基づく協働業務の実施 ・食を活かした着地型観光コンテンツの実施	-	株式会社ぐるなびとの包括連携協定に基づく協働業務及び食を活かした着地型観光コンテンツの実施準備が進捗している。	事業の拡大・継続	-	-	-	食を活用した観光魅力開発事業（予算：2,961千円）	

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

						年度		2019					
整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価		期末評価	大阪府		大阪市	
					目標	実績	次年度方針案	予算事業名・予算額		予算事業名・予算額			
31	天満・天神橋地域の魅力発信	大阪市	大阪天満宮・大阪くらしの今昔館・天満天神祭昌幸・天神橋筋商店街など、地域の都市魅力資源を活かし、天満・天神橋地域の魅力を広く発信する。	観光客の誘致強化	大阪くらしの今昔館入館者数：580千人	—	天満・天神橋地域の特性を活かした様々なイベントを実施するとともに、大阪くらしの今昔館では、インバウンドの受入環境を整備するなど、観光客の誘致強化に向けておむね順調に進んでいる。	事業の拡大・継続	—	—	—	住まい情報センター事業のうち今昔館分経費（予算：4,356千円）	—
32	観光魅力向上のための歴史・文化的まちなみ創出事業	大阪市	船場地区において、歴史的・文化的な建築資源周辺の無電柱化や周辺景観と調和した道路整備を実施するとともに、回遊性向上の取組み等を実施する。	観光魅力の向上	—	—	道修町通の無電柱化及び周辺景観と調和した道路整備 ・回遊性の向上に向けた案内板を設置	事業の拡大・継続	—	—	—	観光魅力向上のための歴史・文化的まちなみ創出事業（予算：293,733千円） 【参考】経済戦略局（予算：9,472千円） 建設局（予算：284,261千円）	—
33	恒常的なまちの魅力向上支援事業補助金	大阪府	大阪ミュージアムの取組みの一環として、住民参加によるまちの魅力向上とホスピタリティの向上に資することを目的に、地域が主体となった恒常的なまちの魅力向上及び景観形成の取組みを支援する。	住民参加によるまちの魅力向上・景観形成	補助事業実施団体数：2団体以上	—	申請があった2団体については、当初の計画よりは少し遅れているものの、今年度の事業完了が見込める状況である。予算の上限に達するまで、今後も募集に尽力する必要がある。	事業の拡大・継続	—	—	大阪ミュージアム推進事業（うち まちの魅力づくり支援）（予算：6,000千円）	—	—
34	Wi-Fi設置の拡充	大阪府、大阪市、大阪観光局、民間事業者、市町村	大阪観光局において、Osaka Free Wi-Fiの整備を促進する。 また、府においては、大阪観光局が設置を促進しているOsaka Free Wi-Fiについて、府内で外国人旅行者をはじめ、多数の旅行者を呼び込む意欲のある地域について、エリアを限定して集中的に整備を実施するとともに、利用が集中する地域・エリアにおける接続環境の改善や災害時における非常用電源装置の設置するため、補助金を交付する。	・まちの魅力向上 ・観光客の利便性・回遊性の向上	2020年3月末の認証数：3,000万認証（予定）	—	府の補助事業については、Osaka Free Wi-Fiの整備に係る補助申請に対し、補助金の交付決定を行うなど、概ね予定どおり進捗している。	事業の拡大・継続	—	—	Osaka Free Wi-Fi設置促進事業（予算：84,000千円） 大阪観光局事業（予算：300,000千円）の一部	大阪観光局事業（予算：300,000千円）の一部	—
35	公共交通機関等と連携した受入環境の整備	大阪府、民間事業者	乗継利便性の向上を図るため、乗継ぎ駅における案内モニターの設置や経路床面における表示等、旅行者の利便性向上に向けた環境整備を促進。	外国人利用者の利便性が向上し、来訪者が増加	目標補助実施箇所数 11駅	—	鉄道事業者が乗継利便性向上を図る案内モニターや床面案内表示等を整備に向け設計等を実施中	事業の拡大・継続	—	—	公共交通機関等と連携した受入環境整備事業（予算：45,300千円）	—	—
36	観光公衆トイレの整備促進	大阪府、民間事業者、市町村	市町村及び公的な団体が実施する観光公衆トイレの設置及び洋式化のための改修に係る経費について補助金を交付する。	・まちの魅力向上	・来阪外国人旅行者数：1,225万人 ・延べ来阪宿泊者数：3,970万人	—	市町村及び公的な団体が実施する観光公衆トイレの設置及び洋式化のための改修に係る補助申請に対し、補助金の交付決定を行うなど、概ね予定どおり進捗している。	事業の拡大・継続	—	—	市町村等観光振興支援事業（予算：110,000千円）	—	—
37	宿泊施設における「おもてなし」環境の整備事業	大阪府、民間事業者	府内の宿泊施設を対象に、施設内の案内表示等の多言語化やトイレの洋式化など、宿泊客の利便性や満足度の向上に繋がる取組みに対し支援を行うとともに、特区民泊施設については、認定促進につなげるため、消防設備の整備等についても支援を行う。	・宿泊客の利便性や満足度の向上	・来阪外国人旅行者数：1,225万人 ・延べ来阪宿泊者数：3,970万人	—	宿泊施設及び特区民泊の事業者に対し、補助金の交付決定を行うなど、概ね予定どおり進捗している。	事業の拡大・継続	—	—	宿泊施設のおもてなし環境整備促進補助金（予算：70,000千円）	—	—
38	歩行者案内標識整備	大阪市	鉄道駅から主要集客施設までのルート上に歩行者案内標識を整備することを基本とし、特に魅力向上を図る地域（重点エリア）においては、各地域の特性を踏まえたサイン計画を策定し、都市魅力の発展へとつなげる。	来街者の回遊性・利便性の向上	歩行者案内標識の整備	—	一般エリアにおいて事業計画に基づく整備を今年度より行うために、各関係先と調整中。 ・重点エリアについて、各地区の整備コンセプトを関係部局と連携しながら、次期整備箇所等について検討中。	事業の拡大・継続	—	—	交通安全施設等整備（歩行者案内標識）（予算：52,975千円） 【参考】建設局（予算：42,000千円） 経済戦略局（予算：10,975千円）	—	—
39	「トラベルサービスセンター大阪」の運営	大阪府、大阪観光局、民間事業者	来阪旅行者の多様化するニーズに応えるため、民間が実施するサービスと連携し、観光案内のみならず旅行時のトラブルにも対応するなど、旅行者の利便性向上と安心・安全をワンストップで提供する「トラベルサービスセンター大阪（愛称：おもてなしステーション）」をJ R大阪駅構内において運営。	・観光客の利便性や満足度の向上、府内各地への誘客 ・リピーターの確保	・「トラベルサービスセンター大阪」の円滑な運営	—	利用状況から、引き続き観光客の利便性向上に資することとなっている。	事業の拡大・継続	—	—	トラベルサービスセンター運営費負担金の一部（予算：35,263千円）	—	—

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

年度	2019
----	------

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価		期末評価	大阪府		大阪市	
					目標	実績	次年度方針案	予算事業名・予算額		予算事業名・予算額			
40	観光案内所の運営	大阪府・大阪市・大阪観光局・民間事業者・市町村	大阪観光局において、観光案内所（大阪観光案内所・難波観光案内所・新大阪観光案内所）の運営を行うとともに、府域の観光案内所のネットワーク化に向けた検討を行う。	観光案内機能の充実	大阪観光案内所、難波観光案内所及び新大阪観光案内所の機能充実による来所件数の増加	-	大阪観光案内所については、「トラベルサービスセンター大阪」として移転拡張を行い、運営している。 新大阪観光案内所については、「トラベルサービスセンター新大阪」として開設準備中。 難波観光案内所については、難波駅周辺の空間開発に合わせた方向性を検討中。	事業の拡大・継続	-	大阪観光局運営事業（予算：300,000千円）の一部 トラベルサービスセンター運営費負担金（予算：49,727千円）	大阪観光局事業（予算：300,000千円）の一部 JR新大阪観光案内所の設置・運営（予算：14,464千円）	-	-
41	観光客への情報提供機能の充実	大阪府	日本人旅行者を含む多くの来阪旅行者に、自国語若しくは使用言語による観光マップを見ていただくことで、大阪の「おもてなし」精神を伝えるとともに、大阪府内全域をスムーズかつ安心して移動してもらうため、多言語マップを作成・配布する。	観光客の利便性や満足度の向上、府内各地への誘客・リピーターの確保	多言語マップの配布	-	大阪観光局事業として、府内の案内所への配布などにより、観光客の利便性向上に寄与している。	事業の拡大・継続	-	-	-	-	-
42	観光案内板等の整備促進	大阪府、大阪市、大阪観光局、市町村、民間事業者	市町村及び公的な団体が実施する多言語による観光案内板の設置・改修に係る経費について補助金を交付する。また、大阪・梅田駅周辺において、鉄道事業者、地下街管理者、道路管理者等とともに、共通ルールに基づくサイン整備を行うことにより、来阪者、特に急増する外国人旅行者の周遊性・利便性向上を図る。	まちの魅力向上 観光客の周遊性・回遊性の向上	・来阪外国人旅行者数：1,225万人 ・延べ来阪宿泊者数：3,970万人	-	府においては、市町村及び公的な団体が実施する多言語による観光案内板の設置改修に係る補助申請に対し、補助金の交付決定を行うなど、概ね予定どおり進捗している。また、府市で協調して実施する大阪駅・梅田駅周辺案内表示整備補助事業については、サイン改修に係る補助申請に対し、補助金の交付決定を行うなど、概ね予定どおり進捗している。	事業の拡大・継続	-	市町村等観光振興支援事業（予算：110,000千円） 大阪駅・梅田駅周辺案内表示整備事業費補助金（予算：23,068千円）	大阪駅・梅田駅周辺案内表示整備事業費補助金（予算：19,500千円） 建設局所管サイン整備費（予算：21,408千円）	-	-
43	観光案内表示板の機能強化	大阪市	観光案内表示場所の案内機能の強化・充実及び設置場所、本市費用負担を抑えより効果的な運用手法の構築等について、調査検討を行う。	観光客の回遊性・利便性の向上	調査検討結果に基づき整備方針（案）を策定する	-	調査検討に関する業務委託を実施中	事業の拡大・継続	-	-	観光案内表示板機能強化事業（予算：5,096千円）	-	-
44	観光ボランティアの育成	大阪府、民間事業者	市町村が実施する観光ボランティアの育成事業（研修等）に係る経費について補助金を交付する。	まちの魅力向上	・来阪外国人旅行者数：1,225万人 ・延べ来阪宿泊者数：3,970万人	-	市町村が実施する観光ボランティアの育成に係る補助申請を市町村に対し呼びかけを行っている。	事業の拡大・継続	-	市町村観光振興支援事業（予算：110,000千円）	-	-	-
45	観光ボランティアガイドとの連携	大阪市	大阪観光局及び大阪観光ボランティアガイド協会との連携により、大阪城公園内での観光案内を行い、大阪のホスピタリティの醸成を図る。	ガイド利用の促進	大阪城内外ガイド利用人数 前々年度比同数以上（2017年度：184,158人）	-	・より見やすくなりやすいよう大阪観光ボランティアガイド協会のホームページを4月にリニューアルを実施した。 ・通常ガイド及びイベントガイドの継続実施のほか、10月に歴史街道推進協議会との連携による定点ガイド案内の実施を予定している。	事業の拡大・継続	-	-	大阪城エリア観光拠点化事業（大阪城公園内特設案内所における観光案内業務の分担金）（予算：2,200千円）	-	-
46	多言語対応の強化	大阪府、民間事業者、大阪観光局	府内の宿泊施設等を対象に、施設内の案内表示等の多言語化などの取組みを支援するとともに、府内の飲食店が利用できる多言語メニュー作成支援システムを構築し、多言語メニュー設置店を増やすことで外国人旅行者が安心かつ快適に飲食店を利用できる環境を整える。	外国人旅行者の利便性や満足度の向上	・来阪外国人旅行者数：1,225万人 ・延べ来阪宿泊者数：3,970万人 ・府内の飲食店のシステム登録数：2,600件（平成30年度実績から倍増）	-	・宿泊施設補助については、事業者に対し、補助金の交付決定を行うなど、概ね予定どおり進捗している。 ・食メニューの多言語化については、利用者登録促進の取組みを実施するとともに、旅行者向けサイトの機能強化に向けた改修を実施中	事業の拡大・継続	-	宿泊施設のおもてなし環境整備促進補助金（予算：70,000千円） 大阪の「食」でおもてなし受入環境整備事業費（予算：19,444千円）	-	-	-
47	2018年度終了事業												
48	外国人旅行者の災害時における安全確保	大阪府・市町村・民間事業者	外国人旅行者が災害発生時に必要な情報を入手できる環境の整備及び行政、観光施設・宿泊施設等、関係者の役割分担によるサポート体制の構築	災害情報を入手しやすい仕組みづくりとともに、災害時の円滑な支援体制を構築し、外国人旅行者が安心して旅行できる環境づくりをめざす	・緊急時お役立ち情報ポータルサイト広報カードの配布数を拡大するとともに、新たな配布場所を拡充 ・市町村や観光関連事業者に対して、「支援フロー」、「ガイドライン」の周知啓発を実施	-	宿泊施設に対し、ガイドラインを送付	事業の拡大・継続	-	外国人旅行者安全確保事業（予算：6,821千円）	-	-	-

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

						年度	2019					
整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価		期末評価	大阪府		大阪市
					目標	実績		次年度方針案		予算事業名・予算額	予算事業名・予算額	
49	文化・観光、商業施設等の開館・営業時間の延長	大阪府・民間事業者	国内外からの観光客の要望の多いナイトカルチャーを発掘・創出するため、主にインバウンドの観光客を対象とした夜間公演等のナイトカルチャー事業に取り組む事業者に対し、事業の立ち上げ等に必要経費を補助する。 2019年度は、コンテンツのさらなるクオリティ向上等を図るため、支援を充実するとともに、夜間公演等の実施場所の確保について検討を進める。	夜間公演等の充実支援等を通じて、国内外からの旅行者の要望の多いナイトカルチャーを発掘・創出するとともにさらなる充実を図る。	夜間公演等の事業の立ち上げや継続に向けた取組みに対し、補助を実施 補助上限額を1,500万円とする事業への補助を実施	-	概ね当初の計画通りに進んでいる。	事業の拡大・継続	-	ナイトカルチャー発掘・創出事業 (予算:63,149千円)	-	
50	イベント・公演等の開演時間の繰り下げ	民間事業者	国内外からの観光客の要望の多いナイトカルチャーを発掘・創出するため、主にインバウンドの観光客を対象とした夜間公演等のナイトカルチャー事業に取り組む事業者に対し、事業の立ち上げ等に必要経費を補助する。 2019年度は、コンテンツのさらなるクオリティ向上等を図るため、支援を充実するとともに、夜間公演等の実施場所の確保について検討を進める。	夜間公演等の充実支援等を通じて、国内外からの旅行者の要望の多いナイトカルチャーを発掘・創出するとともにさらなる充実を図る。	夜間公演等の事業の立ち上げや継続に向けた取組みに対し、補助を実施 補助上限額を1,500万円とする事業への補助を実施	-	概ね当初の計画通りに進んでいる。	事業の拡大・継続	-	ナイトカルチャー発掘・創出事業 (予算:63,149千円)	-	
51	ランドマークのライトアップの時間延長・創出	大阪府、民間事業者	ランドマークのライトアップの時間延長・創出による夜のまち歩きやナイトクルージングの魅力向上のため、ランドマークのライトアップの現状把握に努め、民主導の取組みを推進する。	ランドマークのライトアップの時間延長・創出による夜のまち歩きやナイトクルージングの魅力向上	ランドマークのライトアップの時間延長・創出	-	4月8日開催の「光のまちづくり推進委員会」において、2019年度の活動内容について承認され、概ね予定どおり進捗している。	事業の拡大・継続	-	予算事業なし	予算事業なし	
52	MICE誘致の推進	大阪府・大阪市・大阪観光局・経済団体・民間事業者	官民が一体となって、ターゲット等を明確にした方針に基づき戦略的にMICE誘致を展開するとともに、大阪におけるMICE受入体制の充実を図る。	誘客促進	MICE推進委員会の開催とともに、MICE誘致推進に向けた関係機関によるネットワーク強化	-	「大阪MICE推進委員会」を開催（7月）し、新たにIR推進局長を委員に加えたほか、G20開催実績を踏まえた今後の誘致活動方針の検討などを行った。 また、グローバルMICE都市・都市力強化対策本部（事務局：観光庁）へ参加（5月）し、府市の取組事例を発表したほか、国、他都市の取組状況など情報収集を行った。	事業の拡大・継続	-	大阪観光局運営事業 (予算：200,000千円、決算：-千円) 大阪観光局運営事業 (大阪版DMO) (予算：100,000千円、決算：-千円)の一部	大阪観光局事業 (予算：300,000千円)の一部	

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

						年度	2019						
整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価		期末評価	大阪府		大阪市	
					目標	実績		次年度方針案		予算事業名・予算額	予算事業名・予算額		
53	2019年G20大阪サミット開催に向けた取組みの推進	大阪府・大阪市・経済団体	G20大阪サミットの成功に向けて、万全の警備のもと安全・安心な会議環境を確保するとともに、最高のおもてなしにより、大阪・関西の強みや魅力を世界に発信する。	<ul style="list-style-type: none"> ・G20大阪サミットの理解・協力機運の盛り上げ ・国や関係機関等と連携し、防災・危機管理、保健医療対策等について万全な準備を行い、サミットを無事成功に導く ・大阪・関西の食材の提供等を活用した各国代表団等への最高のおもてなしの実現 	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊予約センターの設置を通じた、各国代表団や警察・プレス等関係者に対する宿泊先確保支援 ・ポスター、チラシ、HPや市町村・広域連合構成府県市・経済団体などの協力による広報活動。 ・国や府警本部と連携したテレビ・ラジオCMや新聞広告・折込チラシ、WEB広告、SNSを活用した交通規制情報等の発信 ・住民等向け説明会の実施、各種規制等影響団体への個別訪問等による、規制等の周知徹底、抑制に向けた広報・協力 ・サミット推進本部を通じた、防災・危機管理や保健医療対策PTによる環境整備。 ・関西エアポート等と連携した空港や会場周辺等でのシティドレッシングや、他部署と連携したクリーンアップ作戦の府域展開 ・市町村、関西広域連合、経済界の協力のもと、大阪・関西の魅力ある食材・訪問場所等の国への提案等。 ・多言語HPや、プレスツアー実施等による海外メディアを通じた大阪・関西の魅力の世界に向けた発信 ・各国・機関の首脳等をお招きする協議会主催レセプションの開催 ・サミット会場内の大阪・関西魅力発信スペースにおいて、大阪万博等大阪・関西の取り組みをはじめ、地元食材、伝統工芸品などの魅力を発信 ・大阪・関西の魅力を首脳及びその配偶者に直接アピールするため、大阪・関西の伝統工芸品の贈呈や、国主催行事等での地元資源の活用を働きかけ 	—	住民・事業者のご協力により、円滑な会議環境を確保し、「大阪」の名を冠したビジョン等の合意が実現した。また、協議会主催歓迎レセプションや大阪・関西魅力発信スペース、プレスツアーの実施により大阪・関西のおもてなし・魅力を発信するとともに、学生通訳ボランティア、配偶者プログラムでのシンポジウム参加を通じ、子ども・若者たちの参加を実現した。	事業のスクラップ	—	2019年G20サミット推進事業費 (予算：358,273千円、決算：-千円)	2019年G20大阪サミット開催支援事業費 (予算：190,819千円、決算：-千円)		
54	大阪観光局運営事業（大阪版DMO推進事業）	公益財団法人大阪観光局（大阪版DMO）	大阪観光局において、観光のプロ組織による観光振興事業を展開し、新たな観光関連産業の振興や地域の活性化、交流を通じたにぎわいづくりに取り組むとともに、大阪観光局を「大阪版DMO」とし、戦略的なマーケティング、情報ネットワークや観光案内機能のワンストップ化、効果的なプロモーションや地域と連携したMICE誘致などの事業に取り組み、大阪への来訪者・宿泊者数を増加させ経済効果の向上を図る。	誘客促進	大阪版DMO戦略に基づく事業体制確立	—	デジタルマーケティングや着地型プロモーションの手法として、「Osaka Night Out」(ナイトコンテンツの紹介)や「KANPAI OSAKA」(バルホッピング)、「Deep Experience OSAKA」(参加体験型コンテンツの紹介)の各サイトを運用開始。また、新たなプロモーション展開として、LGBT旅行者向けのサイト構築など、多様性の実現に向けた取組みを実施した。	事業の拡大・継続	—	大阪観光局運営事業 (予算：200,000千円、決算：-千円) 大阪観光局運営事業 (大阪版DMO) (予算：100,000千円、決算：-千円)の一部	大阪観光局事業 (予算：300,000千円、決算：-千円)		
55	都市魅力をみんなで支えるネットワークづくり	大阪府、経済団体、民間事業者	文化及び都市魅力創造をみんなで支える仕組みとして、行政、経済界、在阪メディア及び文化・都市魅力創造関係団体が連携し、観光、文化、スポーツ、国際化など様々な都市魅力活動を支えるネットワークづくりの取り組みを行う。	都市魅力活動を支えるネットワークづくり	府城市町村及び関係団体との情報共有・意見交換の場として、おおさか都市魅力・観光ネットワーク会議総会を開催する。	—	府城市町村及び関係団体との情報共有・意見交換の場として、おおさか都市魅力・観光ネットワーク会議総会を開催した(令和元年度開催実績1回(R1.7未現在))。	事業の拡大・継続	—	—	—		
56	大阪市版TID (Tourism Improvement District) モデル創出事業	大阪府	地域が自らの資金を原資として観光地域まちづくりに取り組む仕組みである「大阪市版TID (Tourism Improvement District)」の構築に向け、モデル創出に向けた事前調査を実施することにより、翌年度以降のモデル事業実施につなげ、将来的に、地域内の滞在者数・宿泊者数の増加及びそれに伴う地域内経済の活性化をめざす。	地域内の滞在者数・宿泊者数の増加及びそれに伴う地域内経済の活性化	大阪・光の饗宴の枠組みを活用した大阪市版TIDモデル事業(社会実験)の実施・検証	—	・協議会を2回開催。 ・「大阪・光の饗宴における大阪市版モデル事業実施計画」について、12月実施に向けて協議会において準備を行っている。	事業の拡大・継続	—	—	大阪市版TID (Tourism Improvement District) モデル創出事業 (予算：13,000千円)		
57	国内外への戦略的なプロモーションの展開	大阪府・大阪市・大阪観光局	大阪観光局において、マーケティングに基づき、観光客や市場ごとのターゲットに応じた効果的なプロモーション活動を展開し、国内外からの誘客の促進を図る。	誘客促進	来阪外国人旅行者数：1,225万人(2019年)	—	海外市場では、メール・デジタルプロモーションのほか、旅行雑誌取材イベント、事業者向けイベント商談会等を企画・実施。今後もインバウンドの動向を注視し、適宜施策を実施する。国内市場では、京都・大阪・神戸観光推進協議会(三都協議会)やJ R西日本と連携したプロモーション等を実施した。	事業の拡大・継続	—	大阪観光局運営事業 (予算：200,000千円、決算：-千円) 大阪観光局運営事業 (大阪版DMO) (予算：100,000千円、決算：-千円)の一部	大阪観光局事業 (予算：300,000千円、決算：-千円)		

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

						年度		2019					
整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価		期末評価	大阪府		大阪市	
					目標	実績	次年度方針案	予算事業名・予決額		予算事業名・予決額			
58	各種プロモーションツールを活用した大阪の情報発信の強化	大阪府・大阪市・大阪観光局	大阪観光局において、インターネットやSNS、ガイドブックやマップなどの各種プロモーションツールを活用し、多言語による効果的な情報発信を展開する。	誘客促進	来阪外国人旅行者数：1,225万人（2019年）	—	マーケティング戦略に基づく新たなコンテンツを開発し、夜間消費拡大や富裕層向けといった情報発信を実施。今後は各施策の連携による情報発信の強化を目指す。府内各地の周遊については、百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録（堺・藤井寺・羽曳野）やラグビーワールドカップ（東大阪）を起爆剤に、周辺エリアの情報発信の強化をはかる。	事業の拡大・継続	—	大阪観光局運営事業（予算：200,000千円、決算：-千円） 大阪観光局運営事業（大阪版DMO）（予算：100,000千円、決算：-千円）の一部	大阪観光局事業（予算：300,000千円）の一部	—	—
59	大阪ミュージアムの推進	大阪府、市町村	大阪府全体を屋根のないミュージアムに見立て、魅力あるまちなみや自然、祭りやイベントなどを「展示品」や「館内催し」として登録し、その魅力を磨き・際立たせ、内外に発信し、府域への集客促進を図る。	①ホームページ等での情報発信、コンテンツの充実 ②府域での周遊・集客の促進 ③住民参加によるまちの魅力向上・景観形成（No.33再掲）	①ホームページのアクセス件数：前年度実績以上 ②補助事業実施団体数：2団体以上（No.33再掲）	—	概ね当初の計画通りに進んでいる。	事業の拡大・継続	—	大阪ミュージアム推進事業 予算：25,958千円 ※No.33とNo.63を含む。	—	—	—
60	大阪都市景観建築賞（大阪まちなみ賞）	大阪府、大阪府市町村	<目的> 美しく、個性と風格のあるまちの景観づくりを進めていくために、府民、市民等から周辺景観の向上に質し、かつ、景観上優れた建物や建物を中心としたまちなみを募集し、表彰することで地域資源を生かした大阪の魅力発信及び府民の景観に対する意識向上を図る。（設計者による自薦応募も可） <運営> 大阪府・大阪市・（公社）大阪府建築士会・（一社）大阪府建築士事務所協会・（公社）日本建築家協会近畿支部大阪地域会・（一社）日本建築協会の共催で行い、運営資金は建築関係団体及び屋外広告物業団体等による協賛による。	・景観に対する意識向上 ・美しく、個性と風格のあるまちの景観づくりの推進による都市の魅力向上	景観に対する意識向上を図るため、府民や市民による推薦応募を促進し、賞の周知を図る。	—	推薦募集が終わり、おむね計画どおり事業進捗している。	事業の拡大・継続	—	予算事業なし	—	—	—
61	フィルムカウンシル事業の充実	大阪府、大阪市、経済団体、大阪観光局、民間事業者	大阪観光局において、大阪への映画・ドラマ等のロケーションを誘致するとともに、ロケ地紹介やボランティアエキストラを募集する等、各種撮影支援を行う。	大阪の知名度向上	・ロケ誘致・支援数目標：165件 ・大阪FCのHP閲覧数(PV)：150,000人	—	6月末支援作品数：65件、6月末HP閲覧数：21,045件 関西の映像関係者のネットワーク構築・拡大を目的として関西フィルムミーティングを開催（6月）。ロケ誘致・支援作品数は昨年同期を上回っており、引き続き支援活動を積極的に行うことで年間支援目標の達成を目指す。	事業の拡大・継続	—	大阪観光局運営事業（予算：200,000千円、決算：-千円） 大阪観光局運営事業（大阪版DMO）（予算：100,000千円、決算：-千円）の一部	大阪観光局事業（予算：300,000千円）の一部	—	—
62	観光バス駐車場の確保・充実	大阪市	観光バスの利用が多いミナミエリアへアクセスしやすい場所に観光バス駐車場を設け、外国人観光客の急増に伴う受入環境の整備を図る。	外国人観光客の受入環境の整備	—	0	幸町用地について、民間事業者による駐車場運営を継続。（2019年9月末の契約満了後は大阪メトロが自社活用を検討しているため、継続した契約はできない。）	事業のスクラップ	—	—	—	外国人等観光客受入環境整備事業（予算：17,789千円）	—
63	魅力資源の結びつけによる府内各地の周遊性向上事業	大阪府	大阪ミュージアム登録物を利用して、地域魅力を府内外に発信するとともにSNSやホームページ等による認知度をさらに向上させる。	府域での集客・周遊の促進	多言語冊子「DISCOVER OSAKA」をリニューアルして活用し、大阪の魅力を発信	—	概ね当初の計画通りに進んでいる。	事業の拡大・継続	—	大阪ミュージアム推進事業（うち 地域魅力の発信）（予算：0千円）	—	—	—

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

						年度		2019						
整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価		期末評価	大阪府		大阪市		
					目標	実績		次年度方針案		予算事業名・予算額	予算事業名・予算額			
64	世界に発信する「大阪文化の祭典」	大阪府、大阪市、経済団体等	大阪の都市魅力を創造し、文化を核とした大阪発展のムーブメントを起こすため、平成29年度に初開催。府内のホール・劇場や公園に、上方伝統芸能、上方演芸等の国内外のコンテンツを一堂に集め、合わせて実施することで、文化を楽しむ機会を創出するとともに、府内全域に多くの観光客を呼び込む。 大阪が持つ多彩で豊かな文化の魅力を積極的に発信するほか、国内外から注目されるコンテンツを呼び込むなど、国際エンターテインメント都市の実現を目指すとともに、大阪の都市格の向上を図り、2025年大阪万博の成功につなげていく。	大阪の魅力を発信、誘客促進		府内のホール・劇場や公園に、国内外から様々なジャンルのアーティスト等が集まり交流することで、大阪で新たな文化を創造し、府内全域にインバウンドを含めた多くの観光客を呼び込む。	事業実施に向け、5月20日に選定した事業者とともに準備を進めている。	事業の拡大・継続	-	大阪文化フェスティバル事業費 (予算：240,756千円)	-			
65	アートの魅力創出・発信	大阪府	公共の空間や施設内において、都市魅力を向上させ、観光集客につながるようなアート作品を設置することにより、大阪に新たな名所(アートのスポット)の創出を目指す。	大阪の魅力を発信、誘客促進		事業スキームの再構築	-	作品設置場所をはじめとする事業スキーム全般について検討を進めている。今後、必要な庁内外調整にとりかかる予定。	事業の拡大・継続	-	予算事業なし	-		
66	留学生への大阪文化の魅力発信	大阪府	留学生や海外からの旅行者に大阪文化の魅力を伝えていくためのプログラムを企画し、提供する。	留学生や海外からの旅行者への大阪文化に対する理解の促進		留学生や海外からの旅行者に対する大阪文化紹介の機会創出	-	引き続き、既存の文化事業の中でプログラム提供できるよう、調整中。	事業の拡大・継続	-	大阪文化フェスティバル事業費 (予算：240,756千円)	-		
67	美術館・博物館の魅力向上(一部再掲)	大阪市	市立美術館、東洋陶磁美術館、歴史博物館、自然史博物館、科学館において、博物館の魅力向上に向けた展示環境の改善など、計画的な施設の改修整備の取り組みを進める。 市立美術館他4館において、『大阪市ミュージアムビジョン』に掲げる、①大阪の知を拓く、②大阪を元気にする、③学びと活動の拠点へを目標に、「都市のコアとしてのミュージアム」を実現することを通じて、都市魅力の向上と新たな文化・人材の創出に貢献する。(No.20「大阪市立美術館の魅了向上」を含む) 地方独立行政法人設立(2019年4月)を経て、中期目標の指示と財源措置や業務実績評価等を通じたPDCAサイクルの推進による法人業務の活性化等、設立団体としての支援を行い、「都市のコアとしてのミュージアム」実現を通じた都市大阪の発展や市民力向上への貢献をめざす。	・ミュージアムビジョンに定める戦略やアクションプランの実現による博物館魅力の向上。 ・2019年度からの、対象施設の地方独立行政法人による運営の確実な実現。		・所蔵作品の計画的な修復や展示環境の改善・魅力的な展示の実現を行う。 ・マスメディア等と連携した特別展及び企画展の誘致。	-	・計画的な所蔵作品の修復を進め、鑑賞機会の増加や展示品の充実に取り組んでいる。《再掲》 ・理事会以外にも、経営会議等の会議体を構築し、定例的に実施しており、理事長・副理事長をはじめとした役員による指揮のもと、年度計画・中期計画の実施に向けた取り組みを通じて、経営の実現に向けて、おおむね計画どおり事業進捗している。	事業の拡大・継続	-		・大阪市立美術館の魅力向上(予算：20,286千円) ・博物館施設改修等事業(予算：34,000千円) ・博物館施設運営費交付金(予算：1,979,160千円) ・博物館施設整備補助金(予算：167,683千円) ・博物館施設管理一般事務費(予算：663千円)		
68	文化魅力の情報発信	大阪府、大阪市、経済団体等	「大阪ならではの」リーディング事業の実施等を通じて、大阪文化の魅力を発信していく。	大阪の文化魅力を発信		「大阪ならではの」リーディング事業の実施等を通じて、大阪文化の魅力を発信していく。	-	「大阪文化芸術フェス2019」において、大阪文化の魅力が発信できるよう調整を進めている。	事業の拡大・継続	-	大阪文化フェスティバル事業費 (予算：240,756千円)	-		
69	大阪らしい芸術文化の魅力の創出	大阪市	国が主導する文化プログラムの動きを踏まえた取組みとして、大阪の文化資源である伝統芸能を観光資源として活用するためのコンテンツ創出、並びに地域の魅力を発信する事業を実施する。	大阪文化の活性化等をめざすとともに、大阪市内へのビジター増による大阪の経済の成長を促す		モデル公演への来場者数 700人/年	-	H30年度までの実施結果を踏まえ、選定したモデルプログラムの実施(7回)及び有識者会議等の開催により観光コンテンツ化に向けた課題の抽出や検討を行うこととしており、概ね事業進捗は図られている。	事業の拡大・継続	-		伝統芸能を活用した大阪の魅力開発促進事業(予算：4,739千円)		
70	アーツカウンシルの機能強化	大阪府、大阪市	大阪の文化力の向上につなげるため、アーツカウンシルの運営体制強化を図り、府市文化事業を評価・審査するとともに、企画や調査機能を高め、アーティスト等へのサポート、府内での文化プログラムの推進や効果検証等に取組む。	大阪文化にふさわしい文化施策の推進		府市の文化事業や補助金事業の審査・評価等を随時実施するとともに、文化施策の今後の展開に向けた企画提案のための調査を実施。	-	府市の文化事業や補助事業の審査・評価等を随時実施している。	事業の拡大・継続	-	大阪アーツカウンシル運営等事業 (予算：11,888千円)	大阪アーツカウンシル等による文化行政の推進 (予算：7,155千円)		

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

		年度		2019									
整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価		期末評価	大阪府		大阪市	
					目標	実績	次年度方針案	予算事業名・予算額		予算事業名・予算額			
71	若手アーティストの発表機会の提供	大阪府	芸術文化の担い手を発掘育成するため、若手プロデューサー等のネットワークの構築や、作品発表の機会の拡大を目指す。	芸術文化の担い手の育成・支援	芸術文化の担い手を発掘支援するための既存事業も含めた新たな方策の検討。	-	芸術文化の担い手を発掘育成するための方策について既存事業の活用も含めた検討を進めるとともに、「大阪文化芸術フェス2019」での事業展開についても調整を進めている。	事業の拡大・継続	-	-	-	-	
72	芸術文化を将来へ継承させる青少年の育成	大阪市	大阪市における各区の特性に応じた質の高い芸術文化メニューを青少年対象に実施することを通じて、中長期的に芸術文化にかかる青少年育成が定着することをめざす。	芸術文化を将来へ継承発展させる青少年の育成	各区の特性や文化資源を活用した特色ある事業を実施できたと考える区長の割合：60%以上	-	計画どおり事業が進捗している。事業報告会で情報共有を行い、事業のブラッシュアップを図っている。	事業の拡大・継続	-	-	-	区と連携した芸術文化青少年育成事業（予算：25,500千円、決算：一千万円）	
73	ラグビーワールドカップ2019の大阪開催	大阪府、市町村	ラグビーワールドカップ2019大会準備推進組織を設置し、大会運営に係る関係機関との協議・調整や大会に向けた機運醸成を図るための取組みを展開	本年9月に開幕するラグビーワールドカップに向けた開催機運の醸成を図る	ラグビーワールドカップ2019花園ラグビー場開催試合関連の観客者・入場者数：約15万人	-	6月に大会開催100日前に合わせた大会開催PRプロモーションを行った。また、大会開催を周知するため、都市装飾を実施するとともに、府域全体で、ポスター展開、マスコミを通じた情報提供、SNSによる情報発信を実施中。	事業のスクラップ	-	-	-	ラグビーワールドカップ2019開催準備事業（予算：1,037,631千円）※全国自治体協賛宝くじ収益金に係る組織委員会拠出金（133,330千円）を含む	
74	国際的なスポーツイベントなどの誘致	大阪府、大阪市、市町村、民間事業者	大阪のスポーツ都市としてのブランド力を高めるため、注目度の高い国際的なスポーツイベントや合宿を誘致	大阪のスポーツ都市としてのブランド力の向上<府・市>	・合宿誘致活動：20件<府> ・国際競技大会・イベント等の誘致・開催：2件以上<市>	-	・オリパラ等事前キャンプ誘致を希望する市町村の活動を適宜支援している。<府> ・国際競技大会やイベント等を計画どおり開催し、大阪のスポーツ都市としてのブランド力向上に寄与している。<市>	事業の拡大・継続	-	-	オリパラ等事前キャンプ誘致事業（予算：188千円）	スポーツ競技大会の開催（予算：19,200千円）	
75	オリパラ等事前キャンプ誘致の推進	大阪府、大阪市、市町村	市町村と連携した事前キャンプの誘致やホストタウン登録を推進するため、競技施設等の情報を掲載した広報媒体を作成するとともに、府内競技団体や総領事館等へプロモーションを実施する。	・事前キャンプ誘致の実現<府、市> ・ホストタウン登録の追加<府>	・ホストタウン登録に係る市町村の取組の支援件数：20件<府> ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等の事前キャンプ地として決定<市>	-	・オリパラ等事前キャンプ誘致を希望する市町村の活動を適宜支援している。<府> ・ロシア水泳チームにおいては、2019年度世界水泳の事前合宿を大阪府で実施することになり、引き続きオリンピックの事前キャンプ地として交渉を行う。	事業の拡大・継続	-	-	オリパラ等事前キャンプ誘致事業（予算：188千円）	予算事業なし	
76	ホストタウンへの登録	大阪市、市町村	大阪市において、スポーツ立国、グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等に資する観点から、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に参加する国・地域のホストタウンとして、国に登録し、相互交流を図る。	スポーツによる地域活性化	ホストタウン登録国とスポーツ分野のみならず、文化や国際交流を行い、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催効果を開催後も継承し、交流事業の継続などレガシーを創出する	-	昨年度に引き続き、令和2年2月に開催予定のオーストラリアとの交流会に向けた、関係部署や団体との事前調整を進めている。	事業の拡大・継続	-	-	-	ホストタウン関係交流事業（予算：1,000千円）	
77	オリパラ開催に向けた事業の展開	大阪市	オリンピックを大阪から輩出するため、トップアスリートを育成する団体の支援や、障がいのある人もない人も誰もが楽しめる大規模なスポーツイベントの開催などによる機運の醸成を図る。	東京オリンピック・パラリンピックに向けた機運の醸成	大阪から東京オリンピック・パラリンピック代表選手を輩出、機運醸成イベントの開催	-	本市スポーツ競技力向上のため、競技大会の開催や人材育成に資する団体等への支援を実施するとともに、昨年度に引き続き、トップアスリートの育成のため、3競技団体を通じた選手の強化育成のため、補助事業を実施。また、パラリンピック競技チームを支援する施策も実施。また、大規模スポーツイベントにおける、機運醸成イベントについても調整中。	事業の拡大・継続	-	-	-	競技力向上事業（予算：19,456千円）	
78	関西ワールドマスターズゲームズ開催に向けた事業の展開	大阪市	大規模なスポーツ大会の開催時に合わせて、一般参加型のスポーツイベント開催による機運の醸成を図るとともに、ワールドマスターズゲームズ2021関西の閉会式開催に向けて取り組む。	ワールドマスターズゲームズ2021関西の開催に伴う機運醸成を図る	閉会式開催に向け、閉会式開催計画を策定。	-	関西マスターズスポーツフェスティバルを開催し機運醸成を図るとともに、大阪市実行委員会において閉会式基本方針を基に、閉会式開催に向けた準備を進めている。	事業の拡大・継続	-	-	-	関西マスターズスポーツフェスティバルに係る本市分担金（32千円） ワールドマスターズゲームズ2021関西（予算：4,142千円） 閉会式実行委員会に係る本市分担金（予算：2,000千円）	

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

年度	2019
----	------

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価		期末評価	大阪府		大阪市	
					目標	実績	次年度方針案	予算事業名・予算額		予算事業名・予算額			
79	プロスポーツとの連携事業	大阪府、大阪市、大阪観光局、民間事業者	大阪を拠点に活動するプロスポーツチームと連携して、スポーツの振興や産業創出に向け取り組むとともに、都市魅力の発信、観光振興につなげる。	・プロスポーツ観戦を目的とした観光客の誘客促進<府・市> ・プロスポーツチームとの連携によるスポーツ振興及び都市魅力向上<市>		・大阪にゆかりのあるプロスポーツチームの年間主催試合での観客者合計数 320万人 <府> ・プロスポーツチームが舞洲において管理している施設の集客数 68万人 <市>	・プロスポーツチームと連携したイベントの実施、ポスター等の配布を行っており、現在、様々な機会を通じて、大阪の都市魅力を発信している。<府> ・プロスポーツチームと連携した主催試合の招待や舞洲プロジェクトとして情報発信やスポーツ体験教室などを実施し、都市魅力の創出及び観光振興に寄与している。<市>	事業の拡大・継続	-	予算事業なし	舞洲スポーツ振興事業 (予算： 18,000 千円)		
80	スポーツ情報ネットワークシステム推進事業	大阪府	府民の様々なスポーツニーズに対応するため、スポーツイベント情報、スポーツ施設利用情報、スポーツ団体情報、ボランティア情報等、スポーツに関する様々な情報を提供	スポーツに親しむ府民が増える	アクセス件数： 290,000 件	-	・アクセス件数は、目標の3割となっており、目標達成に向け鋭意努力する。 ・掲載情報は随時更新している。	事業の拡大・継続	-	スポーツ情報ネットワークシステム推進事業 (予算： 2,451 千円)	-		
81	オリンピック・パラリンピックムーブメント教育の推進	大阪府、大阪市、市町村	オリンピックやパラリンピアンなどのトップアスリートを学校に派遣し、オリ・パラ等の開催に向けた機運醸成やスポーツマンシップの普及	オリンピック・パラリンピックムーブメント教育の推進を通じた機運醸成<府・市>	・派遣回数： 10 回程度 学校以外にも地域のスポーツイベント等にも派遣予定。<府> ・トップアスリート等による「夢授業」を 216 校（小学校）で実施予定。<市>	-	・「オリンピック・パラリンピアン派遣事業」について、事業スキームの検討、派遣講師との調整、派遣先市町村との調整、派遣先とのプログラムの調整等、円滑に事業を実施している。<府> ・オリパラ教育を踏まえたトップアスリート等による「夢授業」を実施しており、計画どおり進捗している。<市>	事業の拡大・継続	-	オリンピック・パラリンピアン小学校派遣事業 (予算： 928 千円)	トップアスリート交流事業 (予算： 6,391 千円)		
82	トップアスリート等との連携事業	大阪府、市町村	トップアスリートとの直接的な触れ合いを通じて、子どもたちの運動やスポーツに対する興味・関心を向上	学校の授業以外にスポーツをする児童が増える	協力チーム数： 13 チーム、派遣校数： 150 校、参加児童数： 12,000 名	-	・派遣校数及び参加児童数については、共に目標の4割に留まっており、引き続き、協力チームに派遣校数の拡大を要請するとともに、小学校に複数学年での受講を働きかける。	事業の拡大・継続	-	予算事業なし	-		
83	スポーツボランティア養成及び派遣事業	大阪府	関係団体との連携により、スポーツボランティアを養成し、要請に応じて各種スポーツ大会に派遣する。	スポーツを「ささえる」機運が醸成される	大阪府登録スポーツボランティアの派遣（ 35 事業、 840 名）	-	・派遣事業者数、参加人数は目標の2割にも届いていない。 ・研修を通じてボランティアの資質向上を図った。	事業の拡大・継続	-	スポーツボランティア養成及び派遣事業 (予算： 653 千円)	-		
84	府民スポーツ・レクリエーション事業	大阪府	広く府民にスポーツ・レクリエーション活動を紹介し、実践する場を提供することにより、スポーツへの参加意欲を喚起する。	成人の運動実施率の向上、健康の保持増進	府民スポーツ・レクリエーション事業への参加者（発表交流会、スポーツ体験会、体力測定会）： 15,000 名	-	キッズスポーツ体験会（屋内実施分）や体力測定会の8月開催に向けて、調整等を進めている。	事業の拡大・継続	-	府民スポーツ・レクリエーション事業 (予算： 6,072 千円)	-		
85	グローバル人材育成事業	大阪府	・高校生等海外進学支援事業（おおさかグローバル塾）により若者の海外進学を支援する。 ・実践的英語体験活動推進事業（グローバル体験プログラム）を通じて外国人に対する英語でのコミュニケーション感覚・能力の必要性に気付かせ、海外に興味を持つ若者の裾野を広げる。	グローバルな視野をもった若者の育成	・おおさかグローバル塾修了者の海外進学レベルの英語力の習得： 90% 以上 ・グローバル体験プログラム参加者のうち英語の習得意欲が高まった割合： 95% 以上、海外に関する関心が高まった割合： 95% 以上	-	・おおさかグローバル塾については、現時点で75%の受講生が海外進学レベルの英語力を身につけており、さらなる英語力の向上を図る。 ・グローバル体験プログラムについては、参加者に好評を得ており、今後、アンケートの検証を実施する。	事業の拡大・継続	-	高校生等海外進学支援事業(予算： 35,897 千円) 実践的英語体験活動推進事業(予算： 8,003 千円)	-		
86	英語イノベーション事業	大阪市	大阪市立小中学校において、英語教育の強化を図ることにより、自分の考えや意見を英語で伝えることができるコミュニケーション能力を育み、グローバル社会において活躍し貢献できる人材を育成する。	・英語でのコミュニケーション能力育成 ・グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成	中学校卒業段階で英検3級程度以上の英語力を有する生徒の割合： 50% 以上	-	・ネイティブ・スピーカーを活用した授業を全小中高等学校で実施している。 ・小学校低学年からの英語教育を全 289 校で実施している。 ・小学校英語授業力向上研修を、今年度内に全 289 小学校で実施する予定である。	事業の拡大・継続	-	-	英語イノベーション事業 (予算： 657,899 千円)		
87	公設民営学校（国際バカロレア等）の設置	大阪市	国家戦略特区を活用した公設民営学校として、国際バカロレア認定コースを持つ中高一貫教育校を設置する。	国際社会でリーダーシップを発揮して活躍し、大阪の経済成長を牽引する人材の育成	入学者選抜において、中学校は定員の 5.0 倍以上、高等学校は定員の 1.2 倍以上の志願者数をめざす	-	・ 2019 年4月の開校後も、新設校のため、指定管理法人とともに引き続き、入学希望者数の増加のため、学校説明会の開催などを行っており、おおむね計画どおり事業進捗している。	事業の拡大・継続	-	-	公設民営学校（国際バカロレア等）の設置（予算： 2,023,433 千円）		
88	留学生の住まい確保に向けた公的賃貸住宅事業者と大学連携事業	大阪府、民間事業者	留学生受入を実施・予定している大学や大学コンソーシアムと、公的賃貸住宅事業者の間で、公的賃貸住宅をまとめて、賃貸借契約し、大学側が留学生に住宅を提供。これにより住居確保が困難な留学生に対して、安定した住環境の提供が可能となる。	・住環境整備により来訪留学生の利便性の向上	・公社賃貸住宅への留学生の居住	-	・外国人留学生の入居にむけ協議を進めており、秋ごろには入居できるようなスケジュール感で進めている。	事業の拡大・継続	-	予算事業なし	-		

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価		期末評価	大阪府		大阪市	
					目標	実績	次年度方針案	予算事業名・予算額		予算事業名・予算額			
89	外国人留学生との連携拡大及び起業支援	大阪市	国際的な視点・能力をもつ留学生に、大阪市等が企画する協働・交流プログラム（ボランティアプログラム）に参加してもらい、地域の国際化・活性化を図るとともに、留学生の地域への愛着を醸成する。 また、起業のきっかけとなるよう支援セミナーを開催し、国際人材の定着を促進する。	地域の国際化、国際人材の定着	・交流プログラム 開催数 3件 参加者アンケート満足度 80% ・協働プログラム 開催数 22件 参加者アンケート満足度 80% ・起業支援セミナー 開催数 2件 参加者総数 60名 参加者アンケート満足度 80%	－	・交流プログラム 4月よりプログラム3件に着手しており、おおむね計画どおり進捗している。 ・協働プログラム 年間目標22件に対して7月末時点で4件と、開催ベースの遅れは感じられるものの、8月以降の開催件数については順調に確保できている。 ・起業支援セミナー 2件の開催に向けて現在調整を行っている。	事業の拡大・継続	－	－	外国人留学生との連携拡大及び起業支援（予算：4,500千円）	－	
90	企業における高度外国人材の積極的受入・活用や留学生の就職支援	大阪府、民間事業者	留学生が卒業後に大阪で就職し、高度外国人材として企業のグローバル化や競争力強化につながる活躍ができるよう、大学や経済団体等との連携により、企業の受入促進や留学生の就職支援を実施する。	外国人高度専門人材の受入れ拡大	・大学や経済団体と連携した留学生向け就職セミナー：3回 ・留学生向け就職対策講座・企業見学会：各4回	－	・就職セミナーについては、目標3回のうち、2回実施済みであり、概ね計画どおり進んでいる。秋以降にさらに1、2回開催予定。 ・留学生向け就職対策講座・企業見学会については、10～11月に実施予定。	事業の拡大・継続	－	外国人留学生就職支援事業（予算：2,175千円）	－	－	
91	外国人相談事業の充実	大阪市、大阪府	外国人が安心して快適に生活をおくり、大阪を住みやすい都市として認識し、定着を促すため、在住外国人を対象とした専門分野の相談会を実施する。	外国人住民の定着	【大阪市】来場者アンケート（満足度）：90%以上 相談件数：165件	－	【大阪府】計画どおり事業進捗している。 【大阪市】より多くの在住外国人が相談できる機会を提供できるよう、昨年度の利用者ニーズ等を踏まえ、規模や会場を変えて2回開催するほか、留学生等が在籍する機関や国際関連団体のHPでの告知協力依頼するなど周知の強化に取り組んでいる。	事業の拡大・継続	－	外国人受入環境整備事業費（予算：20,000千円）	一日インフォメーションサービス（大阪国際交流センター事業交付金の一部）（予算：200千円）	－	
92	災害時多言語支援センター設置・運営訓練	大阪市、大阪府	災害時に多言語で外国人向けに相談や情報発信を行う多言語支援センターを設置することとし、設置・運営に関する訓練を実施する。また、外国人旅行者の視点に立ち、災害時に必要とする情報を「迅速」、「的確」かつ「分かりやすく」提供する仕組みを構築するなど、外国人への災害時多言語支援の強化を図ることにより、外国人が安心して過ごせる社会を実現する。	外国人が安心して生活できる社会を実現し、都市魅力の向上を図る	【大阪府】・災害時に外国人旅行者に必要な情報を提供するウェブサイト、アプリの開発 ・交通、宿泊事業者等を対象とした、災害時の多言語対応講座の実施：10回 ・OFIX災害時通訳・翻訳ボランティア新規登録者数：30名 【大阪市】防災訓練・研修会の実施件数：2回以上 市関係局会議の開催回数：3回以上	－	【大阪府】概ね計画通りに進捗している。 【大阪市】多言語支援センター等マニュアル類の見直し・整備に向け、市関係局会議を年度内に6回開催予定であり、計画どおり進捗している。また、防災訓練・研修会については、1～3月に実施予定である。	事業の拡大・継続	－	災害時多言語支援事業（予算額：70,920千円）	災害時外国人支援ネットワーク整備（大阪国際交流センター事業交付金の一部）（予算：1,627千円）	－	
93	府内大学連携型災害時多言語支援人材確保事業	大阪府	災害時に多言語支援に従事できる語学ボランティア人材を確保するため、府内大学との協定締結を進め、ボランティアの登録と研修を実施する。	府内大学と災害時多言語支援に関する協定を締結	災害時多言語支援に関する協定を締結した大学数：1大学	－	引き続き協議を進める。	事業の拡大・継続	－	予算事業なし	－	－	
94	在住外国人に対する情報発信の充実	大阪市	在関西総領事館に対し、防災関連施設の視察案内や取組紹介等による情報提供を行い、各総領事館を通じて在住外国人に対する防災情報の発信を推進する。	情報提供による総領事館等との連携強化	情報提供1回	－	計画どおり進捗している。	事業の拡大・継続	－	－	関西領事団との連携（予算：458千円）	－	
95	多文化共生施策の推進	大阪市	多言語等による情報提供・流通経路を充実し、外国籍住民に行政情報等が伝わるようにする。 また、区役所や関係機関等との連携を図り、外国籍住民と日本人住民が多文化共生に対する相互理解を深めることができるよう取り組みを進める。	「大阪市は外国籍住民が地域社会の一員として、様々な相談や情報提供を受けられること」など、充実した生活が営めるまち」と思う市民及び外国籍住民の割合が増えること。	・大阪市ホームページや区役所窓口における「やさしい日本語」や多言語での案内の充実 ・外国の文化について理解を深めるセミナーの実施	－	・「やさしい日本語」について各所属への研修を実施するなど、理解を深める取り組みを進めている。 ・外国の文化について理解を深めるセミナーの実施に向けて、講師等と調整を進めているところであり、おおむね計画どおり進捗している。	事業の拡大・継続	－	－	多文化共生施策の推進（予算：2,896千円）	－	

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

						年度		2019					
整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価		期末評価	大阪府		大阪市	
					目標	実績		次年度方針案		予算事業名・予決額	予算事業名・予決額		
96	グローバルイノベーション創出支援事業	大阪市	うめきた先行開発区域の知的創造拠点「ナレッジキャピタル」内に開設した「大阪イノベーションハブ」において、世界から人材・資金・情報を引き込み、人材発掘、起業家マインド醸成、国内外ネットワーク構築、プロジェクト創出支援、海外ワークショップ、国際会議等のイノベーション創出を支援する事業を実施する。	・拠点の趣旨に賛同し新たに活動に参画又はSNS等でつながる人数： 50,000人 ・グローバル展開を見込まれるプロジェクト創出・推進支援件数： 50件	ピッチイベント開催回数：50回	-	新たに、OIHシードアクセラレーションプログラム採択企業を対象とした海外展開支援に取り組みとともに、ドイツ、スイス等の海外の支援機関等と新たなネットワークを構築するなどグローバル展開を強化して、着実に事業を進めている。	事業の拡大・継続	-	-		グローバルイノベーション創出支援事業（予算：203,981千円）	
97	大阪トップランナー育成事業	大阪市	医療・介護・健康分野等において、新たな需要の創出が期待できる製品・サービスのプロジェクトに対して市が認定を行い、市場投入から販路拡大まで担当コーディネータが伴走し、必要に応じたオーダーメイド型の継続的サポート（ハンズオン支援）を実施する。	認定プロジェクトにおける新たな売上の創出19億円（2017～2019年度）、プロジェクト認定を受けた企業のうち、新製品・サービスの事業化促進に効果があったと回答した割合：95%	プロジェクト新規認定件数：10件	-	今年度のプロジェクト新規認定に向け、1次審査、ブラッシュアップディスカッションを実施するなど、着実に事業を進めている。	事業の拡大・継続	-	-		大阪トップランナー育成事業（予算：70,363千円）	
98	水・環境分野における大阪関西企業の海外展開支援	大阪市	海外都市の多様な水・環境問題の解決に向けて、行政が持つ都市経営のノウハウ及び民間が持つ先進的な要素技術を活用しながら、大阪・関西企業の技術にかかる案件形成・事業化支援に向けた活動等により企業の海外展開を支援し、地域経済の活性化を図る。（大阪 水・環境ソリューション〔OWESA〕による官民連携の取組）	官民連携による海外の水・環境問題への貢献と大阪・関西企業の海外展開を支援。	海外現地調査：3回、海外からの視察・見学受け入れ：1回 海外技術セミナー：3回	-	国・JICAなどの事業に参画し、官民連携による現地調査、本邦研修の実施などの取組みを進めており、引き続き大阪・関西企業の海外展開を支援していく。	事業の拡大・継続	-	-		水・環境ソリューション機構への分担金（建設局 予算：3,500千円） （水道局 予算：3,500千円） （環境局 予算：3,500千円）	
99	ビジネスパートナー都市交流事業	大阪市	大阪府がアジア太平洋地域の13の主要経済都市と締結しているビジネスパートナー都市（BPC）提携のネットワークを活用し、在阪中小企業に対する国際ビジネス活動の支援を行う。 また、年1回、BPC各都市が一堂に集まるラウンドテーブルを開催し、同期間に併せて現地での商談会を実施するとともに、海外見本市への出展支援、海外企業との国内商談会、セミナーを実施する。	海外見本市出展・商談会：4回、国内商談会・セミナー：4回（商談会）/1回（セミナー）	【海外見本市出展・商談会】支援対象企業数：12社以上、販売成約数：40件以上目標、支援企業のビジネスモチベーション高揚の割合：80%以上目標、支援企業の海外展開が企業経営に貢献した割合：70%以上目標 【国内商談会・セミナー】大阪での商談会：4回以上実施、大阪企業の参加数：各回10社以上、支援企業のビジネスモチベーション高揚の割合：80%以上目標、支援企業の海外展開が企業経営に貢献した割合：70%以上目標、セミナー：1回以上実施、参加者数：50名以上	-	海外見本市出展・商談会の開催、国内商談会・セミナーの開催により、ビジネスパートナー都市（BPC）提携のネットワークを活用し、在阪中小企業に対する国際ビジネス活動を支援するため、おおむね計画どおり事業進捗している。	事業の拡大・継続	-	-		ビジネスパートナー都市等交流事業（予算：59,549円）	
100	外国企業誘致推進事業	大阪府、大阪市、大阪商工会議所	大阪府・大阪市・大阪商工会議所で平成13年度に立ち上げた「大阪外国企業誘致センター（O-BIC）」事業により、国内外でのプロモーション活動や立地サポート及び外国経済団体等とのネットワークを活用するなどし、大阪への外国企業等の誘致活動を行う。	大阪への外国企業等の誘致促進	誘致件数：35件	-	大阪外国企業誘致センター（O-BIC）において、国内外で積極的なプロモーション活動を展開しており、今年度の誘致件数も順調に推移している。	事業の拡大・継続	-	-	大阪外国企業誘致センターの運営（予算：7,600千円）	大阪外国企業誘致センターの運営（予算：7,600千円）	

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

								年度		2019	
整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価		期末評価	大阪府	
					目標	実績	次年度方針案	予算事業名・予算額		大阪市	
101	トップセールスによる戦略的プロモーション	大阪府、大阪市、経済団体、大阪観光局	海外ネットワークの戦略的な活用、関係機関等との連携を通じ、知事・市長等が、国内外に向け大阪の魅力や強みを効果的に発信し、経済・観光等の分野における交流促進を図る。	・大阪への投資促進 ・大阪と海外企業交流の促進 ・市内各地に観光客を誘致	府内中小企業の技術・製品の海外販路開拓や、海外企業から府内中小企業への受注等のほか海外企業の大坂への進出・投資、府内中小企業との事業提携等を促進（府） 各都市の特徴に合わせ、プロモーションや商談会、セミナー等最も効果的な経済交流の方法を見定めて事業を展開し、姉妹都市と本市の交流促進に資するネットワークをさらに深化させる。（市）	－	経済成長著しいアジアなど、府内企業とビジネスチャンスが見込める地域を対象に、大阪産業・経済のグローバル化を促進するため、代表団・企業団派遣にむけて引き続き調整を行う。（府） 海外ネットワークの戦略的な活用、関係機関等との連携を通じ、外国政府機関・企業等に効果的に大阪の魅力や強みを発信している。今後、姉妹都市への代表団派遣による効果的なプロモーションや商談会の実現を図るため国内外の関係機関・関係部局等と引き続き調整を行う。（市）	事業の拡大・継続	－	海外トッププロモーション事業 (予算：7,079千円)	姉妹都市ネットワークを活用した経済交流の推進 (予算：26,986千円)
102	JICA（国際協力事業団）との連携事業	大阪市	JICAと連携し、都市上下水道維持管理、都市廃棄物、大気汚染対策、救急救助等の分野で研修コースを設置し、開発途上国・地域から研修員を招聘するとともに、技術協力としてこれらの国・地域への職員派遣を実施する。 また、受入れた人材を本市の国際化に対するアドバイザー及び海外における情報発信・海外の最新情報の収集拠点として位置づけ、ネットワークを形成する。	JICAと連携した開発途上国・地域との人材交流促進	・開発途上国・地域からの研修員の招聘人数：65人 ・研究員の大阪国際交流協力員の参加率：80%	－	都市上下水道維持管理等の開発途上国・地域の課題に応じて、大阪市の最新事例等の研修を実施することにより、都市間交流を推進し、「大阪国際交流協力員」を活用することにより、海外における本市の情報発信等につなげている。	事業の拡大・継続	－	－	－
新規	2025年日本国際博覧会の成功に向けた取り組みの推進	大阪府・大阪市・（一社） 2025年日本国際博覧会協会・経済団体	大阪・関西の経済発展に大きな効果が得られ、大阪の魅力が全世界に発信できる絶好の機会である 2025年日本国際博覧会の成功に向けて、実施主体となる（一社）2025年日本国際博覧会協会等と連携して準備に取り組む。また、地元自治体として、博覧会協会や関係自治体と協力して、機運醸成・PR、万博への参画の検討や仕組みづくり、開催に係る状況についての情報発信等に取り組む。	・万博開催準備の進捗 ・万博成功に向けた機運の高まり	・博覧会協会と共に万博開催準備を着実に進める。 ・地元自治体として万博成功に向けた役割を果たす。	－	G20大阪サミットを活用した万博PRを実施し、機運醸成・PRに取り組んだ。 引き続きラグビーワールドカップなどの大規模国際イベントの機会等を活用し、万博PRを実施していく。	事業の拡大・継続	－	2025日本万国博覧会推進事業費 (予算：204,132千円、決算：－千円)	国際博覧会推進事業 (予算：153,896千円、決算：－千円)
新規	観光トイレ整備事業	大阪府、民間事業者	観光地において、デザイン性や機能性が高く、大阪の新たな観光資源となるような観光トイレを、民間からの企画提案に基づいて整備することで、観光客の利便性向上を図るとともに、さらなる観光誘客を促進する。	旅行者の受入環境を充実させ、利便性や満足度のさらなる向上を図ることによるリピーター確保や府内全域への集客促進	デザイン性や機能性が高く、観光資源となりうる観光トイレの整備	－	整備候補地、整備手法、運営事業者について検討中	事業の拡大・継続	－	観光トイレ整備事業 (予算：75,579千円)	－
新規	ウェルカム大阪おもてなし事業	大阪府	府民が外国人旅行者と自然に交流を図ることができるよう、平易な英語によるコミュニケーション講座を開催するとともに、府内市町村と連携し、多言語観光ボランティアの養成等を行うプラットフォームを形成する。	大阪全体のおもてなし力の向上によるリピーター確保や府内全域への集客促進	・府民を対象とした外国人旅行者に対するおもてなし講座の開催 ・多言語観光ボランティアの養成等を行うプラットフォームの形成	－	サポート人材育成事業については、事業者を選定し、講座開始に向けて準備中 多言語観光ボランティア運営事業については、募集の結果100名を超える登録希望があり、今後、研修を行った後、難波周辺への派遣していくための準備中	事業の拡大・継続	－	・サポート人材育成事業 (予算4,259千円) ・多言語観光ボランティア運営事業 (予算28,697千円)	－
新規	魅力資源の結びつけによる府内各地の周遊性向上事業	大阪府	大阪の多様な魅力を発信するとともに、府内を周遊できる仕掛けづくりを行い、インバウンドを含めた来阪旅行者の府域への周遊性の向上を図る。 2019年度は、百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録を見据え、国内外からの来訪者の周遊促進に取り組む。	百舌鳥・古市古墳群の魅力の発信及び周遊性の向上	①古墳群をめぐる周遊ルートの策定 モデルコース：府内3コース以上 ②来訪者の移動手段の整備による府域への誘客	－	百舌鳥・古市の古墳群の世界文化遺産登録後に周遊ルートの策定とバスの運行実施に向け進めている。	事業の拡大・継続	－	大阪周遊促進事業 (予算：35,738千円)	－

大阪都市魅力創造戦略2020 事業調査、評価表

						年度	2019						
整理番号	プロジェクト名	取組の主体	プロジェクト概要	アウトカム	成果指標		中間評価			期末評価	大阪府		大阪市
					目標	実績		次年度方針案	予算事業名・予算額		予算事業名・予算額		
新規	「トラベルサービスセンター新大阪」の運営	大阪府、大阪市、大阪観光局、民間事業者	来阪旅行者の多様化するニーズに応えるため、民間が実施するサービスと連携し、観光案内のみならず旅行時のトラブルにも対応するなど、旅行者の利便性向上と安心・安全をワンストップで提供する「トラベルサービスセンター新大阪」をJR新大阪駅構内に新たに設置し、運営する。	・観光客の利便性や満足度の向上、府内各地への誘客 ・リピーターの確保		「トラベルサービスセンター新大阪」の設置、円滑な運営	—	2019年8月1日に開設に向け、予定どおりのスケジュールで進んでいる。	事業の拡大・継続	—	トラベルサービスセンター運営費負担金の一部 (予算：14,464千円)	JR新大阪駅観光案内所の設置・運営 (予算：14,464千円)	
新規	「こども本の森 中之島」開館準備・運営	大阪市	大阪府が寄附を受ける建物「こども本の森 中之島」について、子どもたちが文学を中心とした良質で多様な芸術文化に触れることができる機会を提供する、新たな魅力をもった施設とすべく準備を行い、令和2年3月に開館する。	子どもたちが文学を中心とした良質で多様な芸術文化に触れることができる機会を提供		令和2年3月に開館し、運営を開始する。	—	令和1年6月13日の本会議で、指定管理者を指定する議案が可決され、準備が本格化している。進捗は概ね計画どおりであるが、新規施設の開館であるため、今後も関係先と綿密な調整が必要。	事業の拡大・継続	—		「こども本の森 中之島」開館準備・運営事業（予算：69,921千円）	